

令和3年度
浦安市小・中学生生活実態調査
報告書

浦安市教育委員会

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の対象および調査方法	1
3	調査期間	1
4	調査項目	1
5	対象者の属性とサンプル数	2
II	調査結果	3
1	ふだんの生活について	3
	（1）学校生活	3
	（2）運動の状況	4
	（3）給食の食べ方	6
	（4）放課後の過ごし方	7
2	学習や読書について	8
	（1）家庭学習の時間	8
	（2）読書時間	9
	（3）学習に対する意識	10
3	友だちや家の人との関係について	16
	（1）友だちとの関係	16
	（2）家の人との関係	20
	（3）悩みの相談相手	24
4	地域との関わりについて	26
	（1）地域との関係	26
5	電子媒体の扱いについて	30
	（1）携帯電話・スマートフォンの所持率	30

	(2) 携帯電話・スマートフォン利用時のルール	31
6	安全について	32
	(1) 交通安全のルール	32
	(2) 災害時の安全確保	33
7	感染症対応について	34
	(1) 子どもたちの心理状態	34
8	自分自身について	37
	(1) 自分肯定	37
	(2) 進学先についての期待と不安	40
III	基礎集計表	46

～ 集計にあたって ～

- ① 集計した数値(%)は小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。
そのため、質問に対する回答の選択肢から1つを選択する場合、選択肢の割合(%)をすべて合計しても、100.0%にならない場合があります。
- ② 回答者を分母として割合(%)を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100.0%を超えます。
- ③ 基礎集計表に「-」と表示してあるのは、対象者への質問がなかった場合です。
- ④ 「とてもそう」+「まあそう」など、複数の選択肢をまとめた場合の割合は、各選択肢の割合の合計値で表しています。

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、平成 16 年度より本市の児童生徒の意識や生活・行動及び保護者・教員の意識や家庭教育について毎年継続的に行っているものである。

本年度は、本市の児童生徒の意識や生活・行動などを調査し、その実態を客観的に把握するとともに、浦安市教育振興基本計画（浦安市教育ビジョン）における現在の子どもたちの状況をとらえ、教育施策の推進に資するものとする。

また、調査結果を各校へ提供し、児童生徒の指導の改善・充実に資することを目的とする。

2 調査の対象及び調査方法

調査の種類	対象者	調査内容	調査の実施方法
小・中学生 共通	市立小・中学校に在籍する 全児童・生徒	小 1 …51 問 小 2 ～小 5 …48 問 小 6 …50 問 中 1 …52 問 中 2 ～中 3 …48 問 多肢択一、複数選択	Microsoft Forms を使用した自答式 調査

※前回調査（平成 30 年度）までは、全小・中学校各学年抽出 1 ～ 2 学級の実施であったのに対し、今回調査（令和 3 年度）より全児童・生徒対象に実施したため、結果の傾向に多少の差異がある。

3 調査期間

令和 3 年 11 月 22 日～11 月 28 日

4 調査項目

- (1) ふだんの生活について
- (2) 学習や読書について
- (3) 友だちや家の人との関係について
- (4) 地域との関わりについて
- (5) 電子媒体の扱いについて
- (6) 安全について
- (7) 感染症対応について
- (8) 自分自身について

5 対象者の属性とサンプル数

	小学生							中学生			
学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	1 年	2 年	3 年	合計
実施数	845	903	1370	1429	1480	1459	7486	1181	1180	1151	3512

小学校名		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
1	浦安小学校	41	33	56	67	61	62	320
2	南小学校	106	142	154	167	151	167	887
3	北部小学校	93	72	134	141	121	118	679
4	見明川小学校	58	56	92	81	87	89	463
5	富岡小学校	23	31	56	61	57	77	305
6	美浜南小学校	21	23	48	40	49	38	219
7	東小学校	44	62	140	99	142	108	595
8	舞浜小学校	82	70	93	104	87	133	569
9	美浜北小学校	19	19	24	41	38	52	193
10	日の出小学校	51	48	61	72	76	90	398
11	明海小学校	38	44	55	54	57	63	311
12	高洲小学校	37	38	83	89	102	91	440
13	日の出南小学校	64	69	75	101	115	64	488
14	明海南小学校	23	25	40	52	50	44	234
15	高洲北小学校	64	72	90	98	104	91	519
16	東野小学校	43	47	84	93	103	98	468
17	入船小学校	36	51	85	69	79	73	393
合計		845	903	1370	1429	1480	1459	7486
中学校名		1 年	2 年	3 年				合計
1	浦安中学校	221	199	214				634
2	堀江中学校	221	200	193				614
3	見明川中学校	79	76	66				221
4	入船中学校	93	83	71				247
5	富岡中学校	128	132	132				392
6	美浜中学校	81	102	105				288
7	日の出中学校	123	146	125				394
8	明海中学校	85	83	99				267
9	高洲中学校	150	159	146	455			
合計		1181	1180	1151				3512
総数								10998

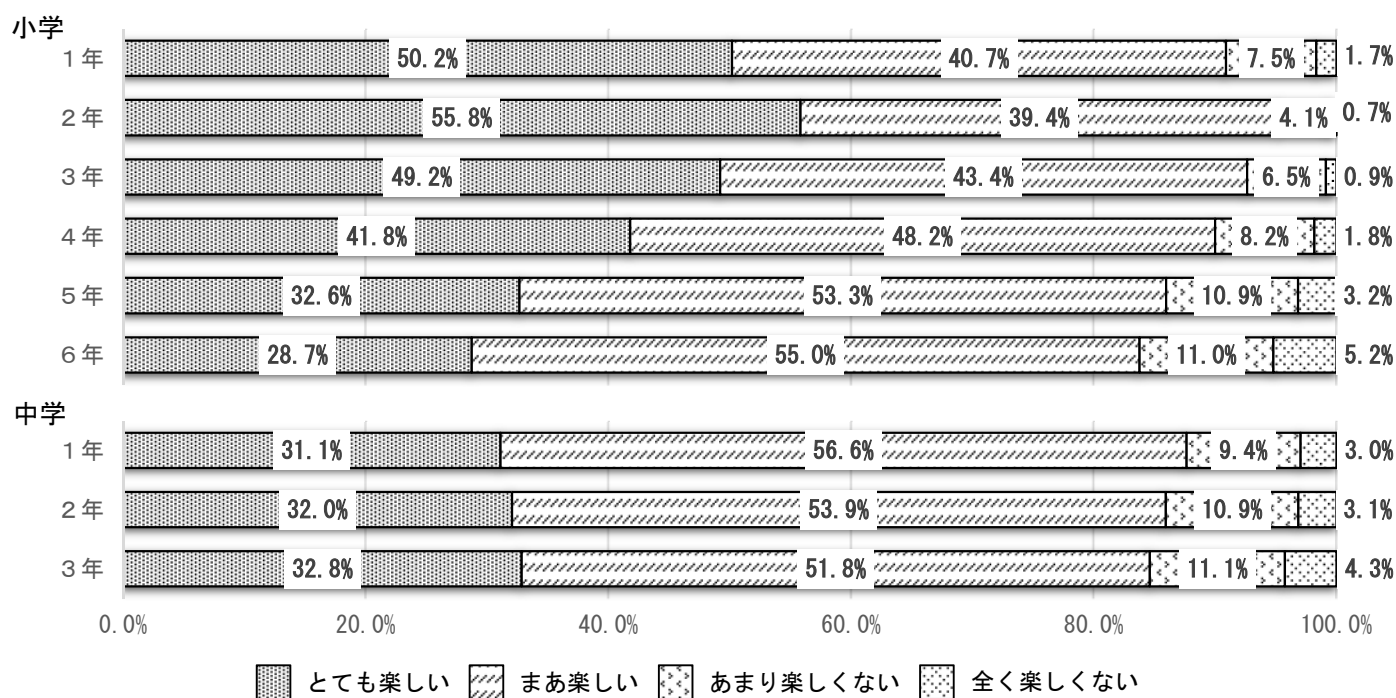
Ⅱ 調査結果

「Ⅱ 調査結果」では、今回の調査結果のうち顕著なものや前回調査と比較したり経年比較したりして傾向が見られたものを掲載しています。調査結果の詳細については、「Ⅲ 基礎集計表」をご覧ください。

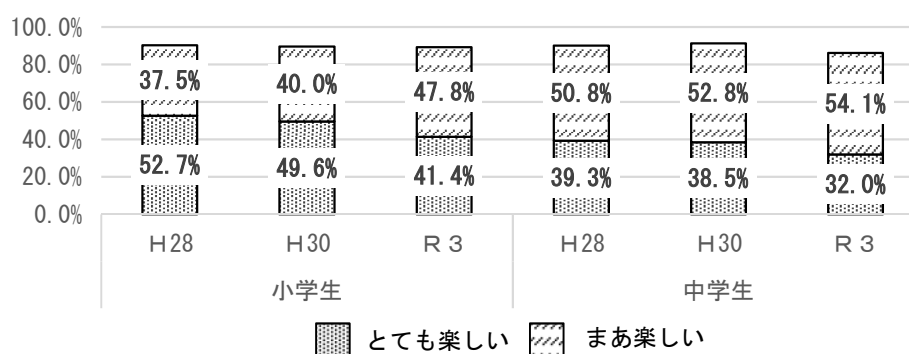
1 ふだんの生活について

<学校生活>

Q. 学校に行くのは楽しいですか。



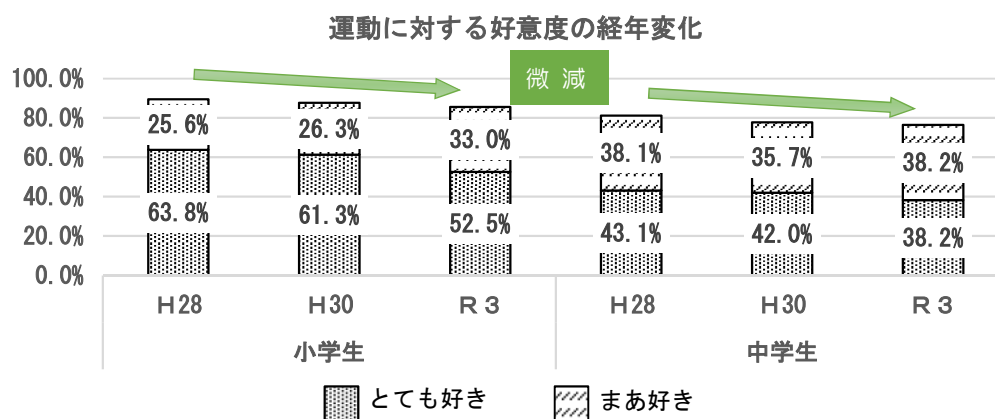
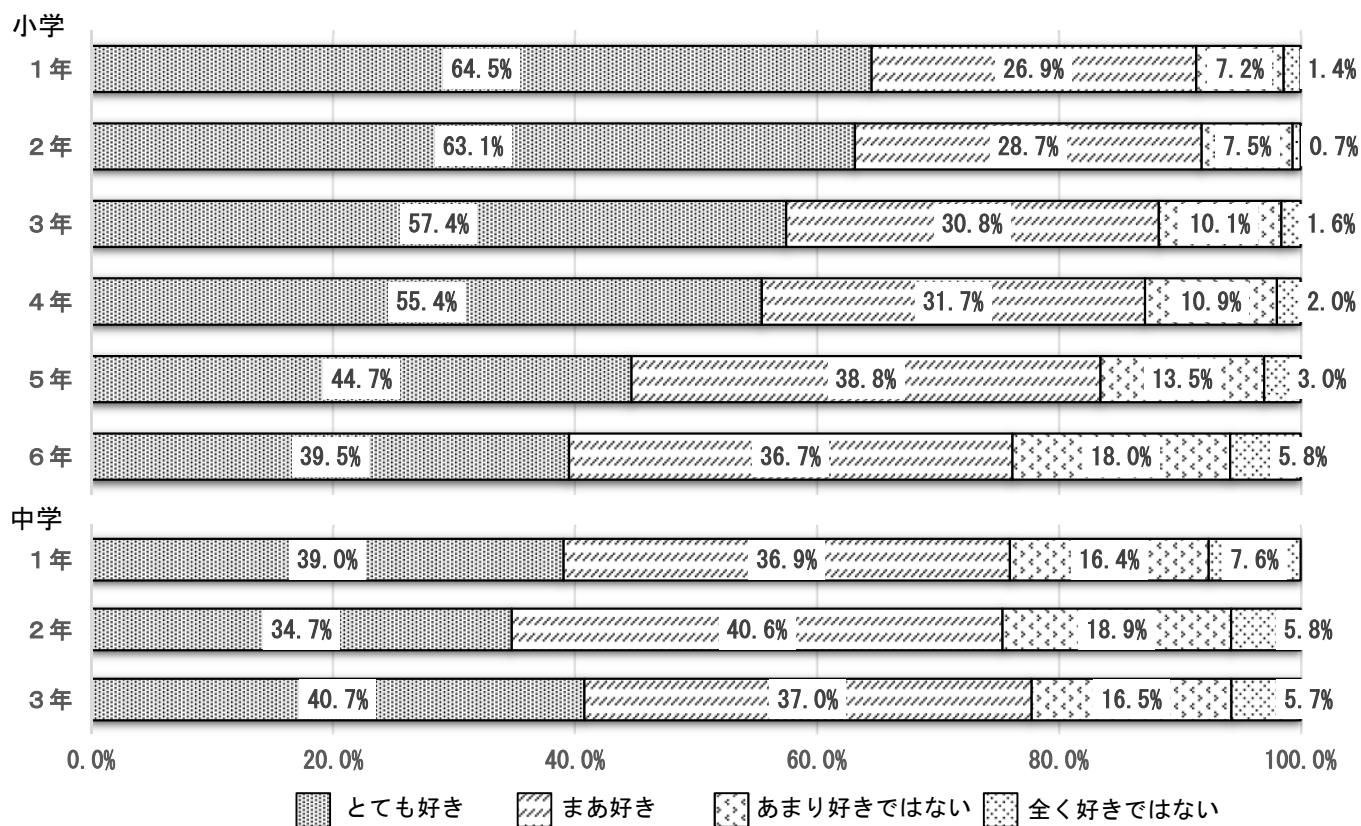
「学校に行くのは楽しい」の割合の経年変化



学校に行くことを楽しく感じているかの割合については、経年変化を見てもあまり変化はありません。ただ、学年が上がるにつれ、「楽しくない」と感じる子どもが増えていることは注視すべきです。小学校高学年以上になると、およそ15%前後の子どもたちが楽しくないと感じながら学校に登校していることになります。そのような子どもたちが楽しさを見出せていない原因を把握する必要があります。

<運動の状況>

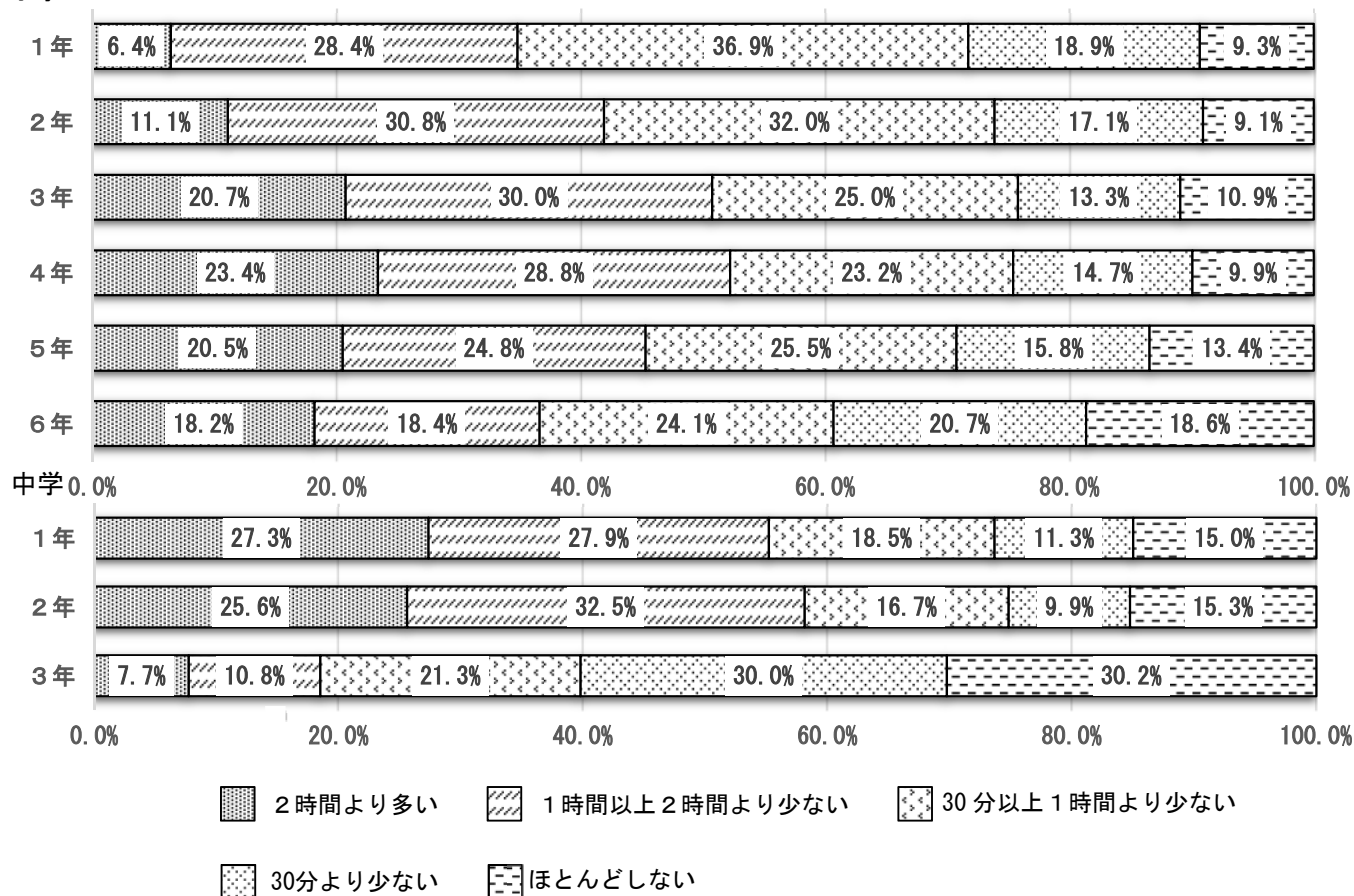
Q. 体育の時間や休み時間などに、体を動かすことは好きですか。



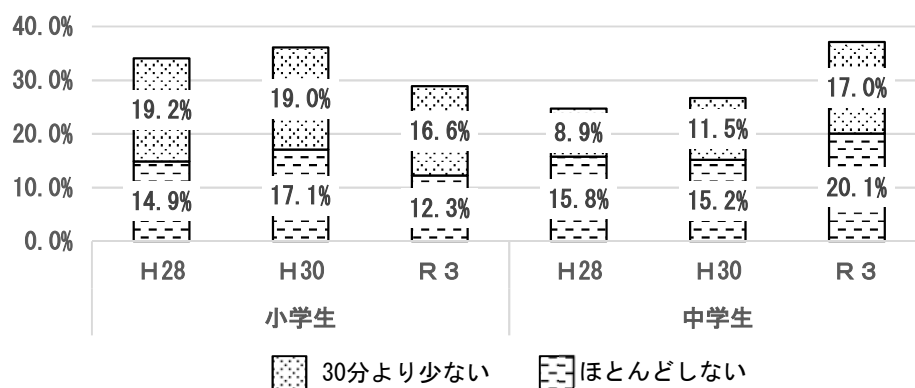
運動に対する好意度は、学年が上がるにつれ徐々に低下していきませんが、小学6年生を境に横ばいになります。経年変化を見てみると、大幅な変化はありませんが、わずかに減少傾向にあるようです。感染症対応をしながらの運動や遊びがおおよそ2年間も続いている現状を考慮すると、そのような中でも、楽しみを見出しながら取り組める活動を考えていく必要があることがわかります。

Q. 1日のうち、どのくらい運動しますか。(学校の体育はのぞきます。)

小学



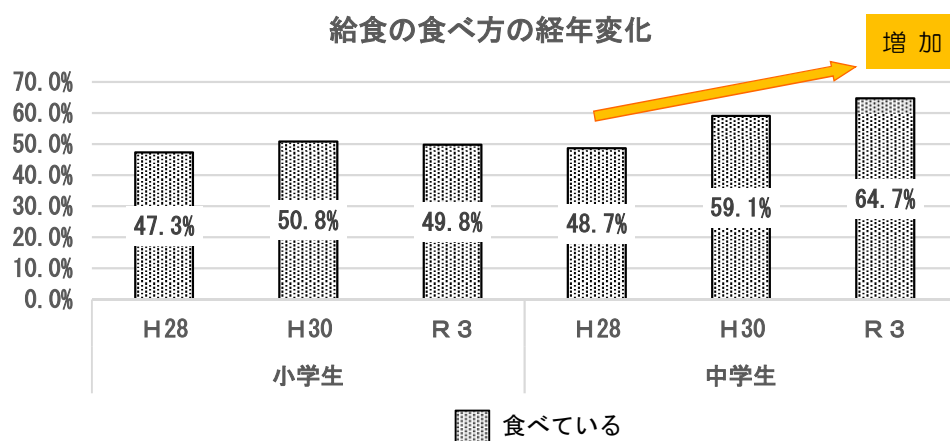
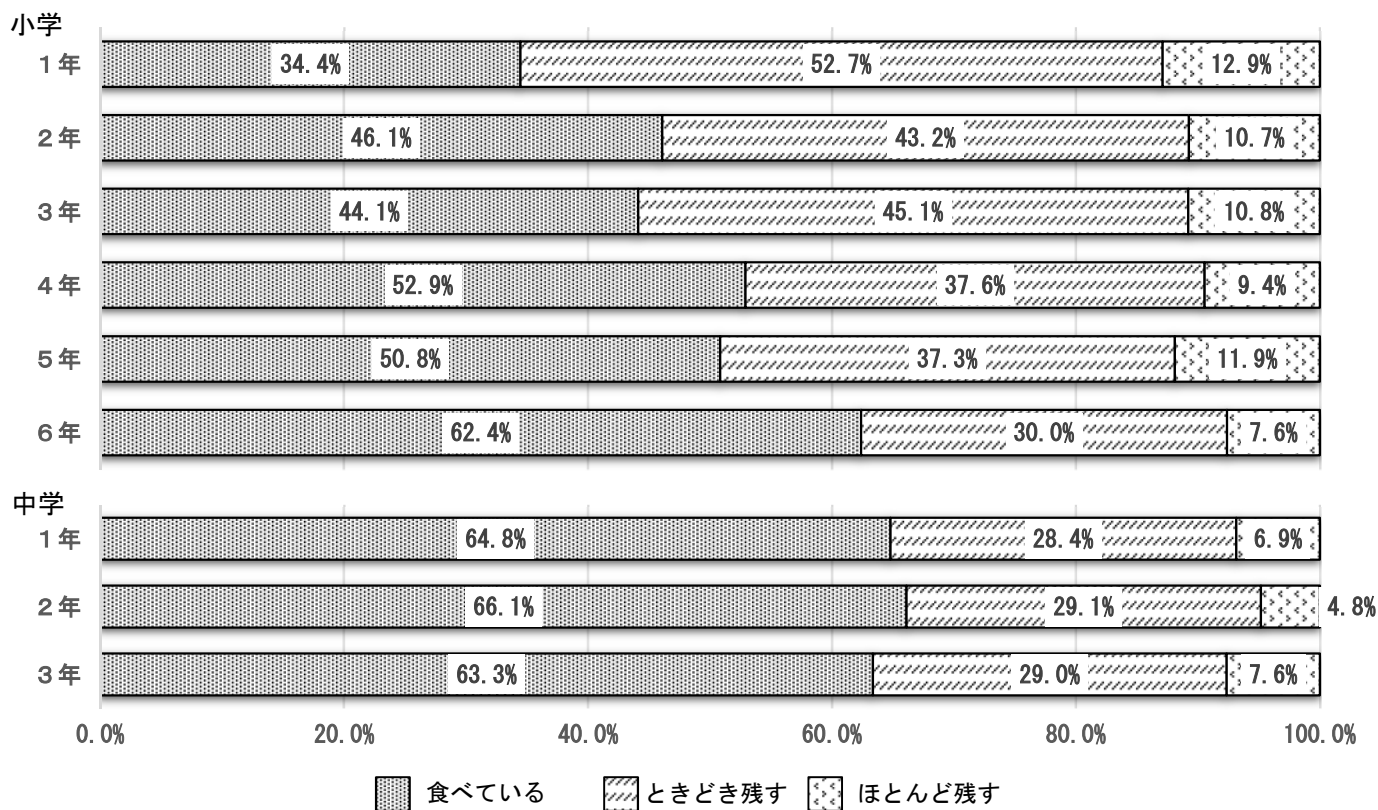
1日の運動量の経年変化



調査の実施時期の関係上、特に中学3年生の結果に影響が表れました。中学3年生は高校受験を控えていることから、調査の実施時期には部活動を行っていませんでした。その結果、運動を「ほとんどしない」または「30分より少ない」と回答した割合が高く、中学生の結果に影響しました。小学生は、前回、前々回の結果と比べると、運動をあまりしない児童の割合が減少しました。

<給食の食べ方>

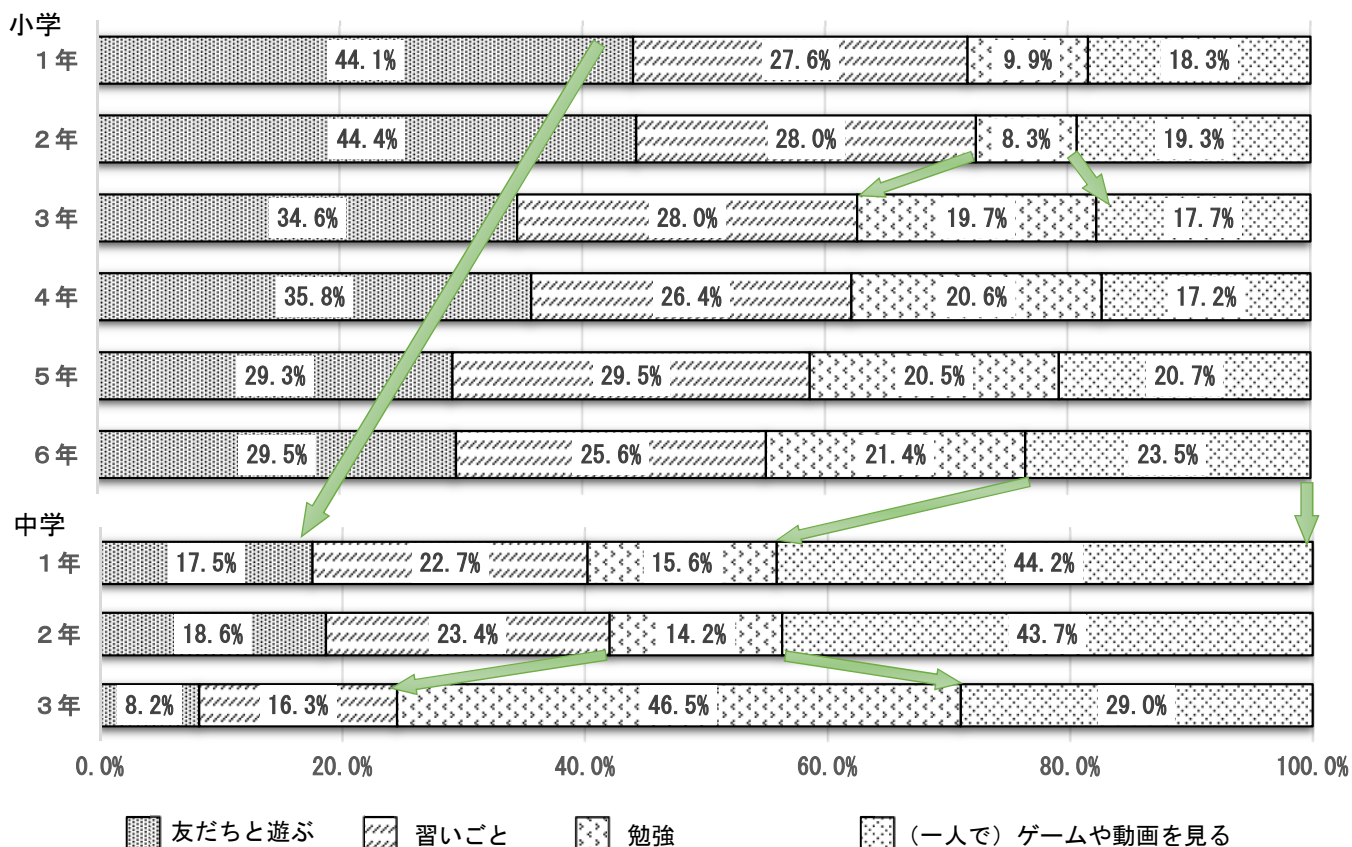
Q. 給食を残さず食べますか。



学年が上がるにつれ、給食を残さずに食べている割合が多くなっています。給食の食べ方の経年変化を見ても、中学生の給食を残さずに食べる割合が年々増加していることがわかります。食育などの取組や、給食の調理や配送の工夫などが奏功しているのだと思います。また、子ども自身の成長により、様々なものを食べられるようになっていると考えられます。

<放課後の過ごし方>

Q. 放課後は主に何をしていますか。(平日5日間で最も多い過ごし方)



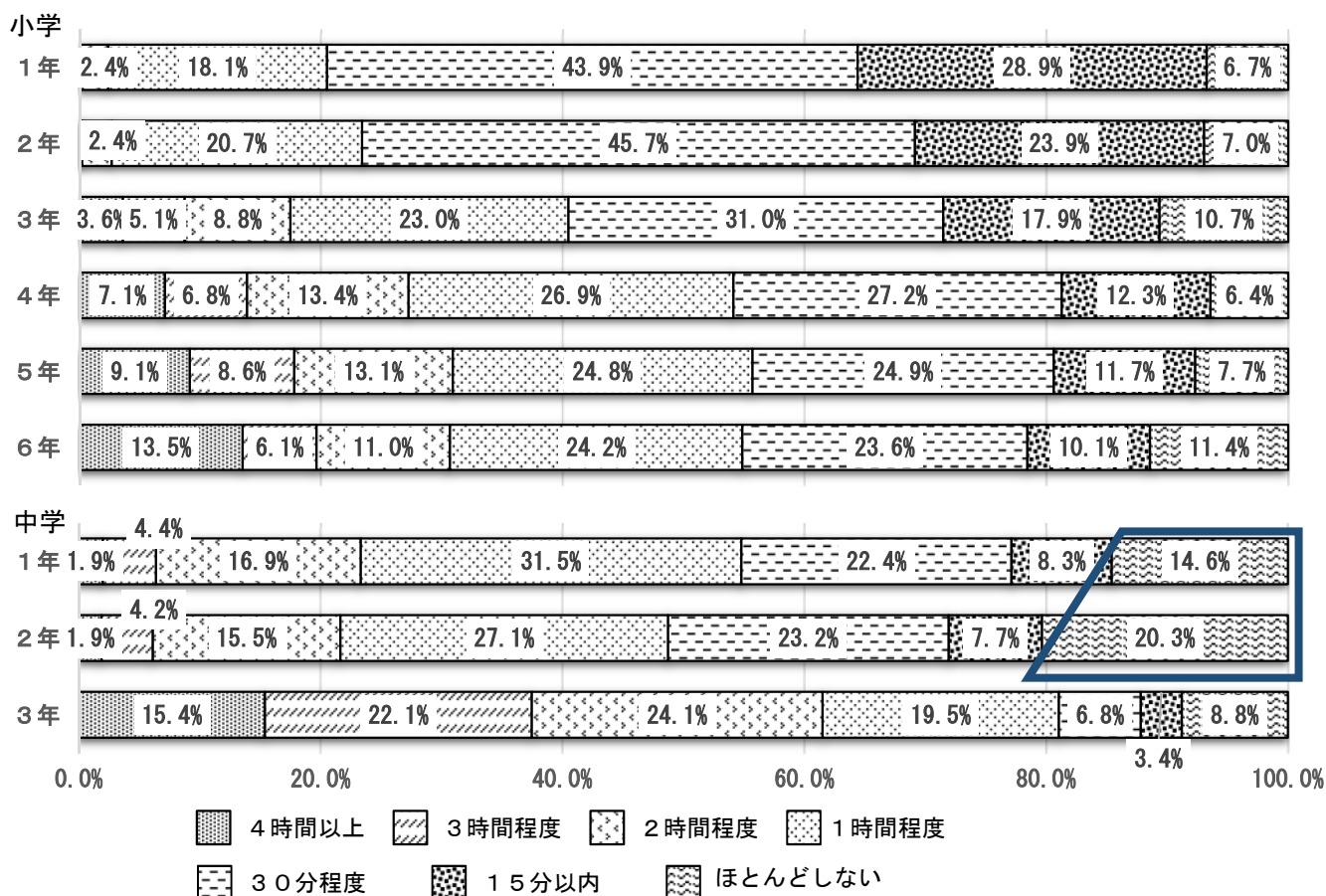
放課後の過ごし方を見ると、低学年ほど友達と遊んでいる割合が多く、学年が上がるにつれその割合が減少していきます。その分、特に小学3年生になるのをきっかけに、勉強に費やす時間が多くなるようです。

また、中学生については、部活動がない場合の過ごし方になりますが、中学生になった途端、ゲームや動画に費やす時間が、小学6年生と比べて約2倍になります。これは、中学校に進学と同時にスマートフォンを持つ子どもが急激に増加することが、一つの要因として考えられます。また、中学3年生については、高校受験を控え、勉強する時間を多くとるようになっていることもわかります。

2 学習や読書について

<家庭学習の時間>

Q. 学校がある日に、家でどのくらい学習していますか。(塾での学習の時間は除きます。)

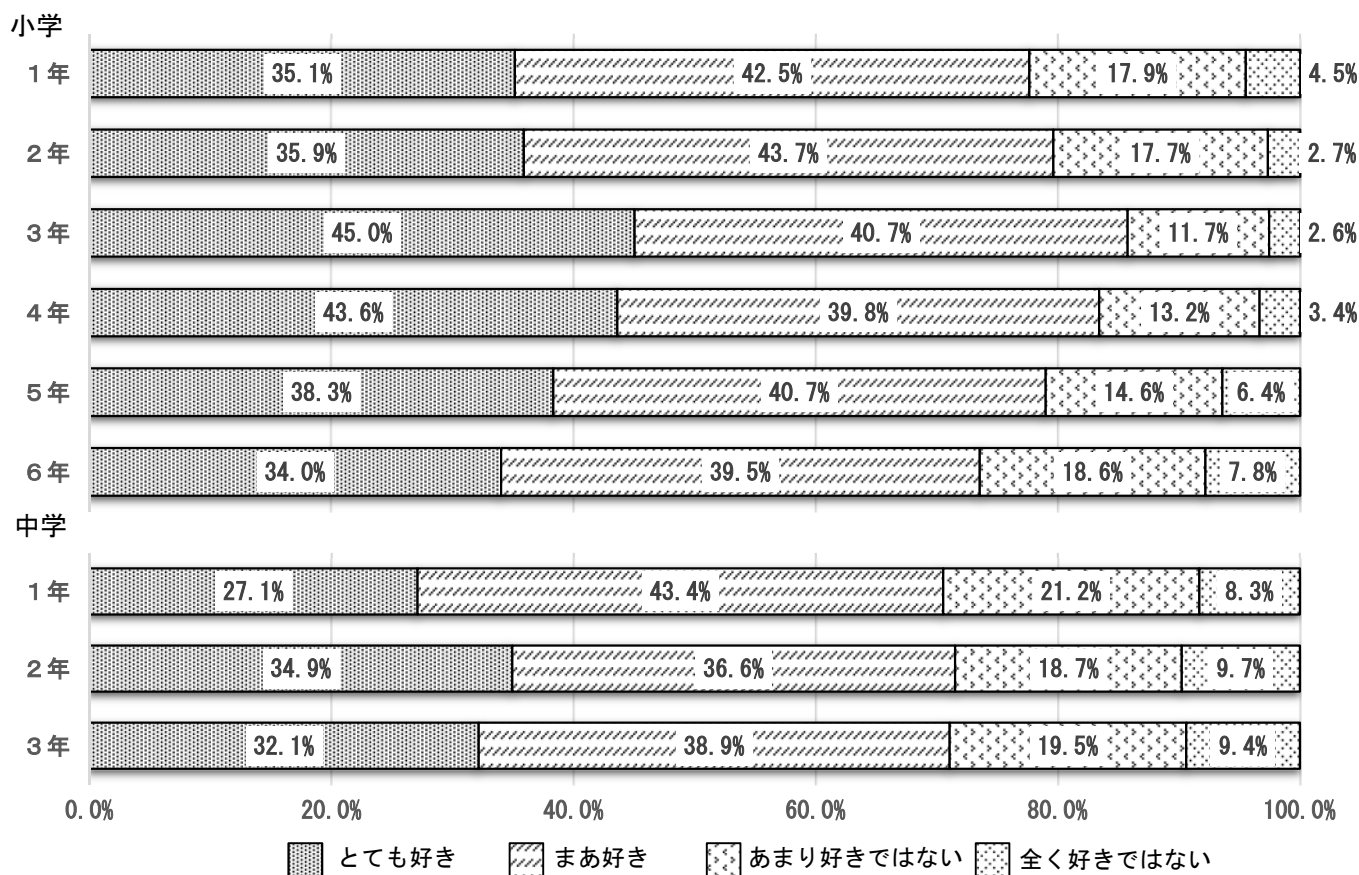


家庭学習の時間は、どの年代も30分～1時間程度が最も多いです。ただし年代が上がるにつれ、15分以内が減り、2～4時間学習している子どもの割合が少しずつ増えていきます。

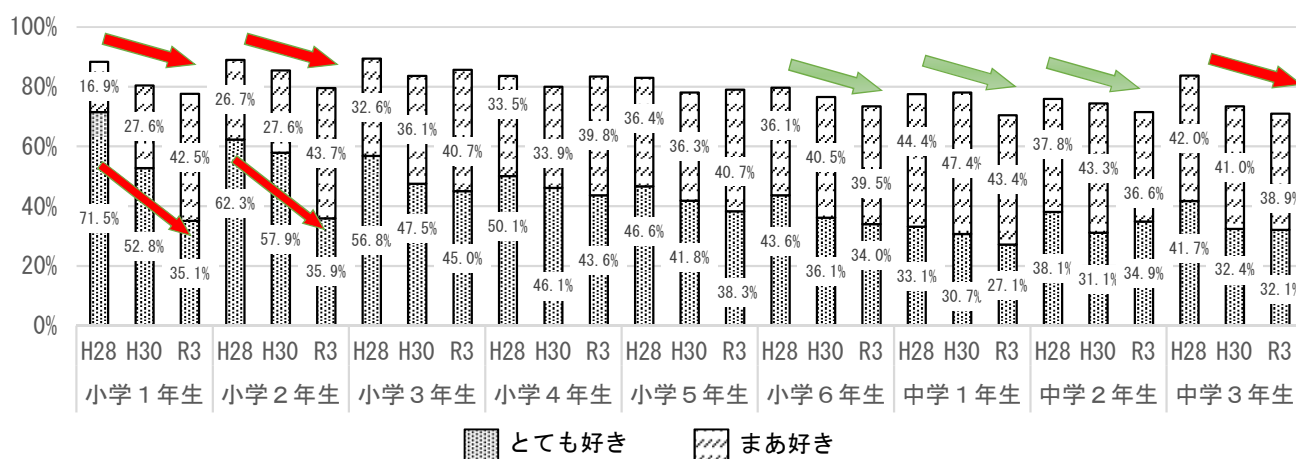
中学1，2年生の「ほとんどしない」の割合が、小学生や中学3年生と比べると多くなっています。この質問は、塾での学習の時間を除いていますので、「ほとんどしない」と回答している生徒の中には、塾での学習で学校外の学習を完結させている生徒がいると推察できます。

<読書時間>

Q. 本を読むことは好きですか。



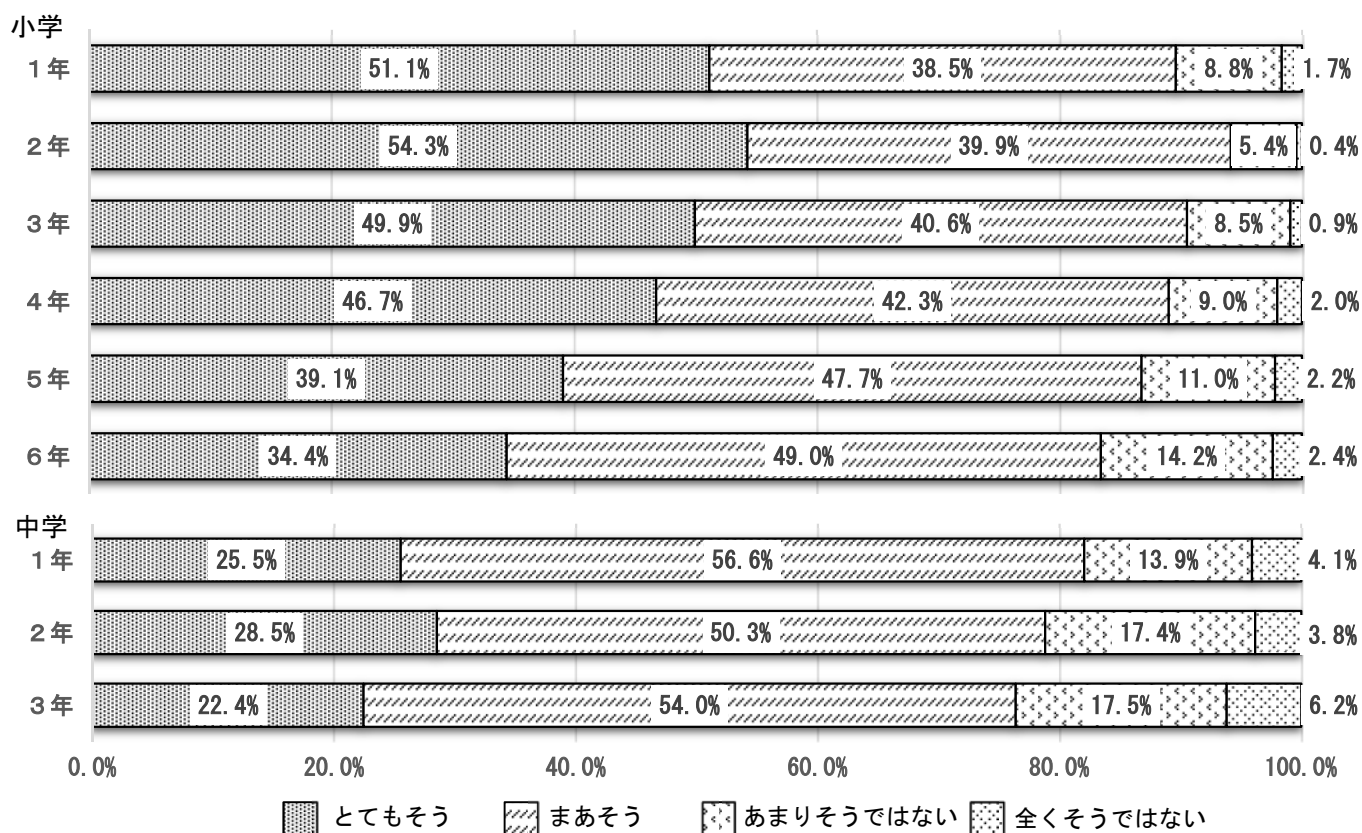
読書に対する好意度の経年変化



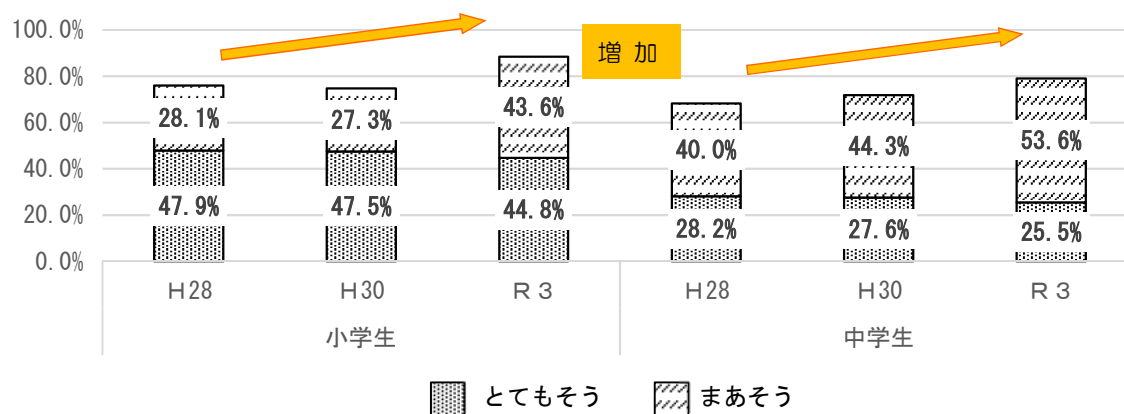
全体的に読書に対しての好意度は低下傾向にあります。特に小学校低学年と中学3年生で顕著に表れています。また低下幅は小さいですが、他の学年でも同様の結果が出ています。低下の理由についての詳細は不明ですが、予想される原因として、感染症対策のため、音読の活動が少なくなっていること、子どもたちを集めての読み聞かせの機会が減ったことなどが挙げられます。学校の教育活動の中に、読書活動をどのように位置づけていくかを考える等、子どもが本に親しむことができる環境を作る必要があります。

<学習に対する意識>

Q. パソコンやタブレットを使った学習はわかりやすい。

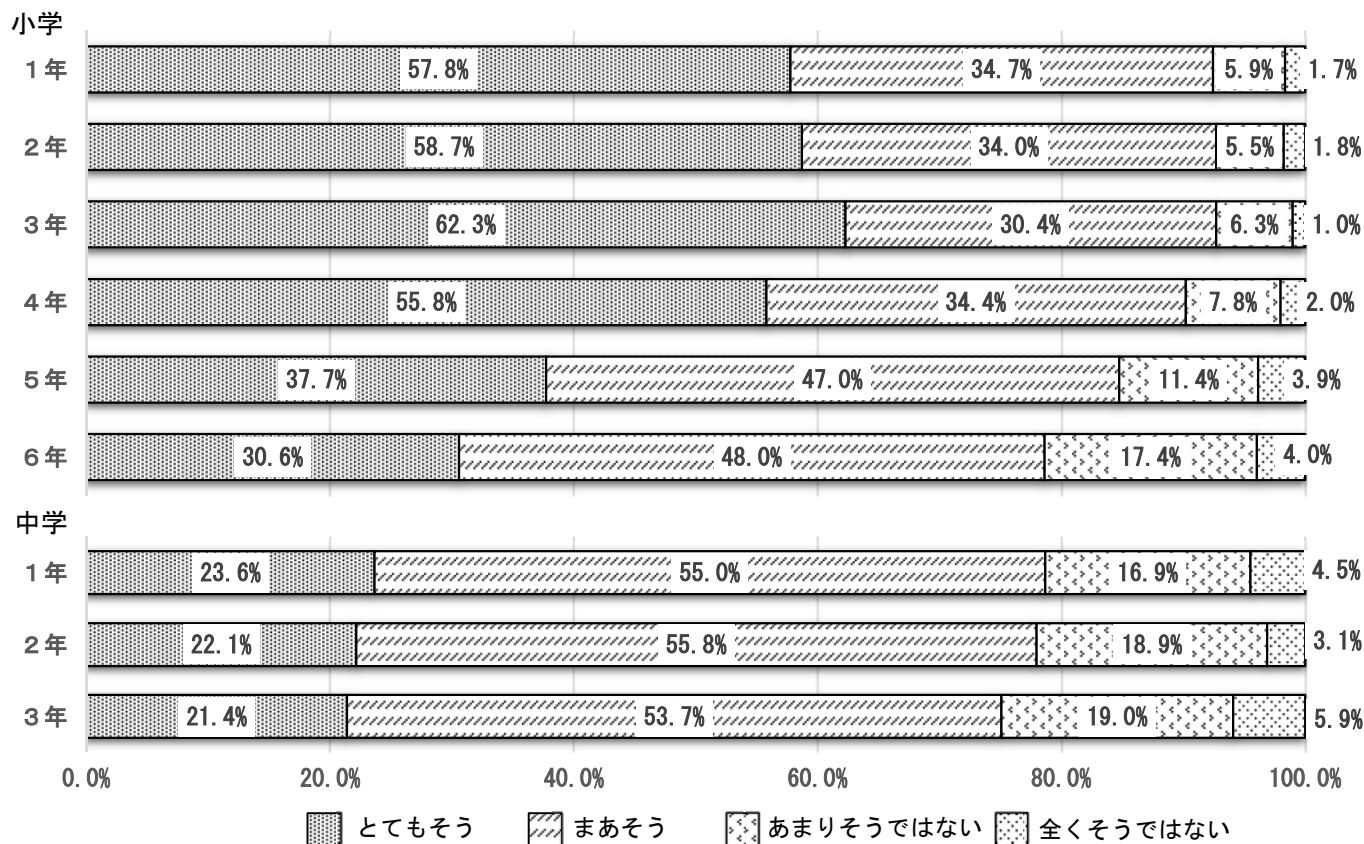


「パソコンやタブレットを使った学習はわかりやすい。」の経年変化

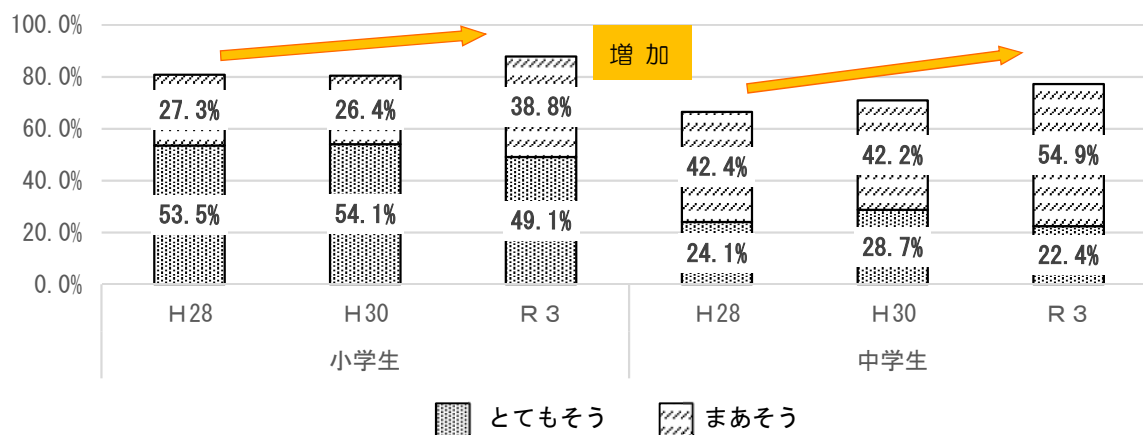


パソコンやタブレットを使った学習をわかりやすく感じている児童・生徒の割合は、年々増えていることがわかります。令和3年度には、GIGAスクール構想による一人一台端末環境の整備により、今まで以上にタブレットを使用した学習が行われるようになりました。教員の指導方法も充実してきており、子どもたちの理解度向上につながっています。

Q. 先生が2人以上で教えてくれる授業はわかりやすい。

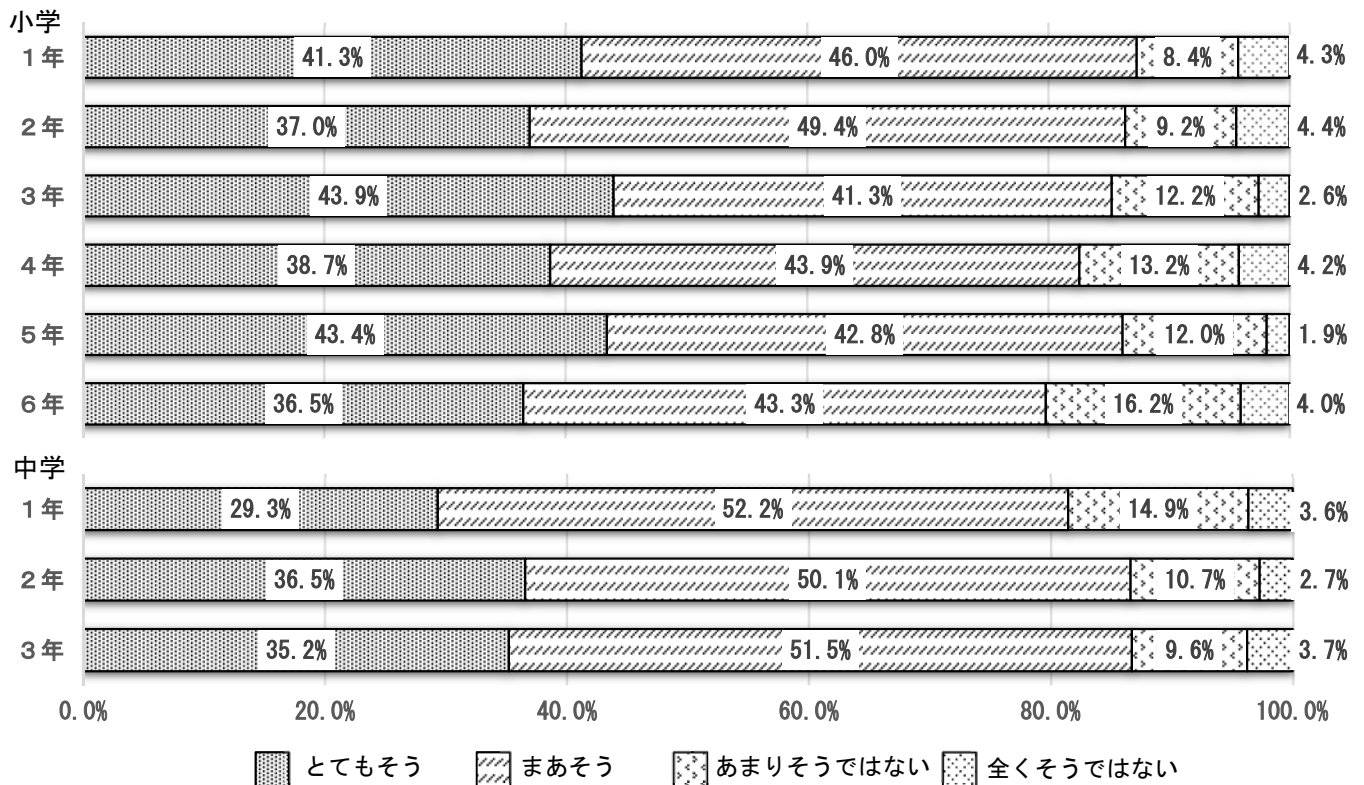


「先生が2人以上で教えてくれる授業はわかりやすい。」の経年変化

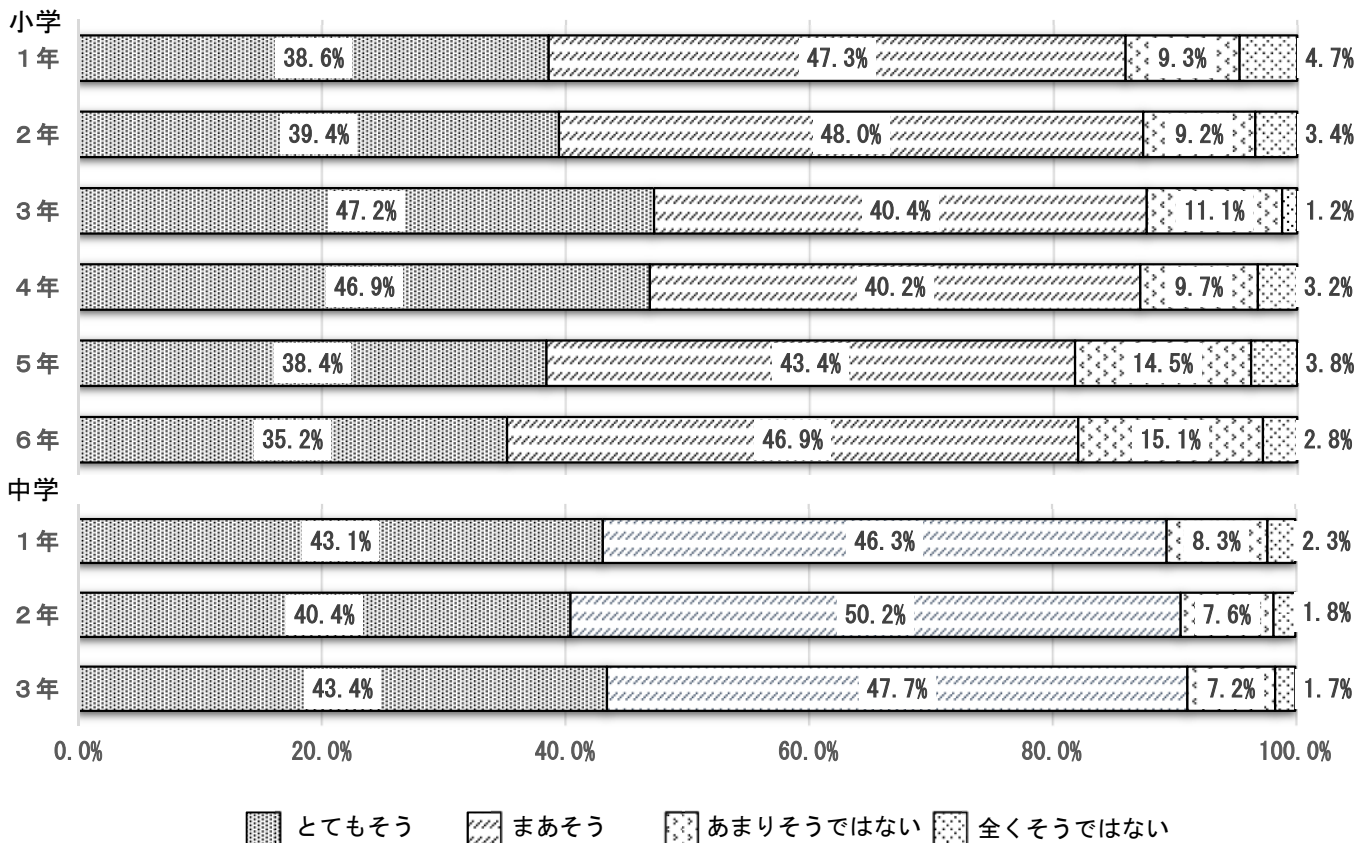


複数の教師による指導「チーム・ティーチング」により、学習の理解度が高まります。令和2年度までは少人数教育指導教員、令和3年度からは学年・教科支援教員が配置されていることから、教科によっては、1授業に複数の教師が指導に入ることがあります。チーム・ティーチングによる授業が充実し、児童・生徒の満足度も増加していることがわかります。

Q. 少人数で行う授業はわかりやすい。



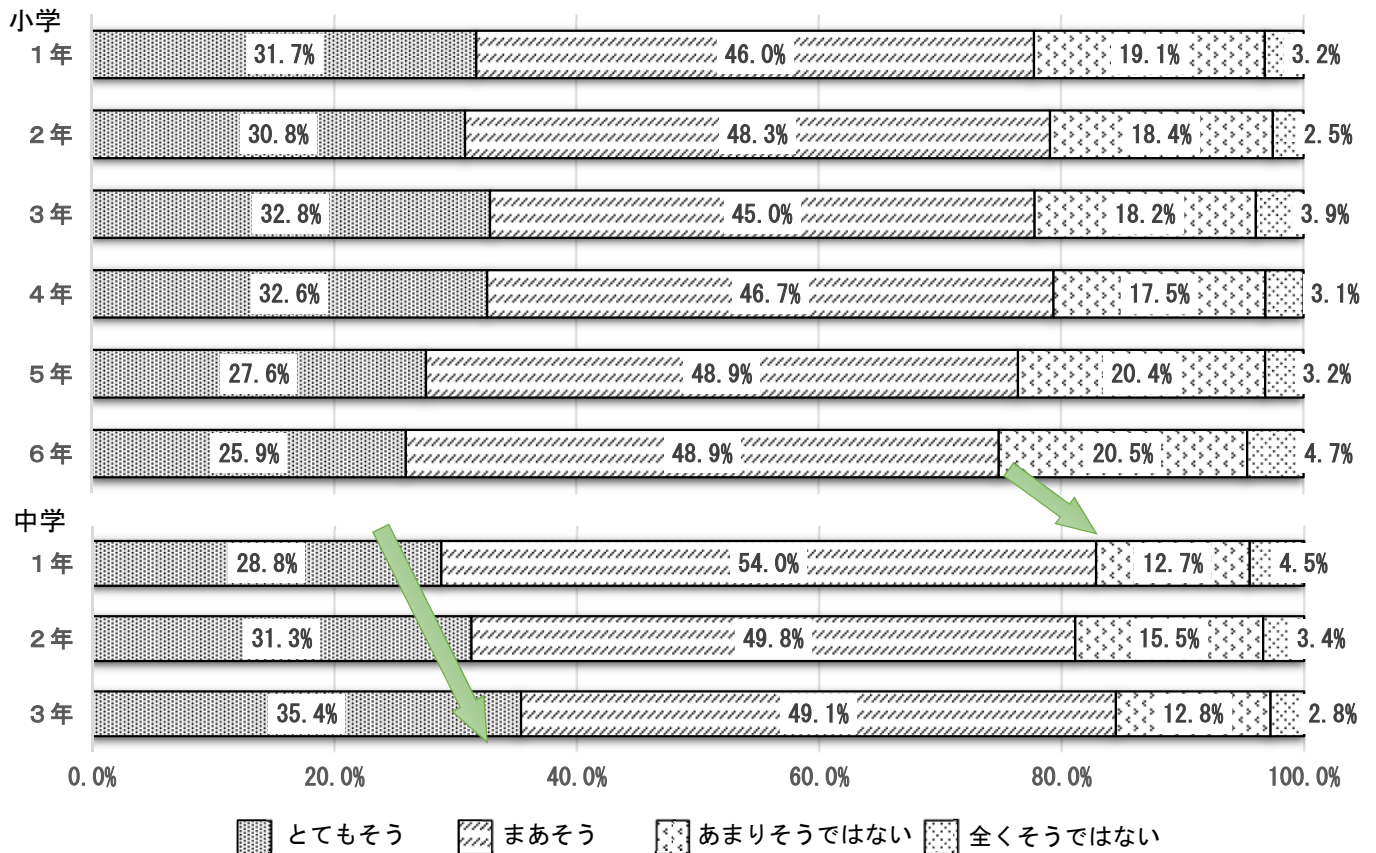
Q. 教科によって先生が変わる学習はわかりやすい。



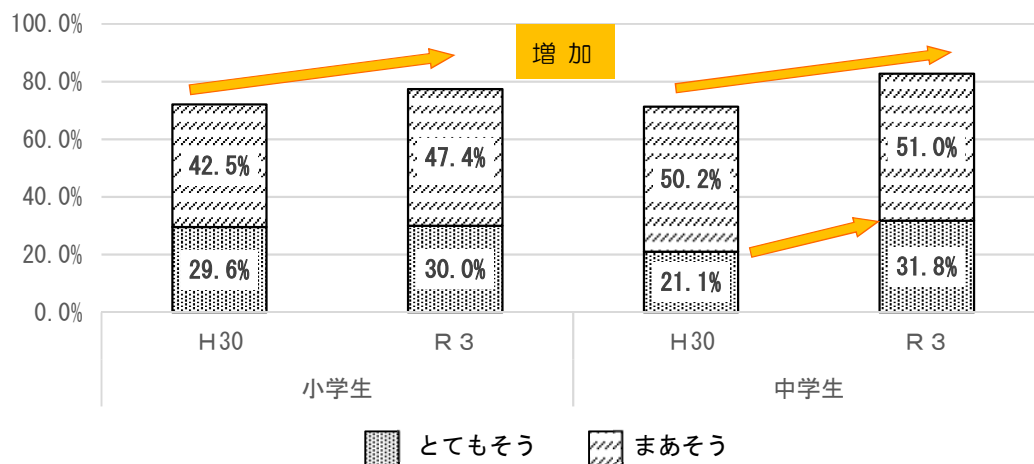
令和3年度からは学年・教科支援教員の配置により、少人数指導や専科による授業が行われています。学校によって授業形態や教科などは異なりますが、担任と担任以外の教員が連携することで、児童・生徒への指導・支援をよりきめ細かく充実させることができるように取り組んでいます。

少人数で行う授業については、学年に関係なく、約8～9割の児童・生徒がわかりやすいと感じていました。また、専科や教科担任制による学習については、小学1～4年生と中学1～3年生は9割、小学5・6年生は8割の児童・生徒がわかりやすいと感じていました。今までの小学校では、担任が全教科を教えることが通常の授業形態でした。しかし、子どもたちを複数の教師の目で見えていくことの良さを生かすため、最近では教科の一部を教科担任制にしている小学校が増えてきています。専科、教科担任制のメリットを最大限生かした、教育課程の編成や授業内容のさらなる充実に努めています。

Q. 話し合う活動で、自分の考えを深めたり広げたりできている。

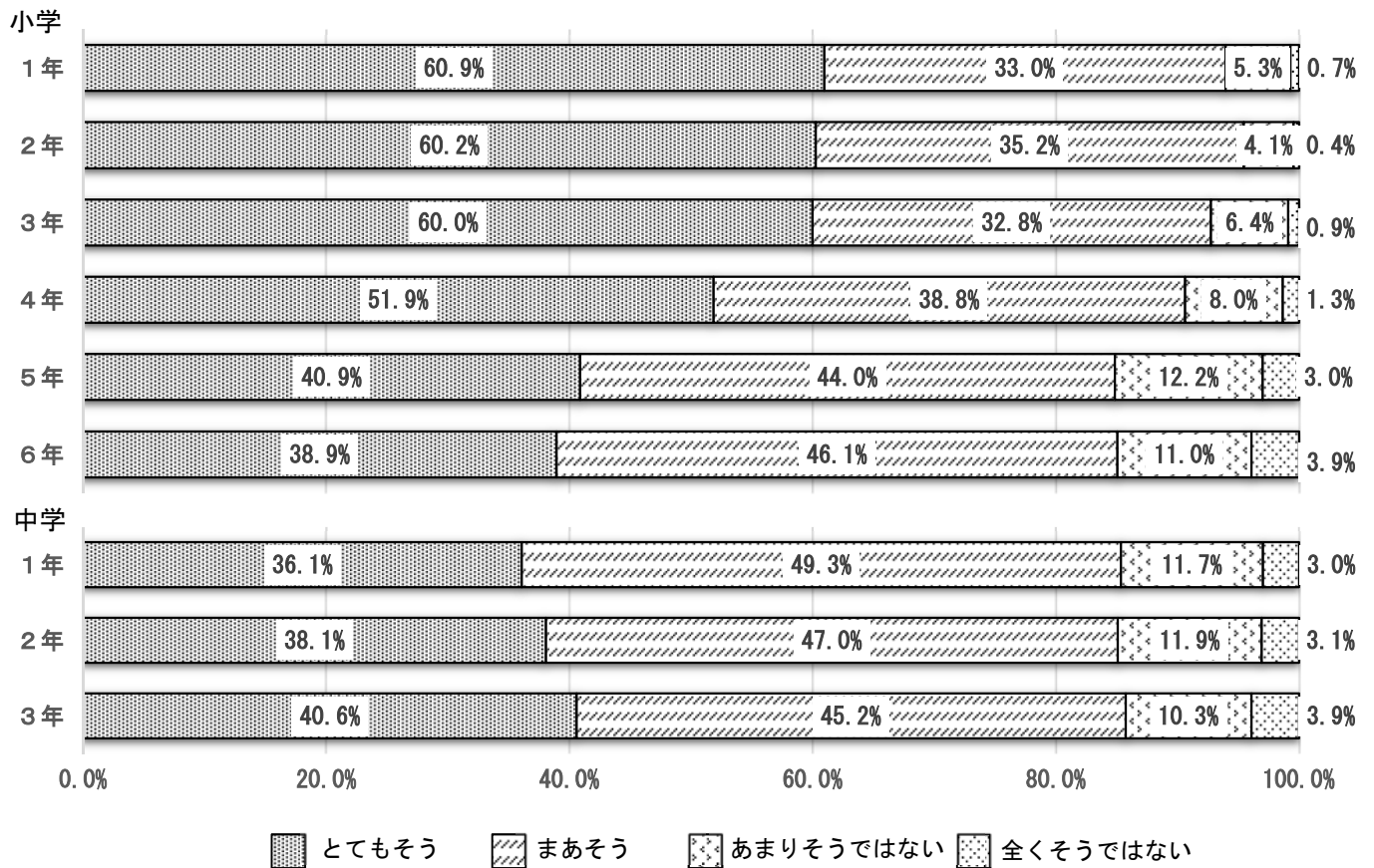


「話し合う活動で、自分の考えを深めたり広げたりできている。」の経年変化



小学生のころから様々な教科や領域で話し合い活動を行うことで、児童・生徒の話し合いのスキルは上達しているようです。中学生になると、年代が上がるにつれ、話し合い活動で自分の考えを深めたり広げたりできていると回答している割合が増えています。繰り返し話し合い活動を行うことで、「どのようにすれば自分の考えを深めたり広げたりできるか」を学ぶことができていると思われます。

Q. 学習のふりかえりをする時間は大切である。



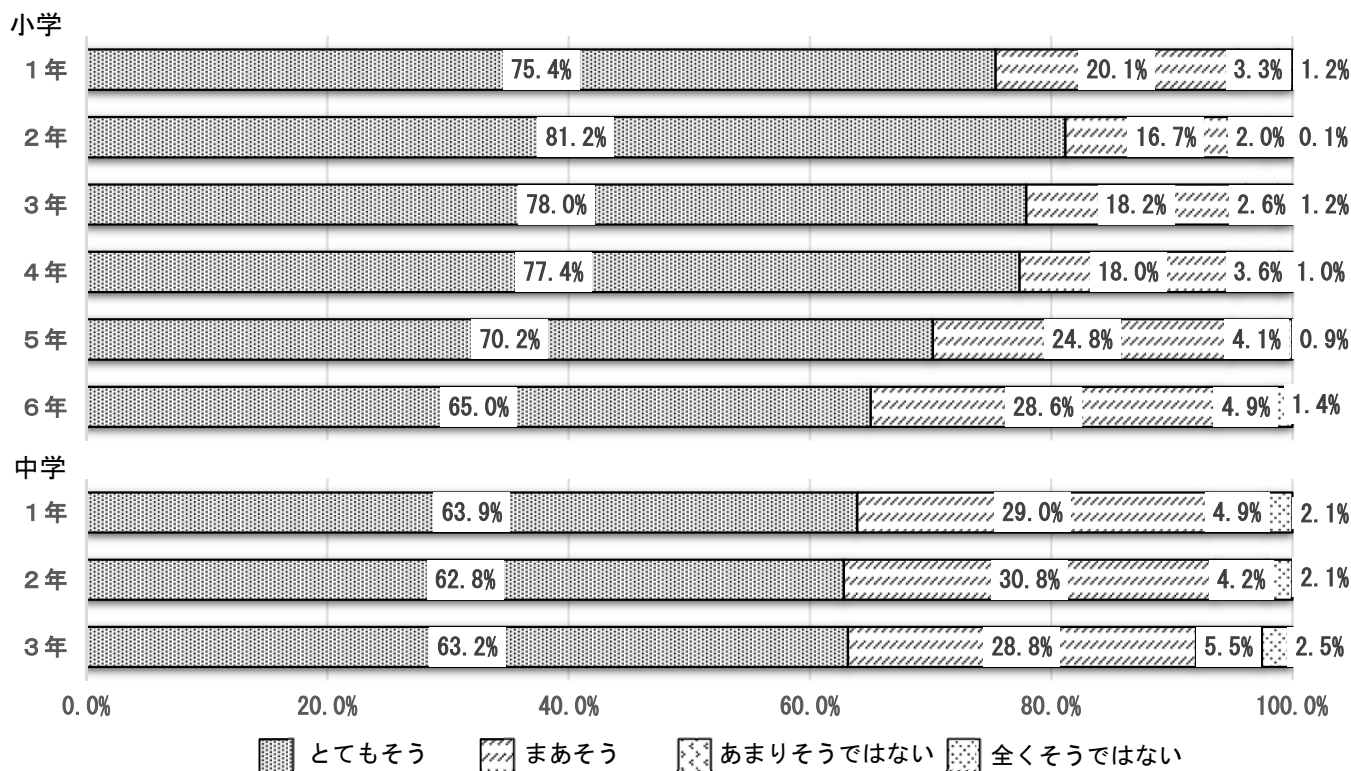
知識の定着や、自己の学習の調整（学習の進め方について試行錯誤すること）をしていく上で、学習したことの振り返りは欠かせないものとなっています。授業の中でも、単元を通してそのような視点をもちながら進めています。

どの学年も9割前後の児童・生徒が学習の振り返りについて必要性を感じています。教師の指導もありますが、子どもたち自身も、経験上、振り返りをする事の大切さを感じているようです。教師側も、様々な授業を展開していく中で、子どもたちが意味のある振り返りができるよう、意図的に組み込んでいく必要があります。

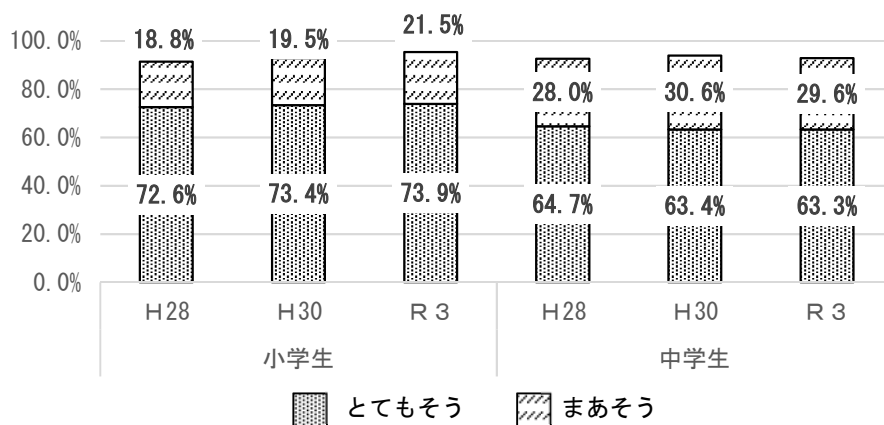
3 友だちや家の人との関係について

<友だちとの関係>

Q. 学校で友だちと会うのが楽しみだ。

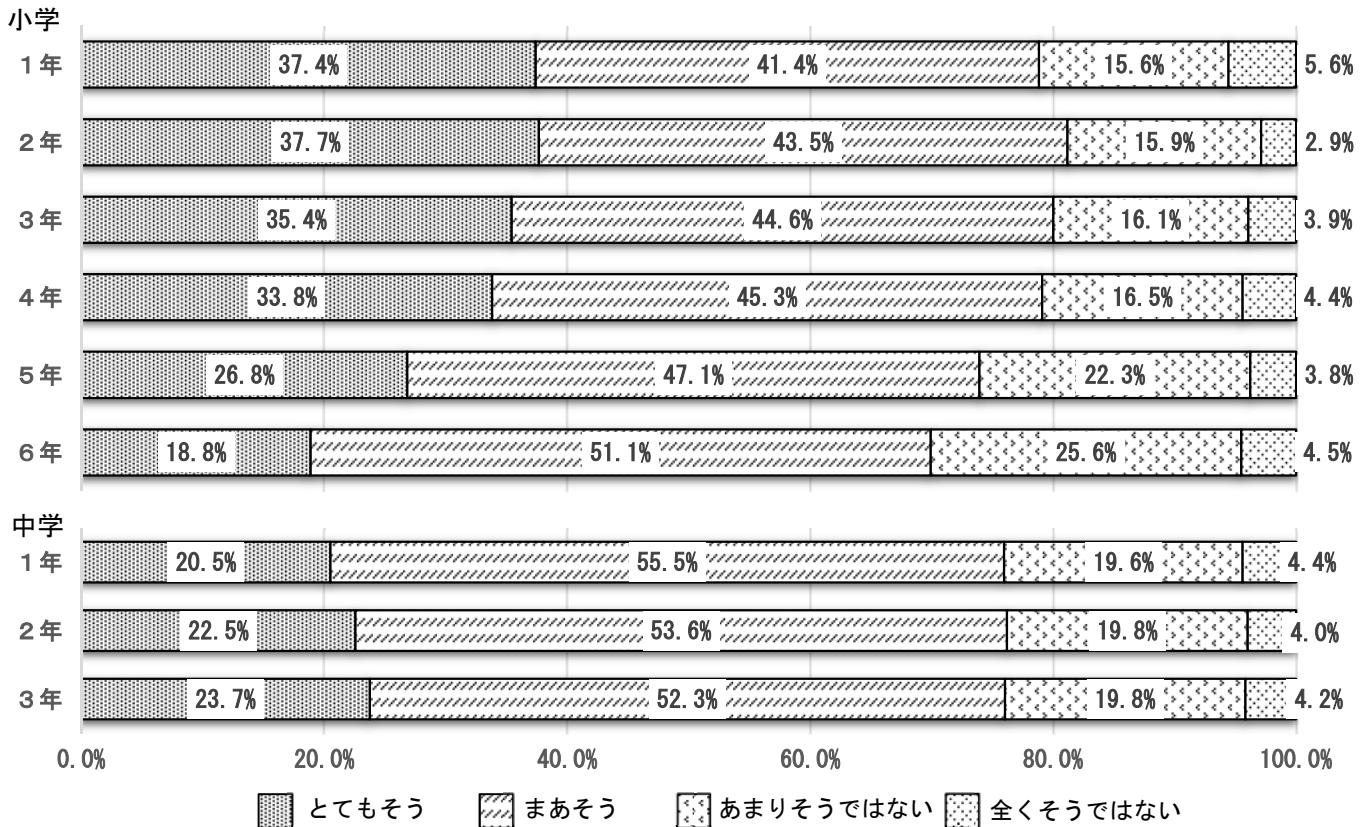


「学校で友だちと会うのが楽しみだ。」の経年変化

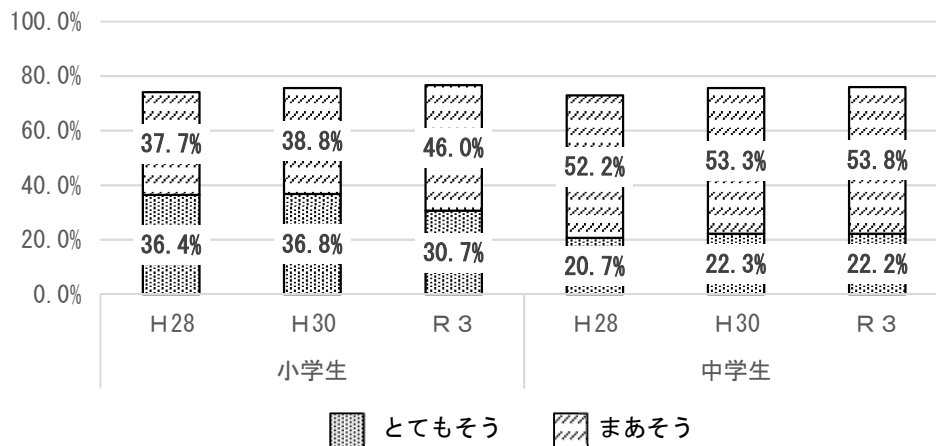


中学生になると、「あまりそうではない」「全くそうではない」の割合が微増しますが、それでも、どの学年も9割以上の児童・生徒が、友だちと会うのを楽しみにしていることがわかります。学校は学習をするところであるとともに、人間関係づくりを学ぶ場でもあります。友だちと会うことを楽しみにする気持ちはとても尊いものです。どの子どもも充実した学校生活を送るために、良好な友だち関係を築くことは重要です。

Q. 友だちが悪いことをしたときに、注意できる。

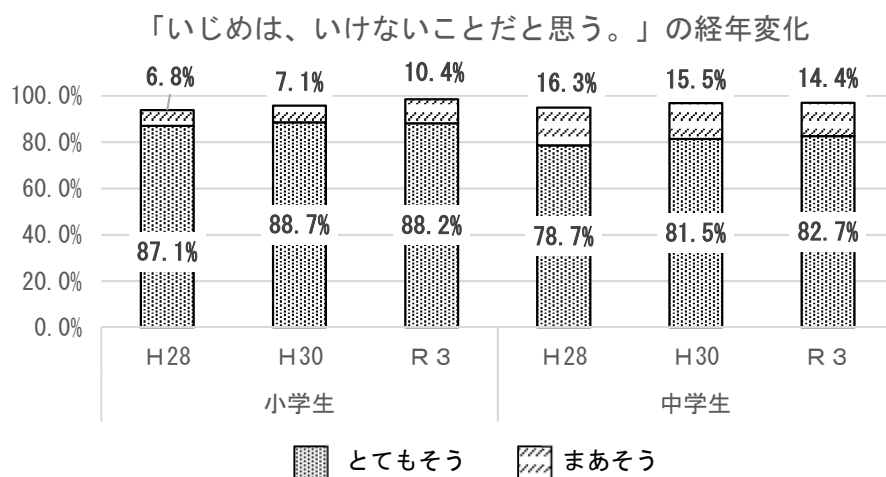
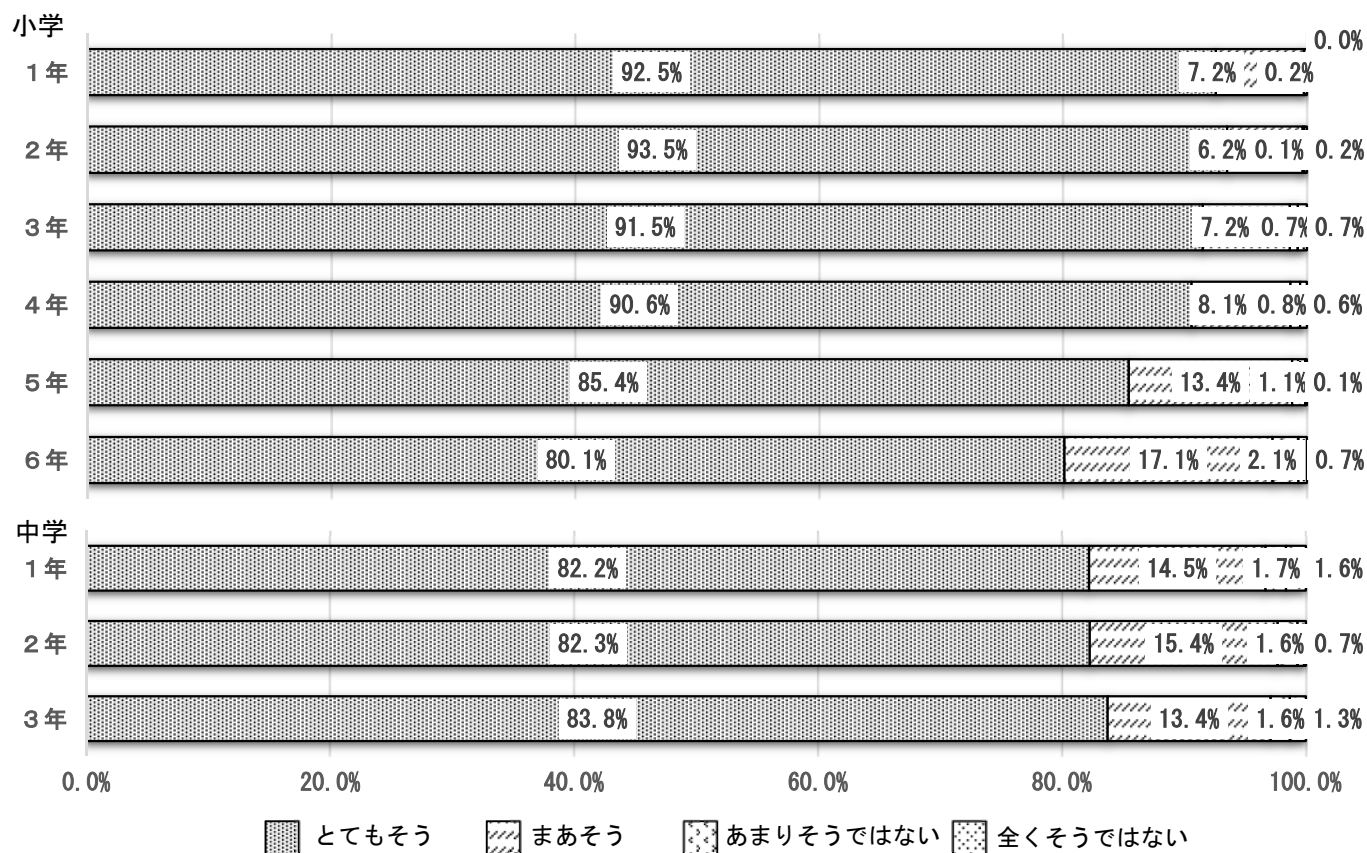


「友だちが悪いことをしたときに、注意できる。」の経年変化



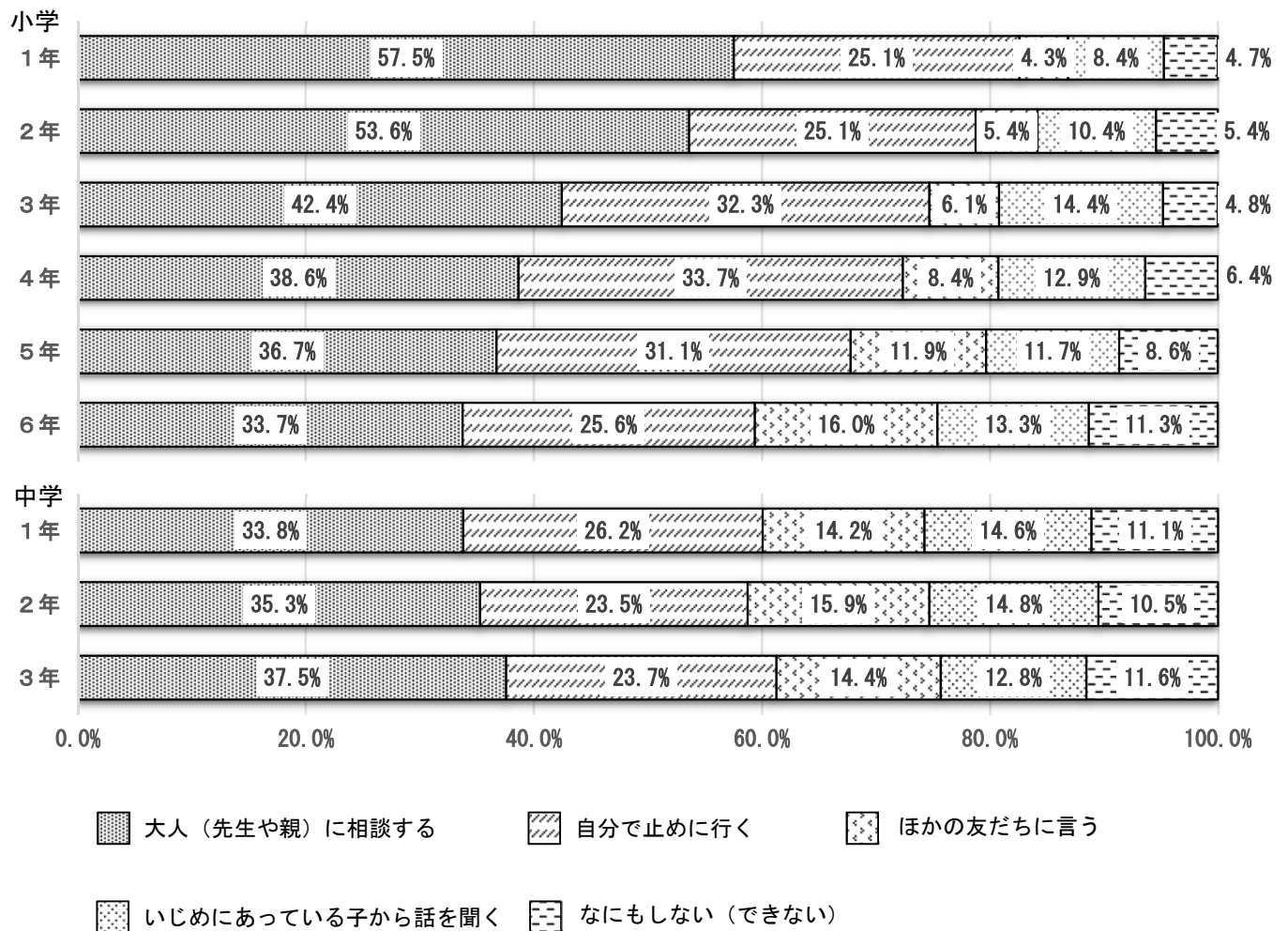
友だちと良好な関係を築くためには、正直に分かり合えることも必要なことの一つだと考えられます。どの学年も8割前後の児童・生徒が、友だちが悪いことをしたときに注意できると回答しています。ただ、小学5年生より上の学年については、注意できないと回答している割合が増えています。小学6年生にいたっては、約3割の児童が注意できないと回答しています。高学年ほど、友だち関係のトラブルは多く、深刻化する傾向にあります。そのような現状を反映した結果と言えます。担任をはじめ、周囲の大人が、場面や状況に応じて適切な指導・支援を心がけることが必要です。

Q. いじめは、いけないことだと思う。



ほとんどの児童・生徒が、いじめをいけないことだと思っていることがわかります。経年変化を見ても、いじめをいけないことだと思っている児童・生徒の割合が徐々に100%に近付いていることがわかります。いかなる理由があつたとしても、いじめは容認されるものではありません。そのような教員の意識が、子どもたちにも浸透しているのだと考えられます。日々の学級指導、生徒指導だけでなく、道徳の授業や、他愛無い会話の中からも、他人を思いやりいじめのない関係づくりを広めていくことができます。

Q. いじめを見たらどうしますか。

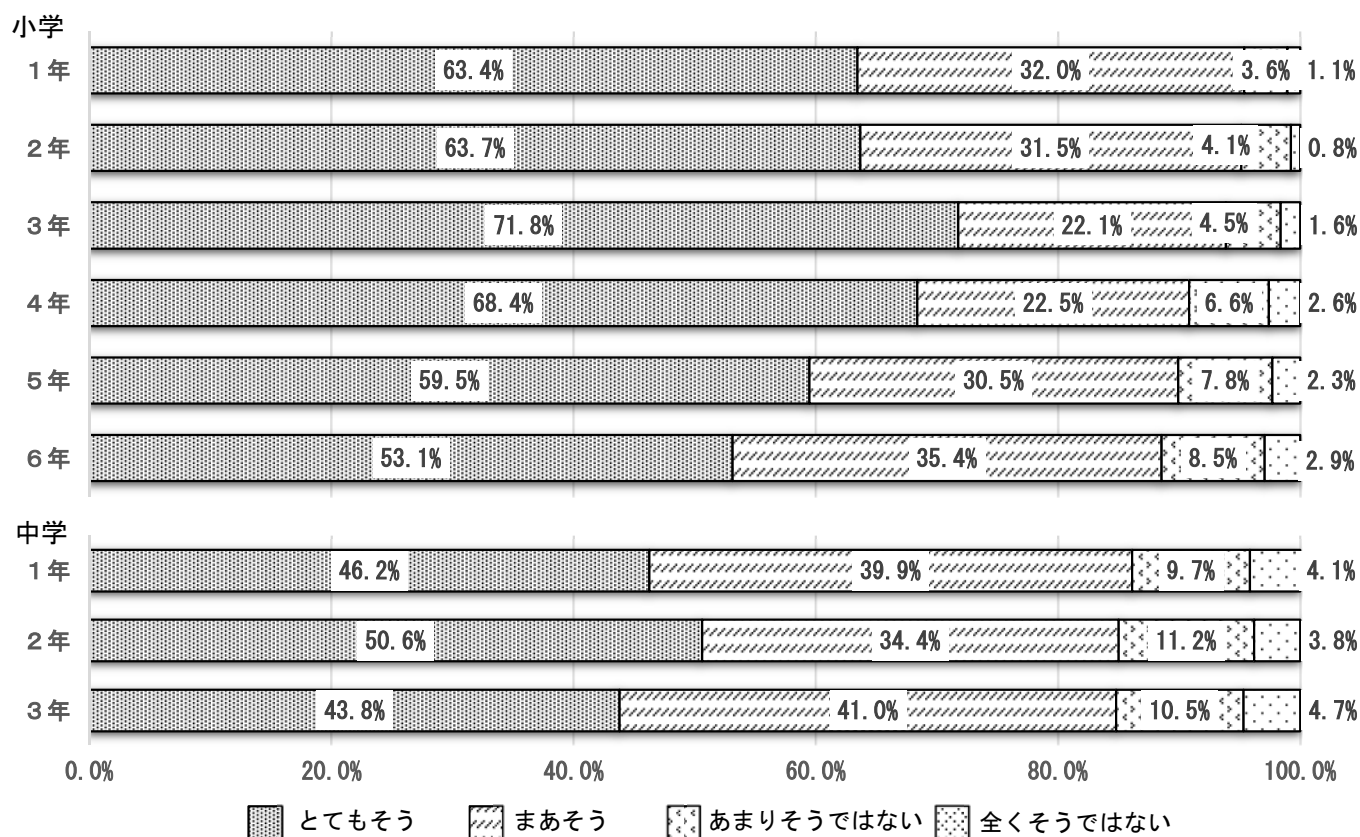


いじめはいかなる理由があろうと容認できないものとして対応する必要があります。しかし、当事者等になった場合、毅然とした態度を迷わずにとることが果たして可能か、またそれが正しいのかと問われると、なかなか判断が難しいときがあります。自ら行動を取ればよいですが、まずは身近な大人に相談できることがよいでしょう。

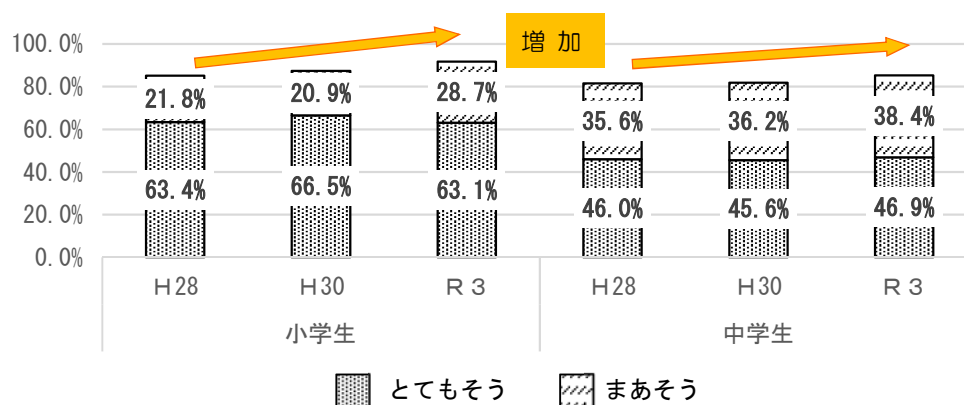
回答を見てみると、大人に相談する割合は、年代が上がるにつれ減っています。大人を介在することに不安を感じる割合が増えているのだと考えられます。子どもたちの身近にいる大人が、子どもたちに信頼されるようにしていくことが必要です。

<家の人との関係>

Q. 家の人のがんばったときに、ほめてくれる。

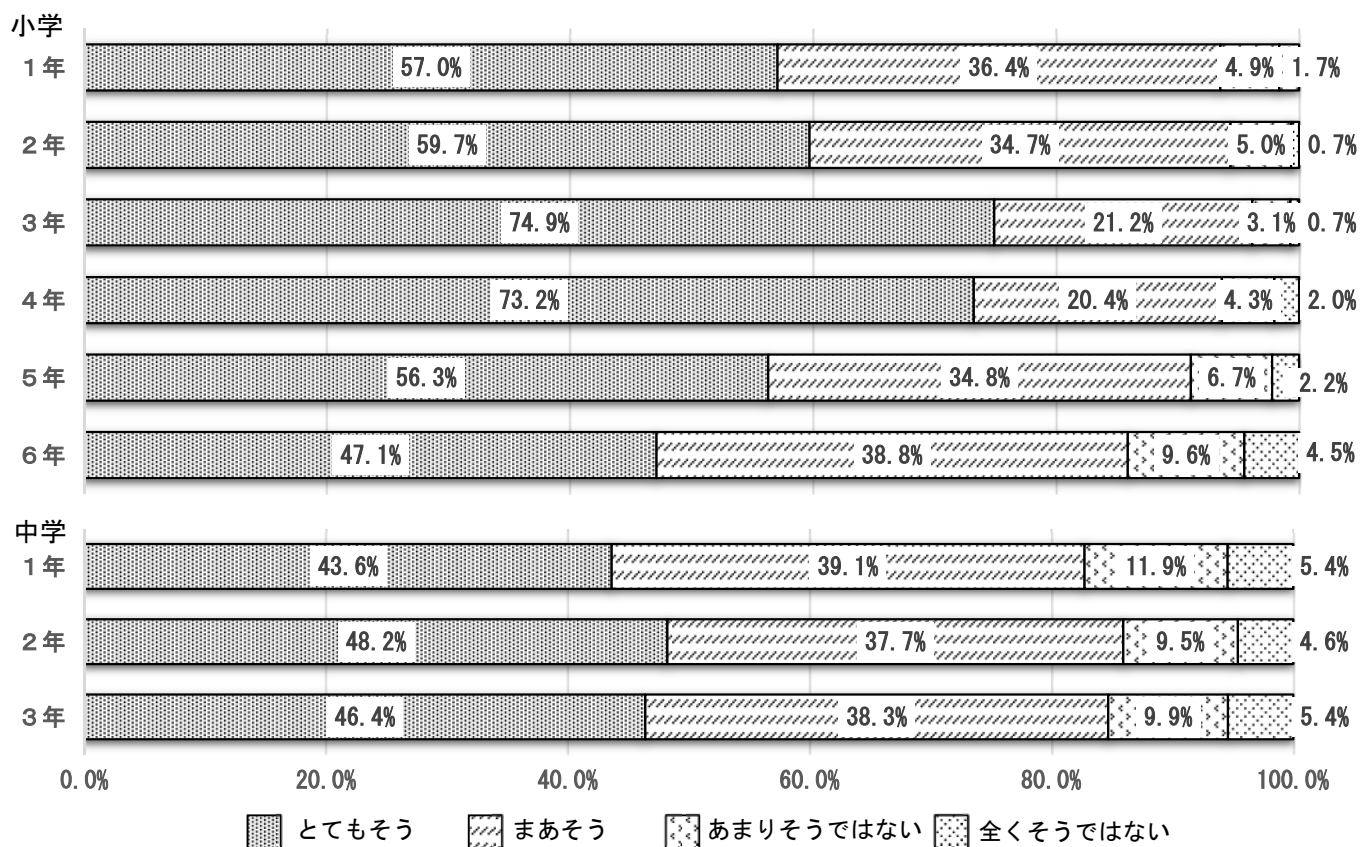


「家の人のがんばったときに、ほめてくれる。」の経年変化

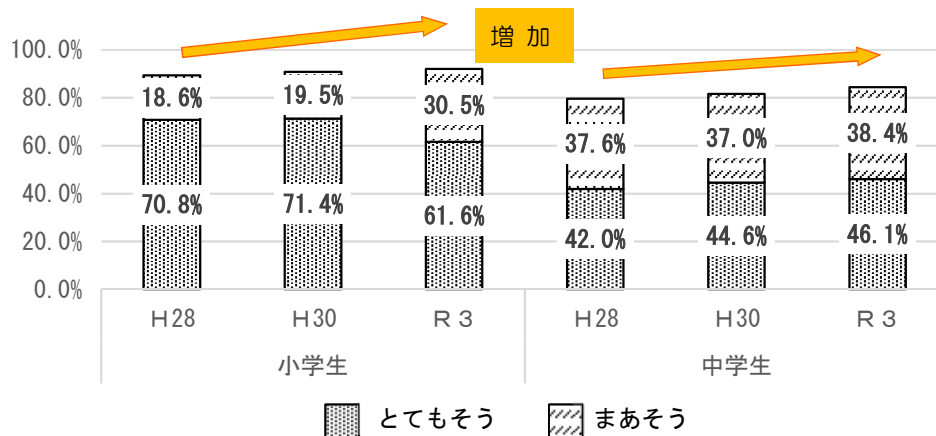


子どもたちが何かを成し遂げようと努力するときに、「ほめられること」が原動力の一つになることがあります。「ほめられること」によって、子どもたちの自尊感情も向上しパフォーマンスに好影響を及ぼします。全体の9割程度の児童・生徒が、がんばったときに家の人からほめられていると感じているようです。経年変化を見ても、年々増加傾向にあるようです。何かを達成した時だけでなく、経過途中でも、その子一人一人の頑張りを称賛する言葉かけと眼差しが子どもたちの成長につながります。

Q. 家の人のことを尊敬している。

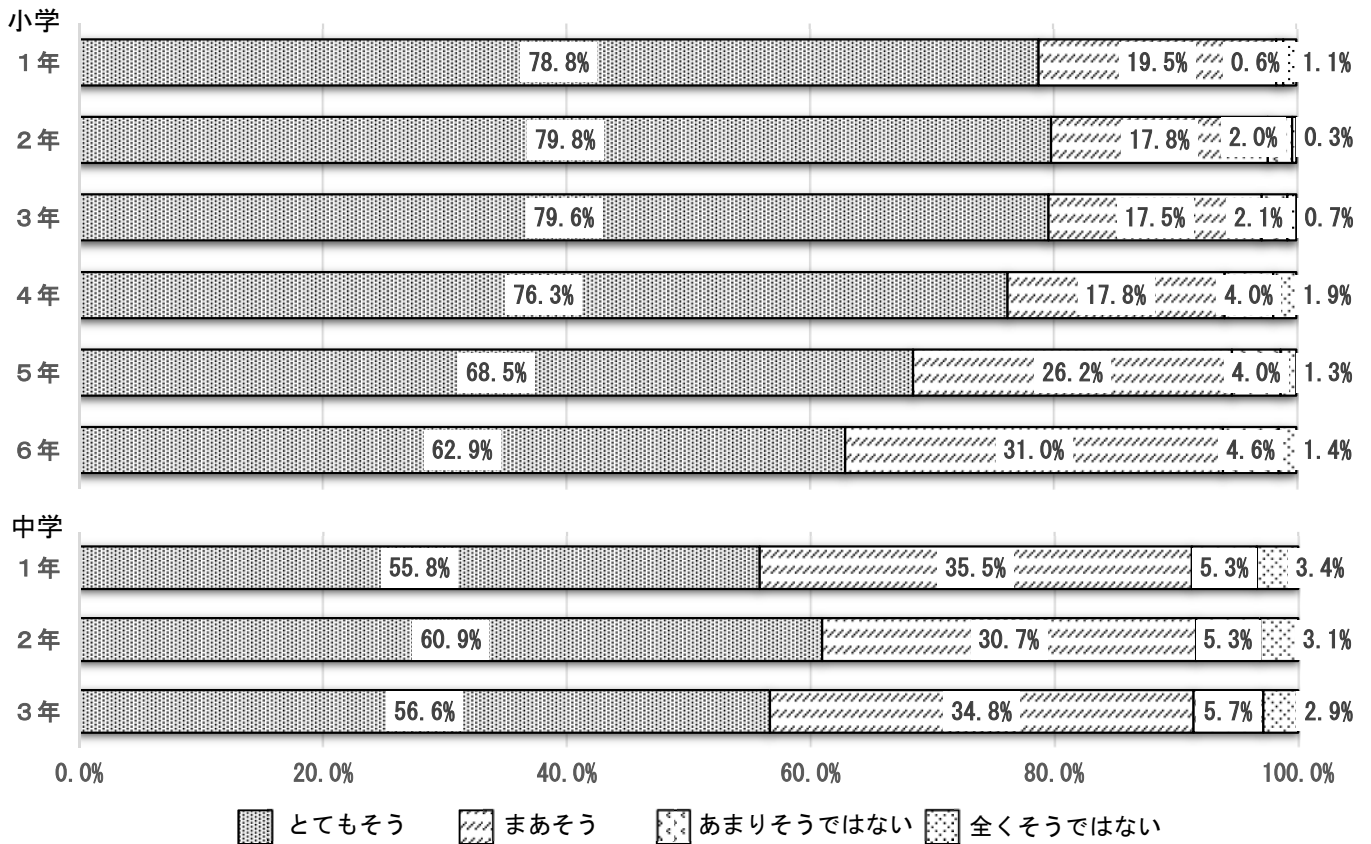


「家の人のことを尊敬している。」の経年変化

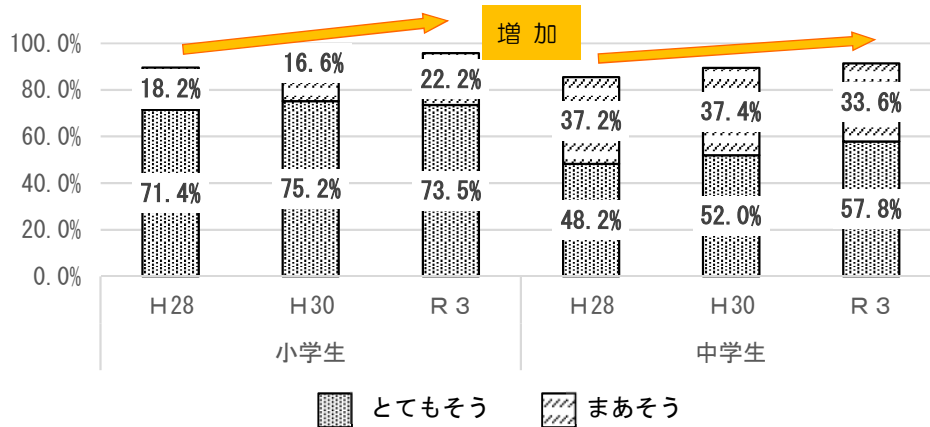


よく「子どもは親の背中を見て育つ」と言われますが、なるべくなら自分たちのよい部分を見てもらい、尊敬される親でありたいと願うものです。小学生では9割以上、中学生でも8割弱の子どもたちが家の人のことを尊敬しているようです。また、尊敬していると答えている子どもの割合も、年々増加していることがわかります。家の人に尊敬の念を抱き、身近な人をお手本にして生活している様子がうかがえます。

Q. 自分は家の人から大切にされていると思う。

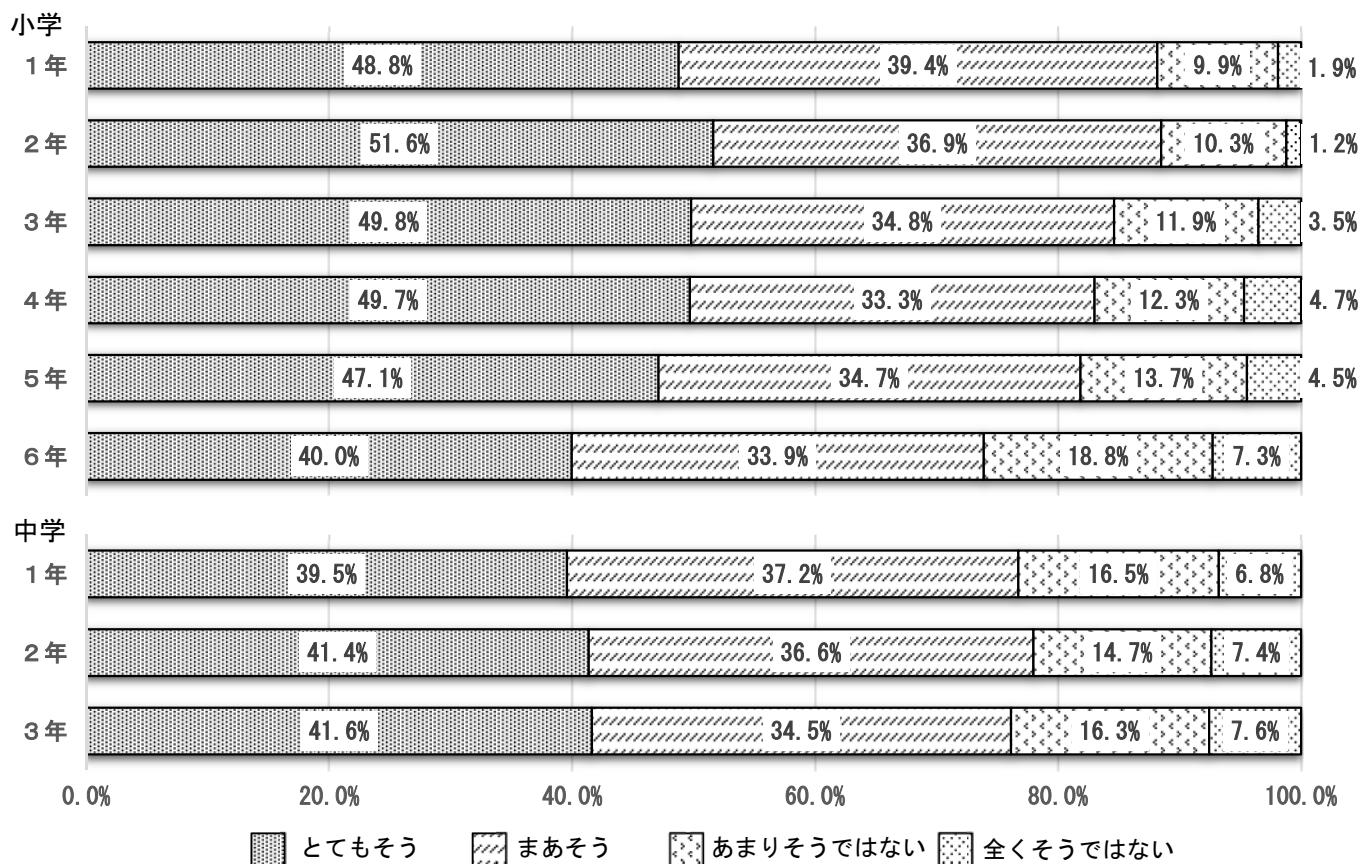


「自分は家の人から大切にされていると思う。」の経年変化

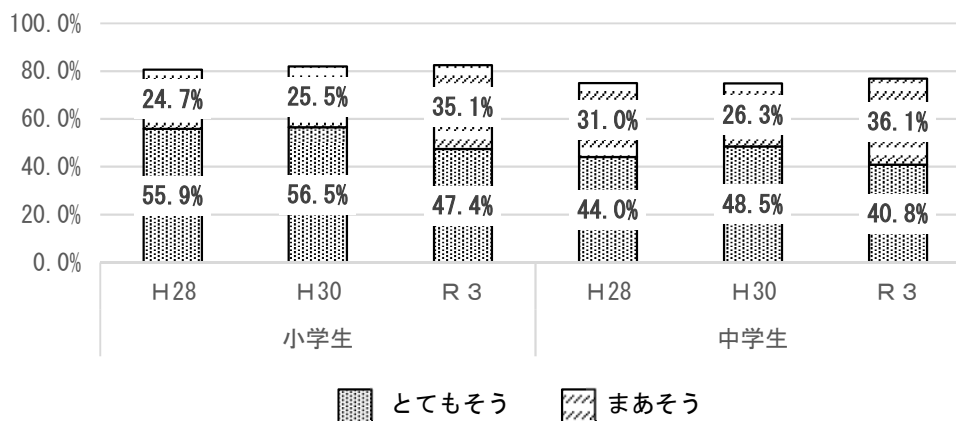


ほとんどの子どもたちは、家の人から大切にされていると感じていることがわかりました。また、経年変化を見ても、大切にされていると感じている子どもの割合は、年々増加していることがわかります。各家庭で子どもたちのことを最優先に考えていただいている結果だと言えます。また、前出の「家の人のことを尊敬している」の回答状況と合わせて見ても、各家庭の良好な関係をうかがい知ることができます。

Q. 学校のできごとについて、家の人と話をする。



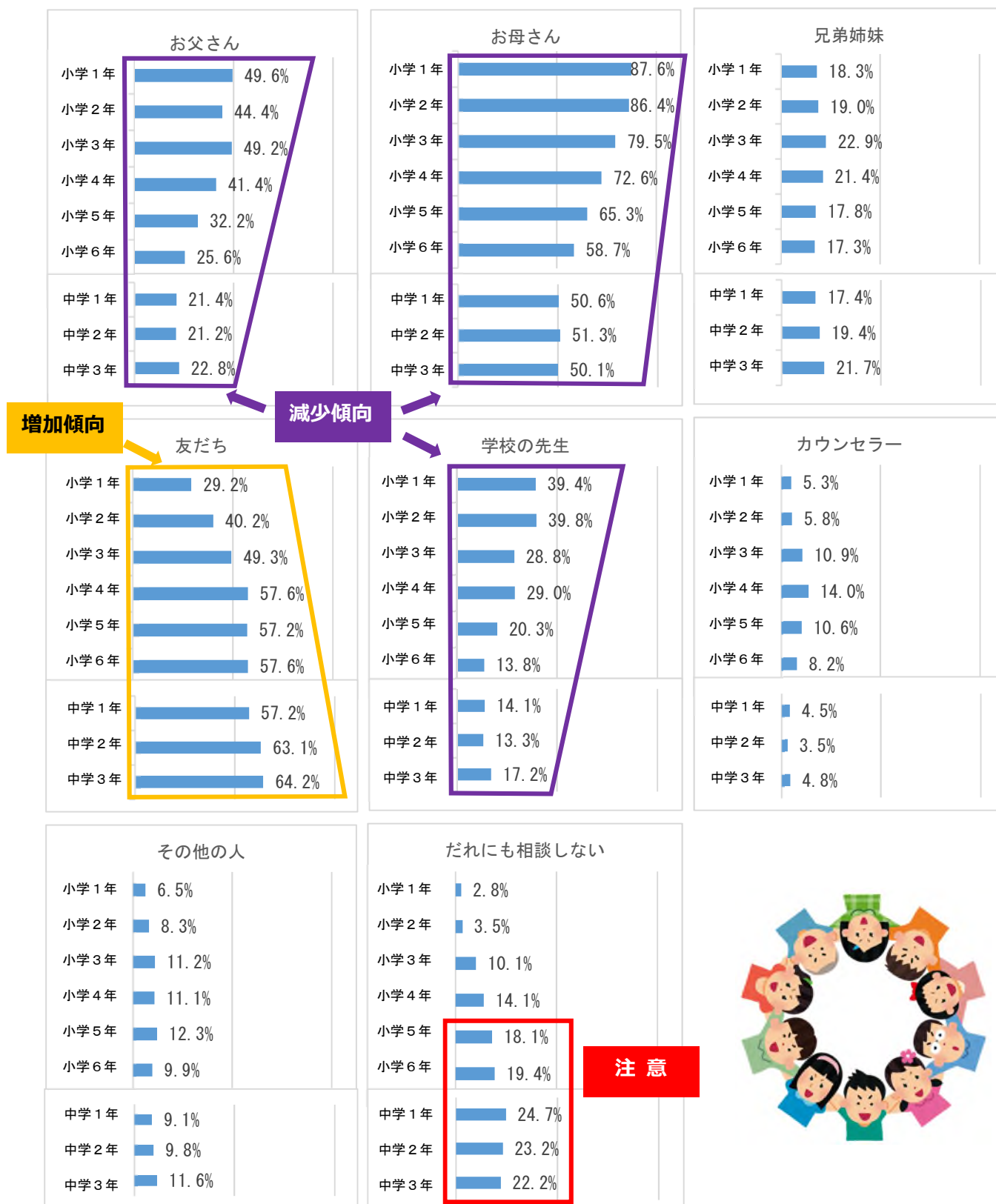
「学校のできごとについて、家の人と話をする。」の経年変化



経年での変化はあまり見られないものの、小中学生ともに8割前後の子どもたちが、学校のできごとについて家の人と話をしていることがわかりました。子どもの様子を最も把握できる方法は、子どもとの対話です。話し方一つ取っても子どもから発せられるサインを読み取ることができることがあります。ただ、あまり学校のことを話さない子どももいます。その際は無理に聞き出そうとはせず、温かく見守ったり、学校と家庭とで連絡を取り合ったりすることも必要です。

<悩みの相談相手>

Q. なやみごとがあるとき、だれに相談しますか。(複数回答)



どの学年でも、母親に相談すると回答した児童・生徒が多いですが、学年が上がるにつれ、「友だちに相談する」、「だれにも相談しない」と回答した児童・生徒の割合が増え、全体に占める割合も増加しています。

全体的に、母親や父親、学校の先生など大人に相談することが多く、特に低学年ほど母親に相談することが多いことがわかります。一方、学年が上がるにつれ、友だちに相談することが多くなり、母親をはじめ、父親や学校の先生など大人に相談する割合が減少する傾向にあるようです。中学校への進学を境に、母親と友だちへの相談の割合が逆転しています。また、「だれにも相談しない」と回答している児童・生徒が、小学校高学年から中学生にかけて2割程度いることも注意すべきところです。

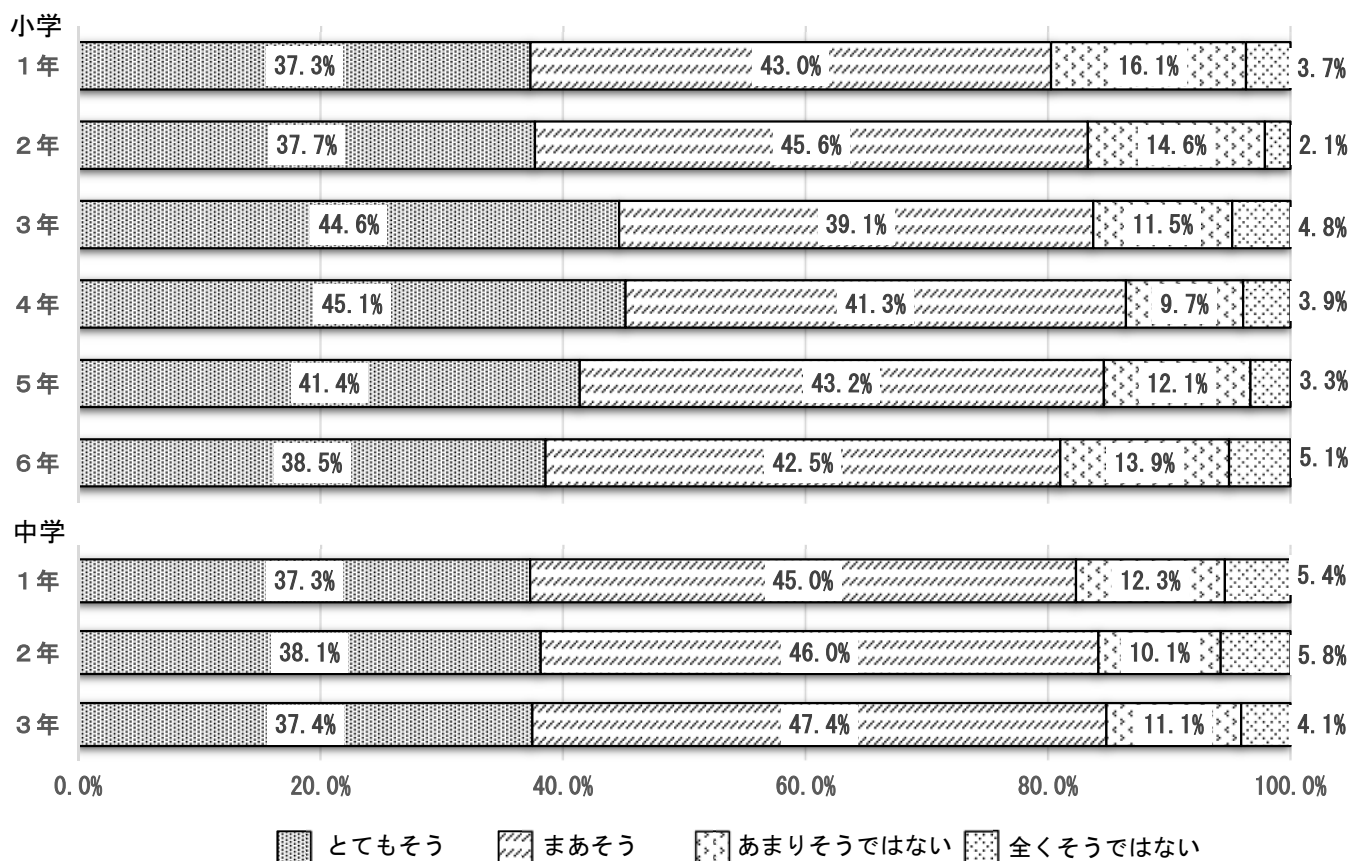
年齢が高い子どもほど、友だちへ依存する割合が高くなったり、一人で抱え込む傾向にあったりするようです。したがって、良好な友人関係が子どもたちの安定した生活につながるということがわかります。裏を返せば、学校での友人関係のトラブルが、子どもたちにとって致命的な事態を引き起こすこともあるということです。

大人に相談する割合が少なくなったり、誰にも相談しない割合が多くなったりする高学年から中学生にかけては、身近な大人が子どもから発せられる小さなサインを常に見落とさないようにしないといけません。

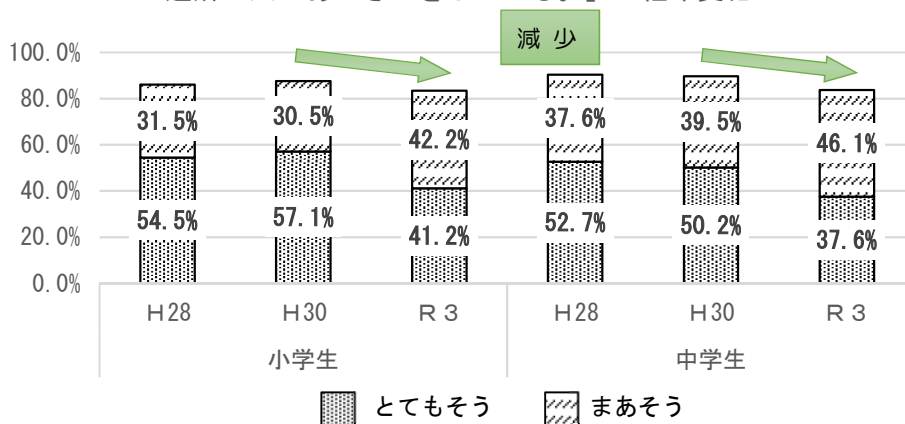
4 地域との関わりについて

<地域との関係>

Q. 近所の人にあいさつをしている。

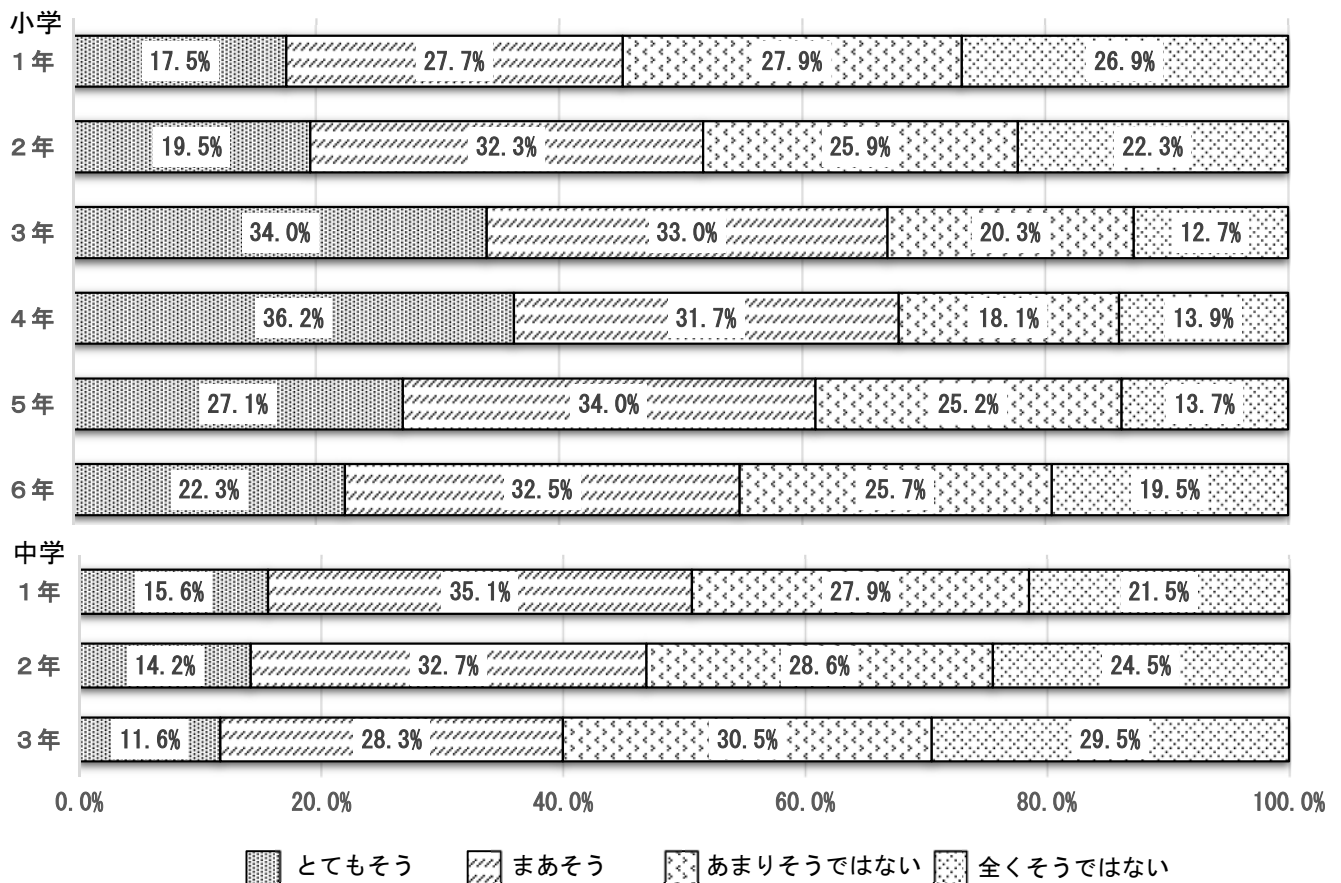


「近所の人にあいさつをしている。」の経年変化

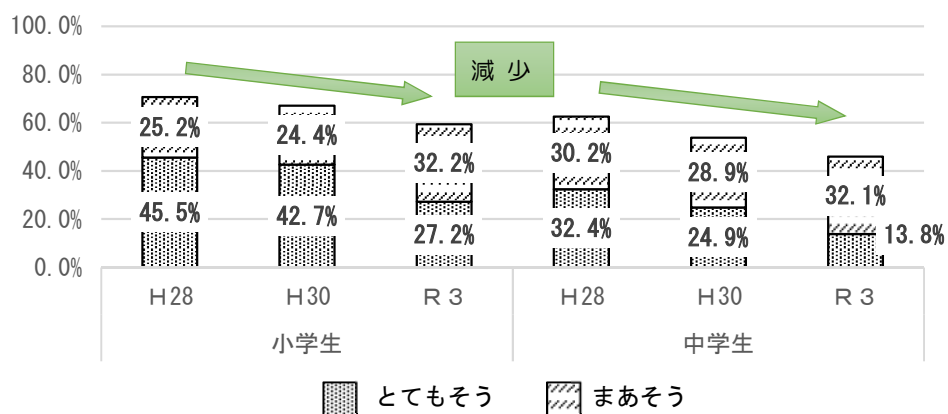


経年変化を見ると、「とてもそう」「まあそう」の割合が、小中学生ともに前回調査から減少していることがわかります。原因として考えられるのは、コロナ禍での生活が一因と言えそうです。近隣の方と触れ合う機会が失われ、あいさつをする場面も減少したのだと考えられます。あいさつを気軽にかわすことのできるいつもの生活に早く戻ってほしいものです。

Q. 地域の活動（お祭り・子ども会・ごみ拾いやそうじなど）に参加している。

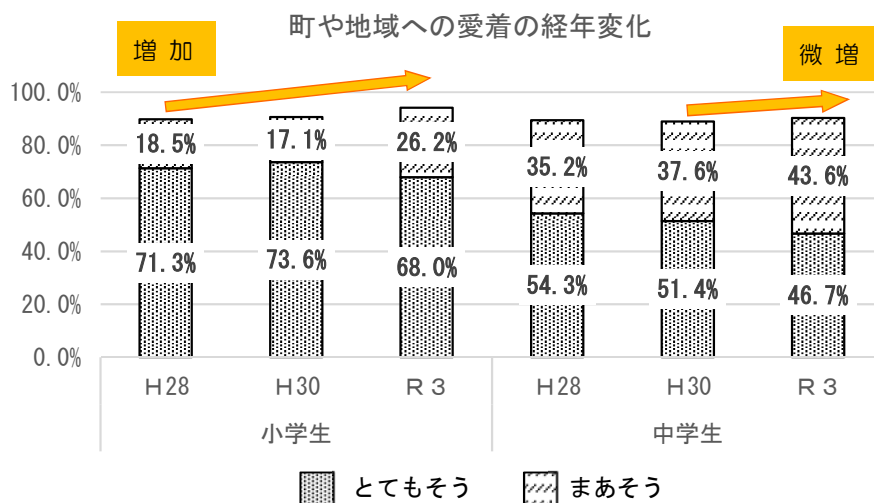
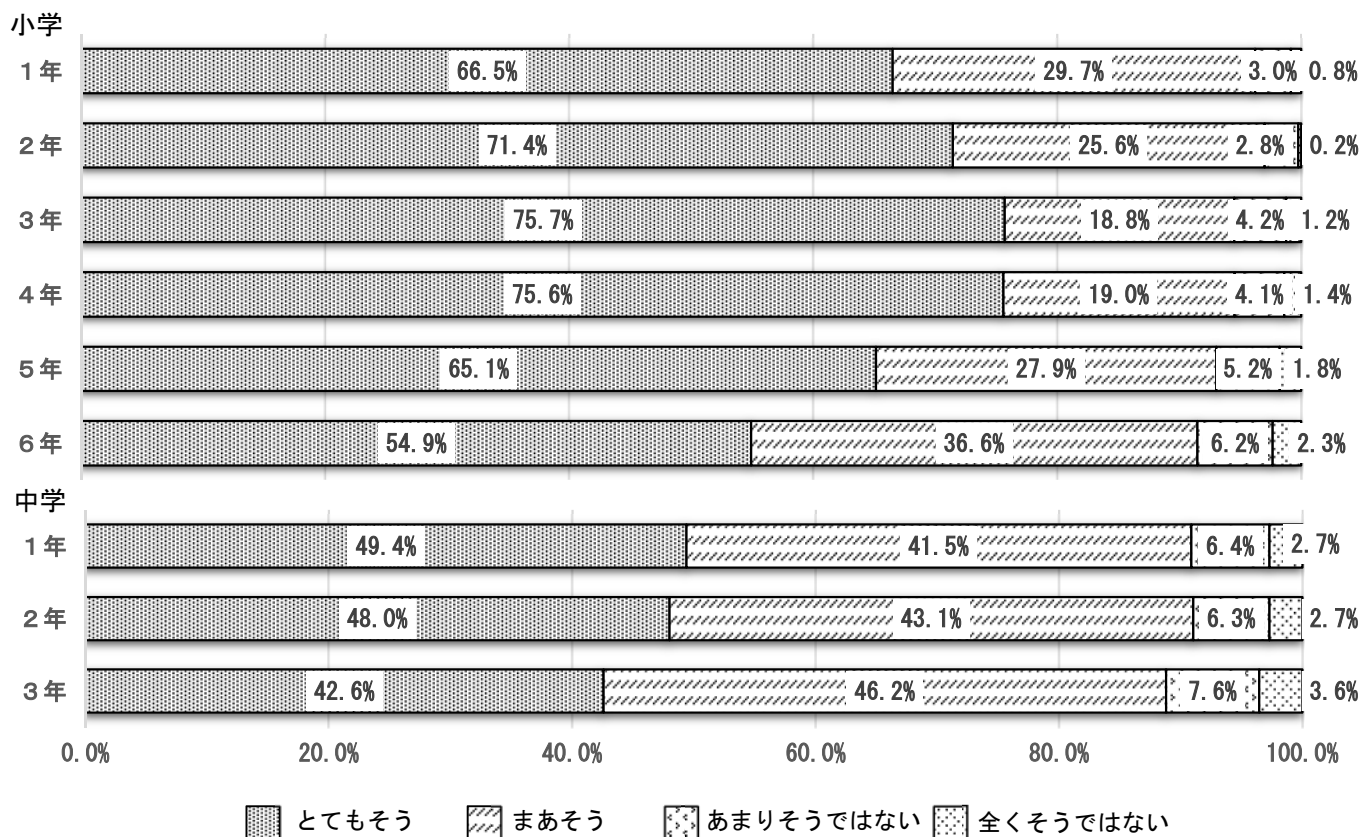


「地域の活動に参加している。」の経年変化



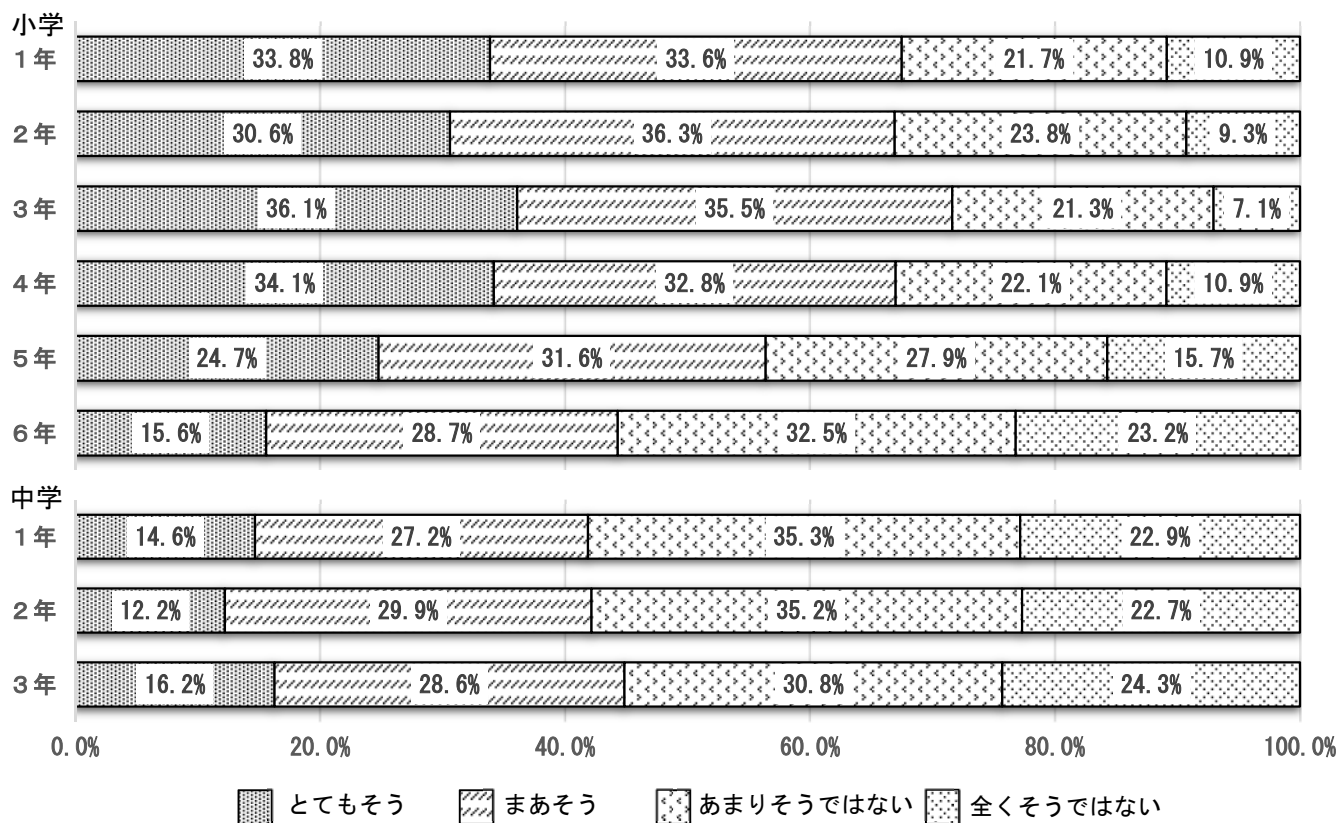
地域の活動についても、特に平成30年度から令和3年度への減少幅は大きく、感染症の影響が表れていることがわかります。子どもたちが参加できる場が減り、地域としてもコミュニティのつながりがますます希薄になってきています。元の生活が戻った時には、地域の力を取り戻すべく、子どもたちをも巻き込みながら様々な取組ができればよいのではないかと考えられます。

Q. 自分の住んでいる町や地域が好きだ。

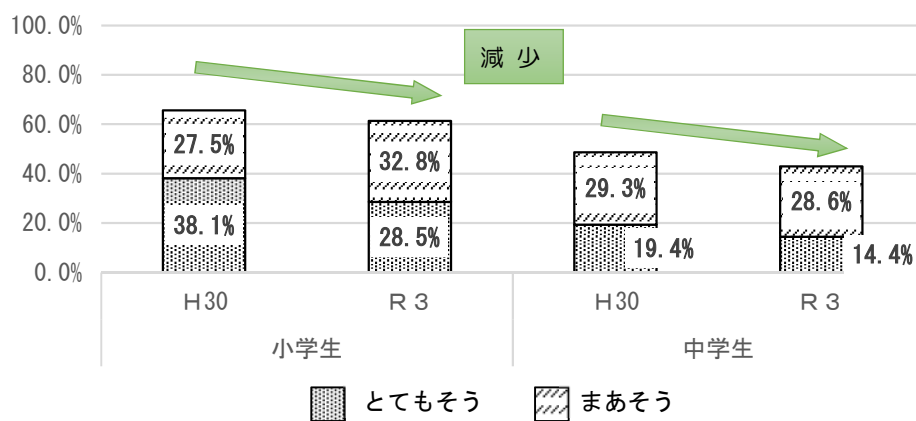


地域との関わりが減ってきている実態が見えてきた中、地域への愛着については増加傾向にあることがわかります。接点を持つ機会が少なくなっているからこそ、地域への愛着が強くなっているのかもしれませんが。元の生活に戻れば、子どもたちの地域への思いを表現できる様々な活動ができるようになります。学校や地域の大人が、そのような子どもたちの思いの受け皿を用意しなければなりません。

Q. 郷土博物館や公民館、図書館を利用している。



「郷土博物館や公民館、図書館を利用している。」の経年変化

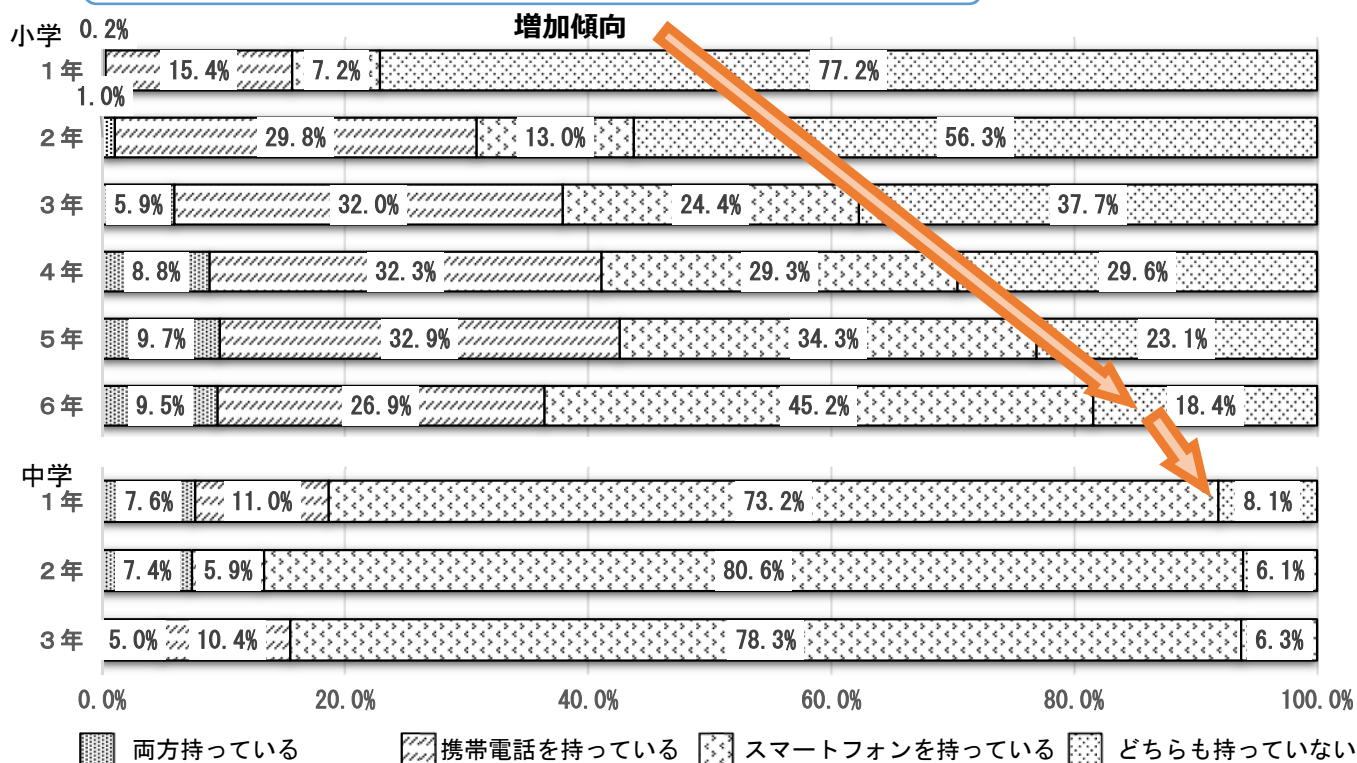


感染症対応のため、公共施設の利用については制限があり、利用できなかったり足が遠のいたりしたようです。少しずつ元の生活が戻りつつある中で、各公共施設も催し物を計画しています。子どもたちを含め、たくさんの人に利用されるよう準備を進めています。気兼ねなく利用できるようになったら、積極的に利用するよう周りの言葉かけが必要です。

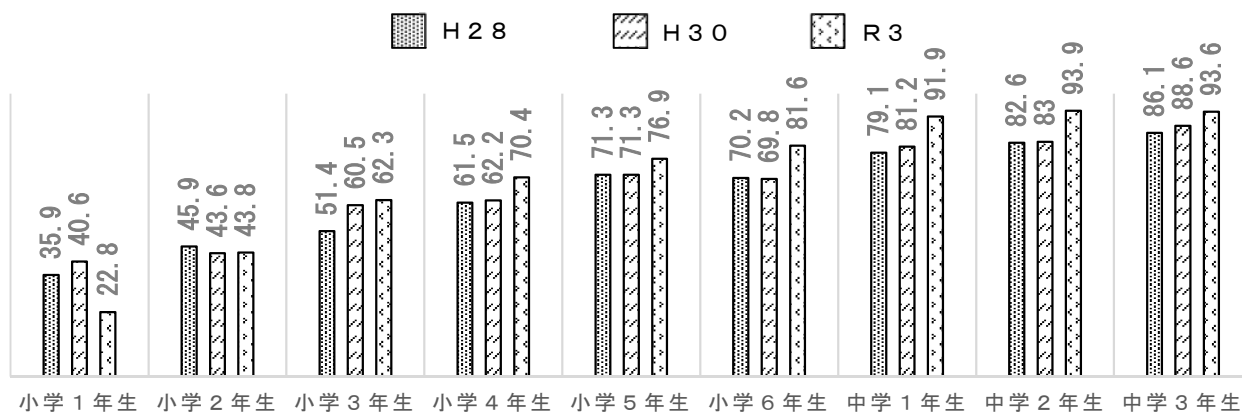
5 電子媒体の扱いについて

＜携帯電話・スマートフォンの所持率＞

Q. 自分の携帯電話やスマートフォンを持っていますか。



携帯電話・スマートフォンの所持率の経年比較

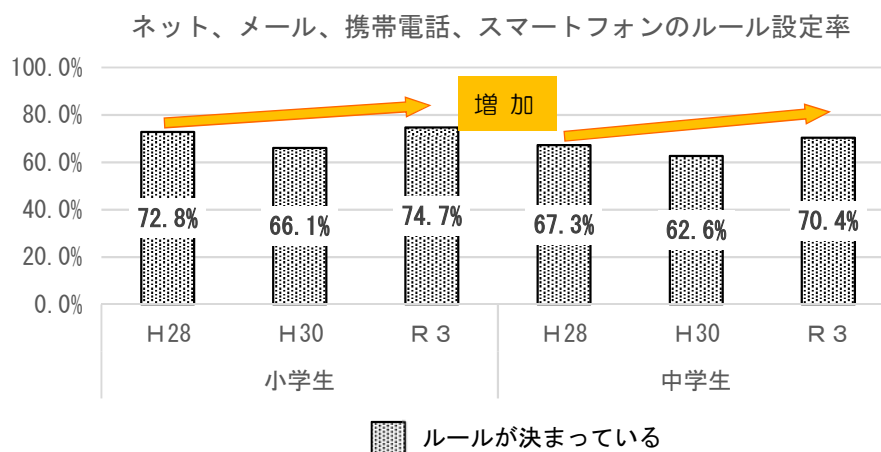
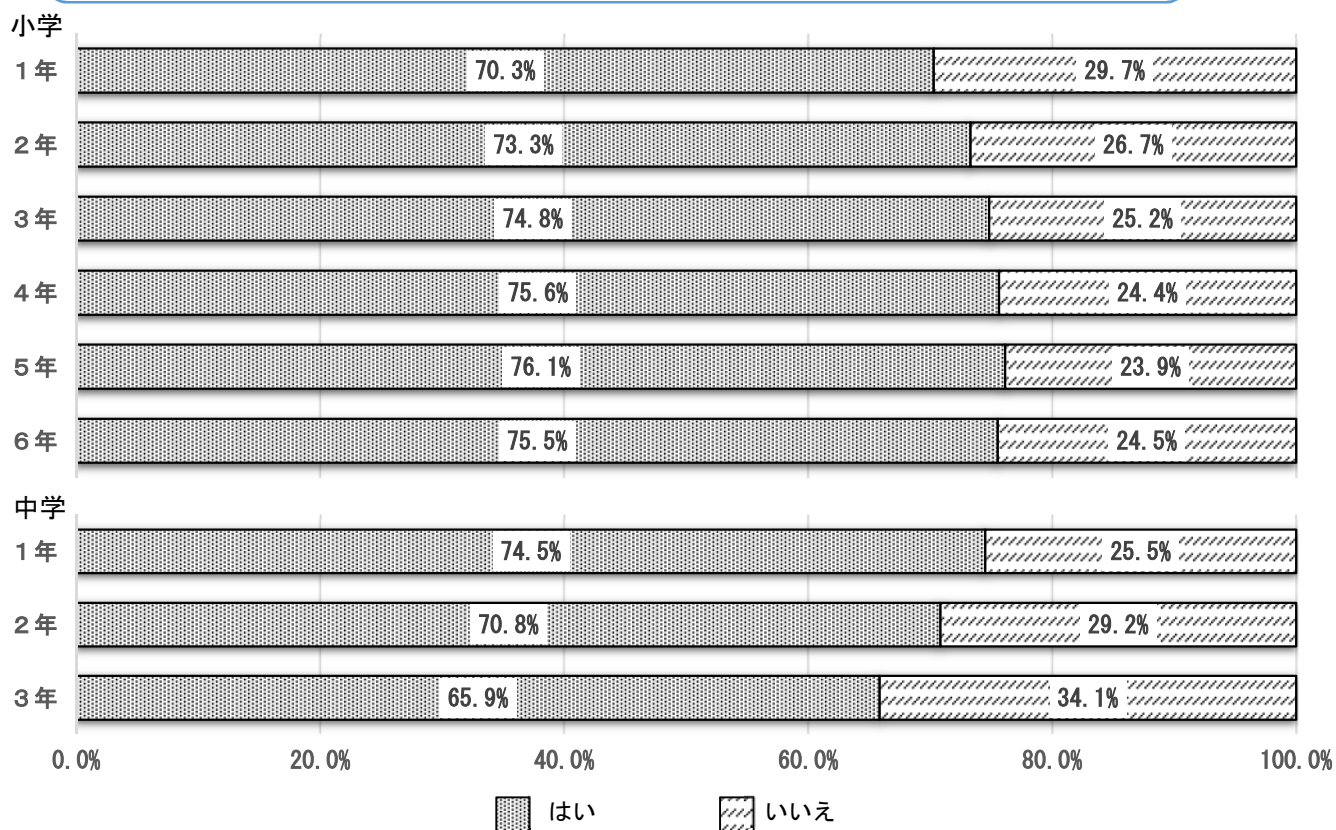


学年が上がるにつれ、携帯電話やスマートフォンの所持率が増加しています。小学3年生、6年生、中学1年生、が携帯電話やスマートフォンを所持するきっかけの学年となっているようです。特に中学校への進学が、スマートフォンを所持するタイミングとして多いことがわかります。

過去の調査と比較すると、携帯電話やスマートフォンの所持率は年々増加傾向にあり、子どもたちが外部と接する機会も低年齢化していると考えられます。大人が、意識して子どもたちを指導したり見守ったりすることが必要であり、喫緊の課題でもあることがわかります。

<携帯電話・スマートフォン利用時のルール>

Q. 家ではネットやメール、携帯電話やスマートフォンの使い方について、ルールが決まっていますか。

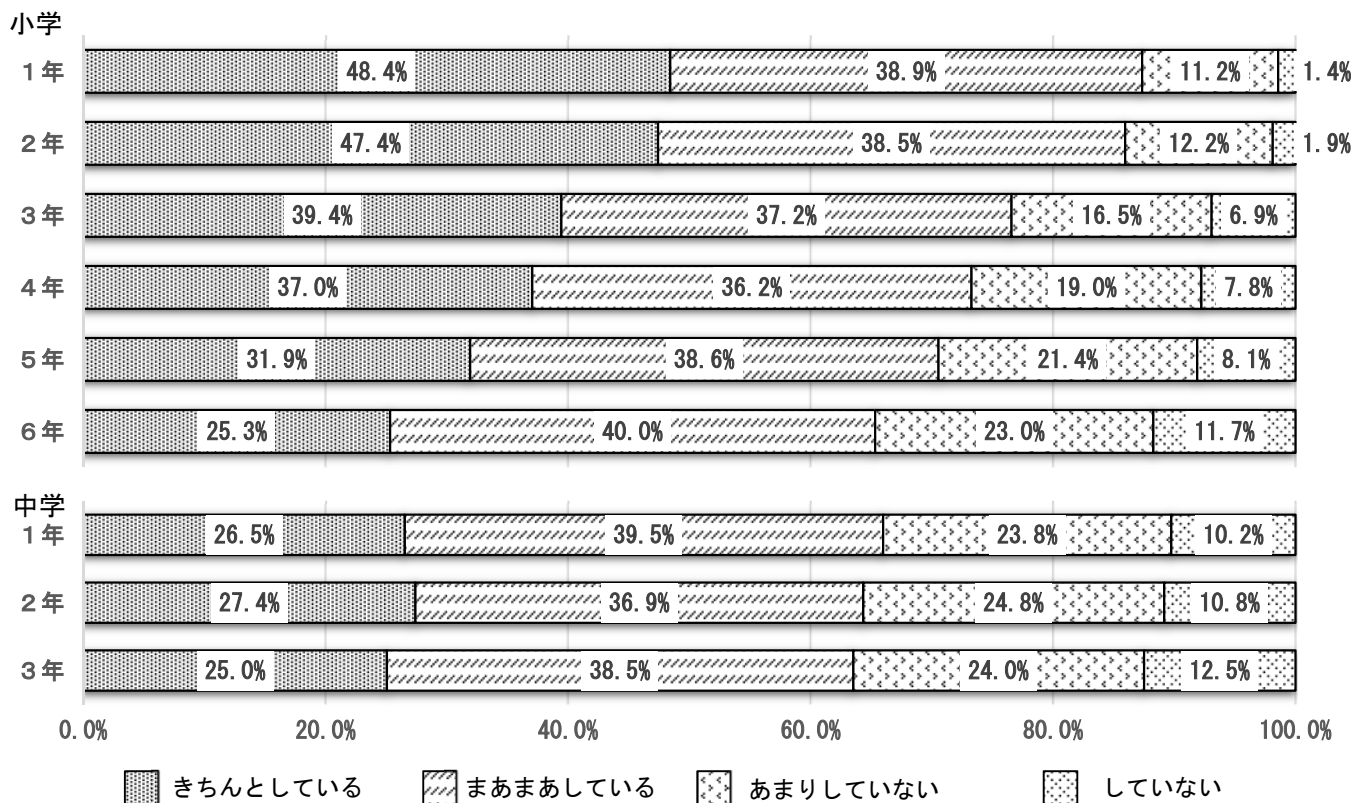


携帯電話やスマートフォンの所持率の上昇とともに、使用に関するルールの設定率も増加しています。携帯電話やスマートフォンを持つことは、外部と接触する機会を増やすことになり、それと同時に危うい場面に遭遇する可能性も高まります。ルールを設定した上で、子どもたちに与えている家庭が増えてきていることがわかります。

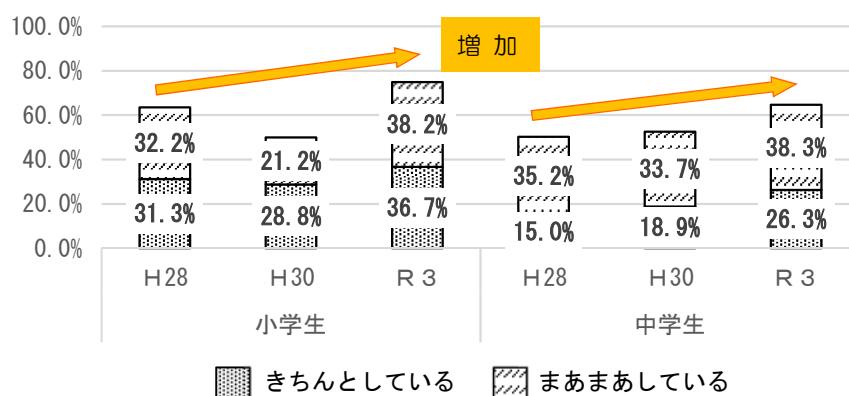
6 安全について

<交通安全のルール>

Q. 交通安全のルールについて、家族で話し合っている。



「交通安全のルールの家族の話し合い」の経年変化

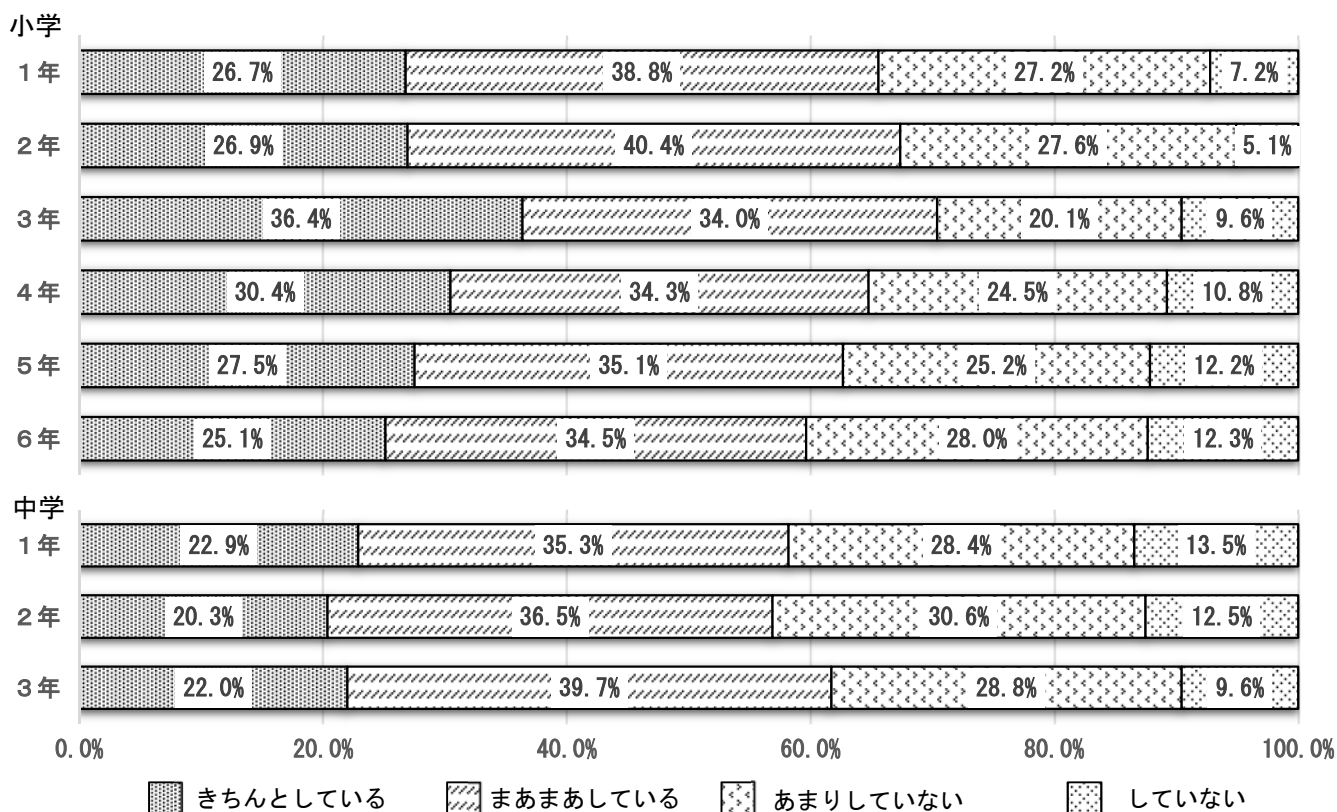


子どもたちが被害を受ける交通事故は後を絶ちません。令和3年にも八街市で、下校途中の児童が犠牲になる痛ましい事故が発生しています。「自分の身は自分で守る」とは言いつつも、子どもたちの注意力には限界があります。交通安全のルールや危険について、家庭で常に子どもと話ししていく必要があるのかもしれません。

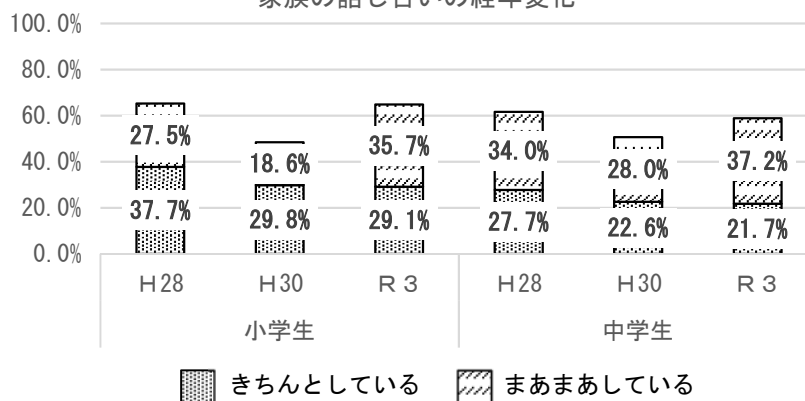
アンケートの結果を見ても、家族で話し合っている割合が大幅に増加しています。それぞれの家庭で自分事として捉え、子どもたちの命を守るために気を付けていることがわかります。

<災害時の安全確保>

Q. 地震や火災が起こった時の安全な行動について、家族で話し合っている。



地震や火災が起こった時の安全な行動について
家族の話し合いの経年変化



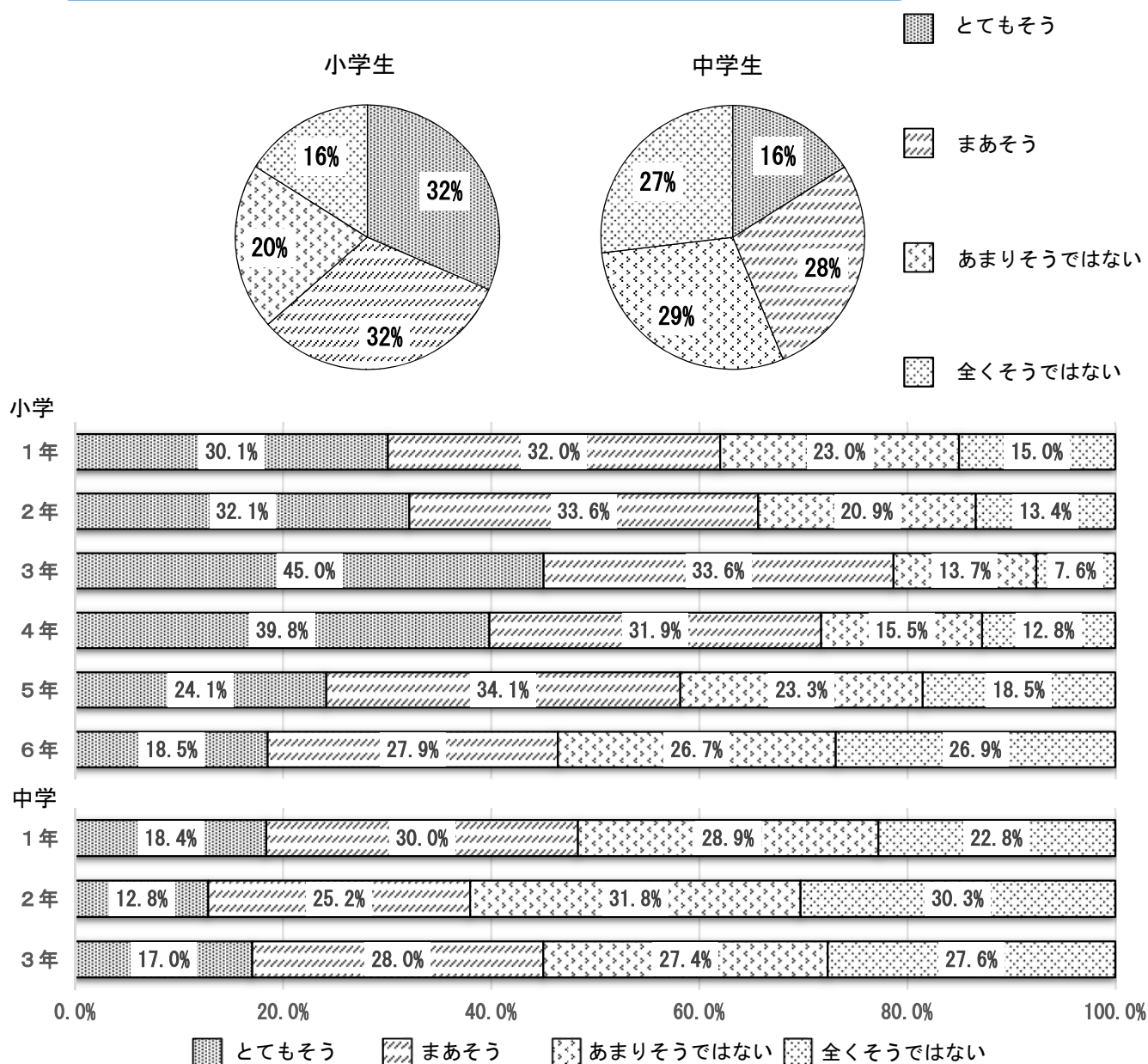
地震や火災に対してとるべき行動については、学校では避難訓練などの防災教育の中で学習したり指導したりしていますが、家庭では家族で話し合っておく必要があります。自分たちの避難場所はどこなのか、防災セットはどこにあるのか、家族みんなが一緒にいないときにどのような行動をとりどこに集まるのか、など話し合っておくべきことが多くあります。

アンケートの結果を見ると、約4割の子どもたちは話し合っていないという認識でいます。改めて家族でしっかりと地震や火災に対しての行動について話し合っておくことが必要であることがわかります。

7 感染症対応について

<子どもたちの心理状態>

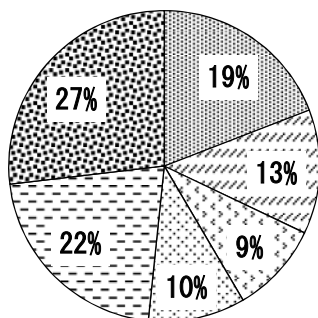
Q. 学校が休校（学級閉鎖）になることについて不安を感じる。



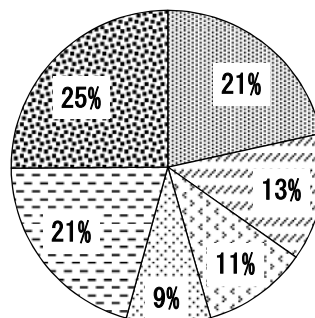
中学生より小学生の方が、感染症の影響で、学校が休校等になることについて不安を感じている割合が高いことがわかりました。小学生の方が大人の手助けを必要とするため、不安が大きいことが想定されます。また、オンラインでの学習について整備が進められた結果、不安の払しょくにつながっているものと考えられます。

Q. 新しい生活様式を続けていて心配なことはなんですか。

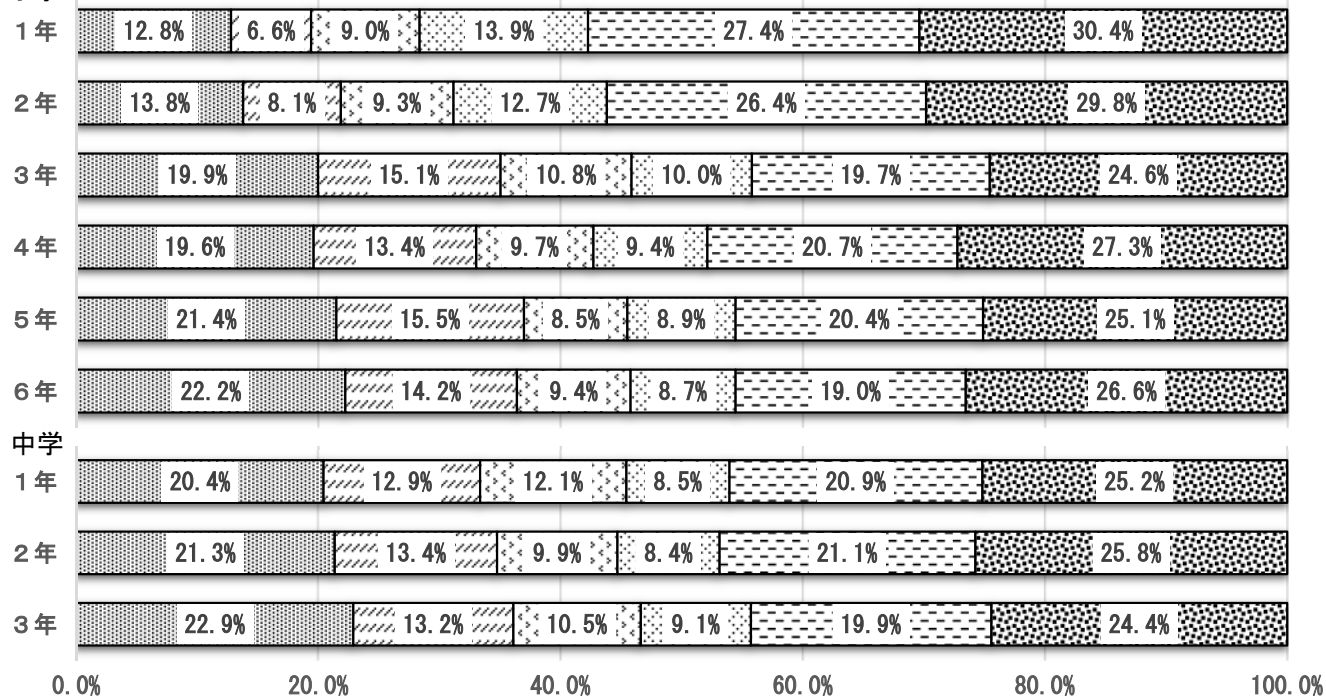
小学生



中学生



小学



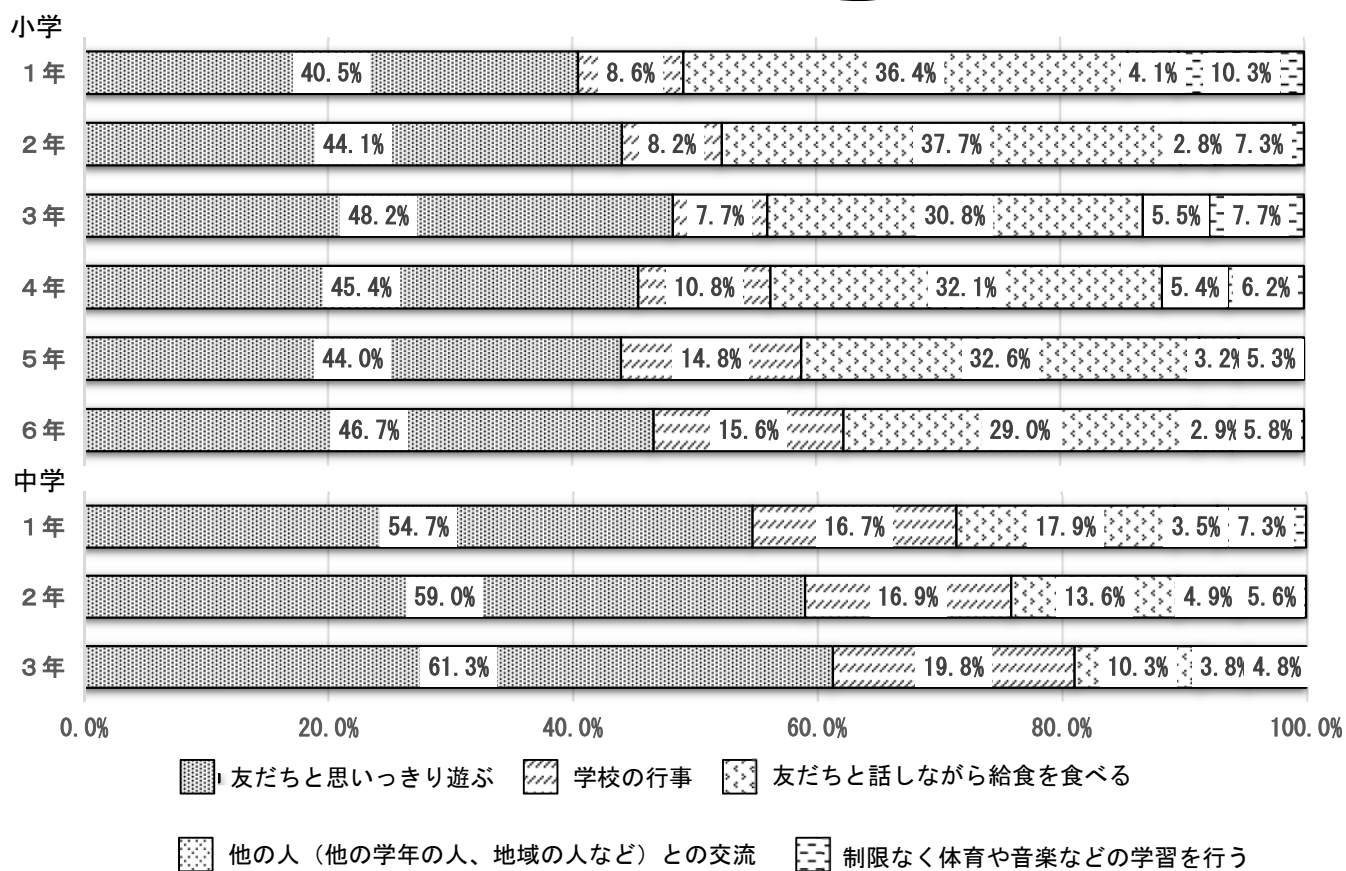
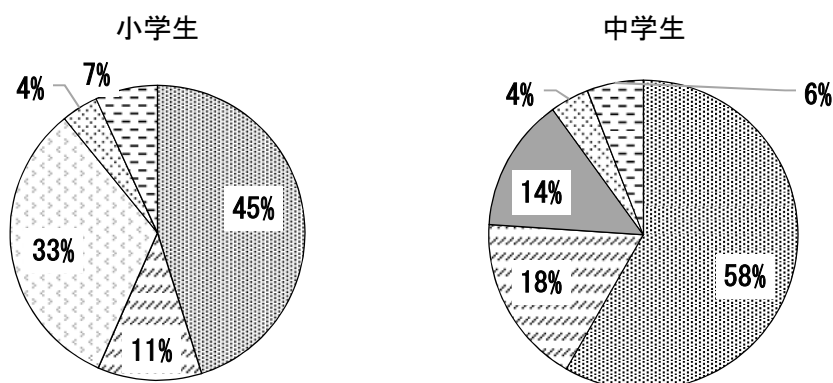
中学



- 体力が落ちる
視力が悪くなる
勉強がしづらくなる
友だちや先生などのようすがわかりにくい
友だちとたくさん遊べない
遠くに出かけることができない

新しい生活様式を続けることで、今までできていたことが同じようにできなくなることもあります。それらについてどのような不安があるか質問したところ、小・中学生ともに同じような結果となりました。「体力が落ちる」、「友だちとたくさん遊べない」、「遠くに出かけることができない」の割合が高いですが、他の回答の割合も多く、不安要素は多岐にわたっていることがわかります。

Q. 元の生活にもどったときに、一番やりたいことはなんですか。

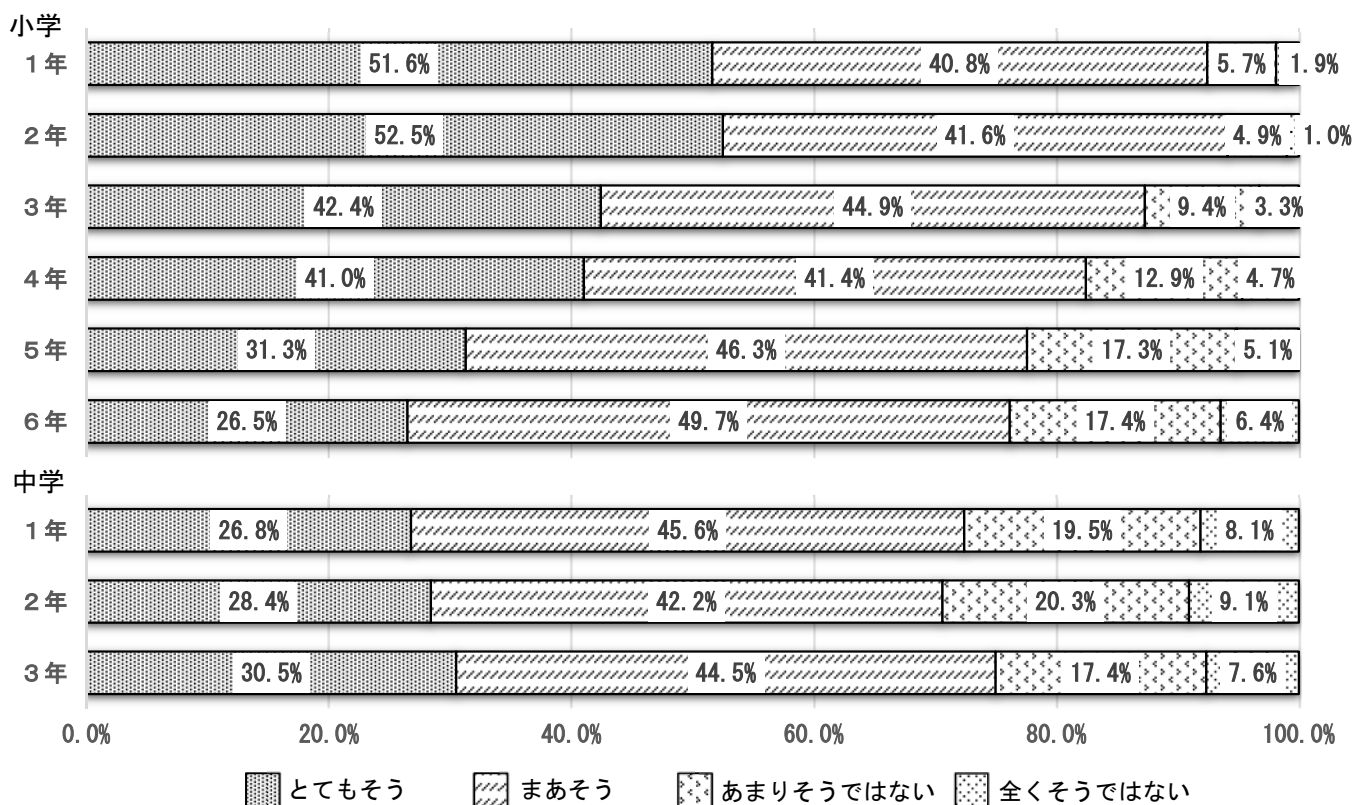


小・中学生ともに、元の生活に戻った時に、一番やりたいことは「友だちと遊び」でした。また、小学生は次いで「友だちと話しながらかき食を食する」の割合が高かったです。子どもたちは、制限のない友だちとのコミュニケーションを望んでいることがわかります。中学生は、学校行事の実施を待ち望んでいることがわかります。校外学習や宿泊学習の延期や縮小が影響しているものと思われます。

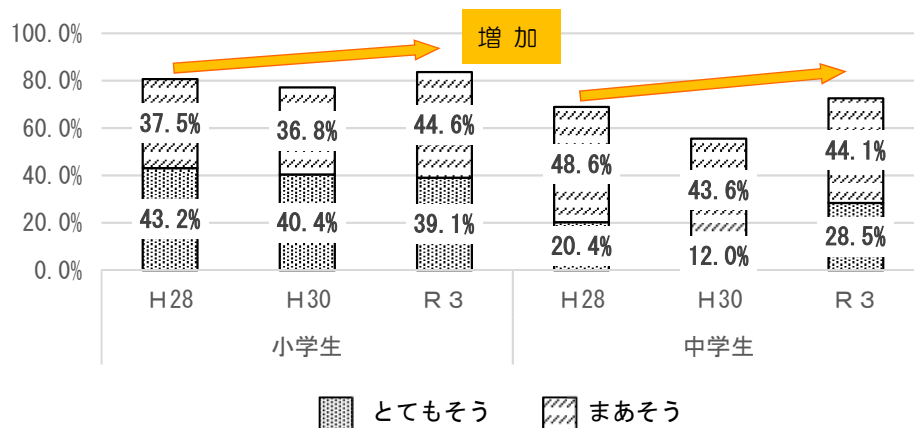
8 自分自身について

<自己肯定>

Q. 自分には、よいところがある。

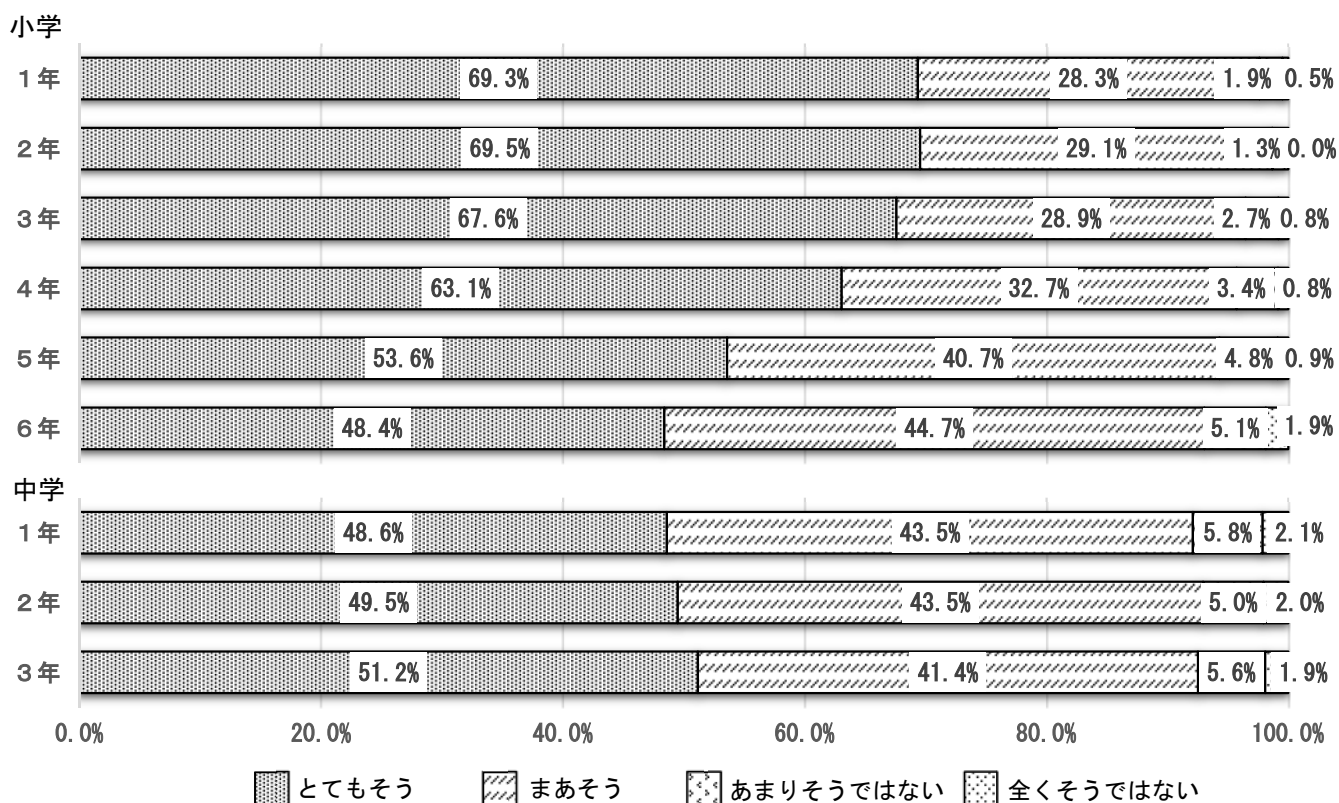


「自分には、よいところがある。」の経年変化

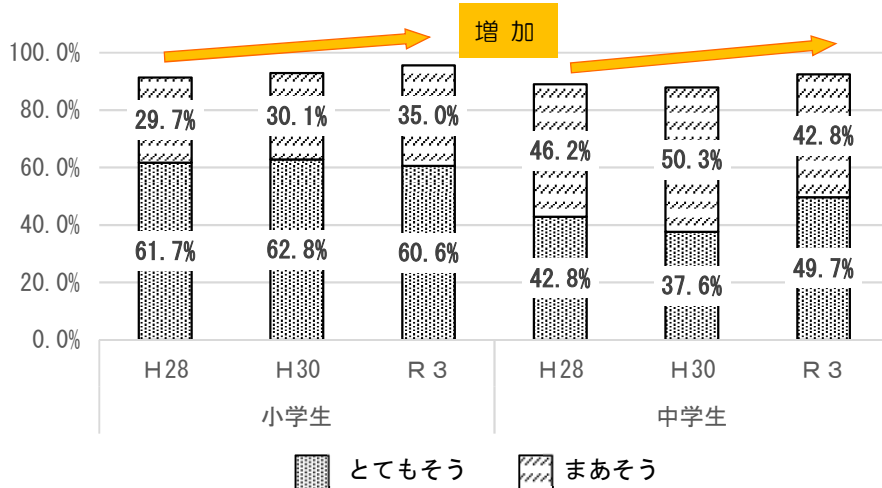


「自分には、よいところがある。」と思っている子どもの割合が、前回調査で減少したものの、今回の調査で増加に転じました。子どもたちが自己肯定感や自己有用感をもつために、園や学校では常に子どもたちの自主性を重んじ、日々の活動に取り組んでいます。また、教員は子どもたちを受容する姿勢を持ち、ほめたり励ましたりしています。子どもたちの自己肯定感を向上させるために、適切な指導を行っています。

Q. 自分や他の人を大切にしている。

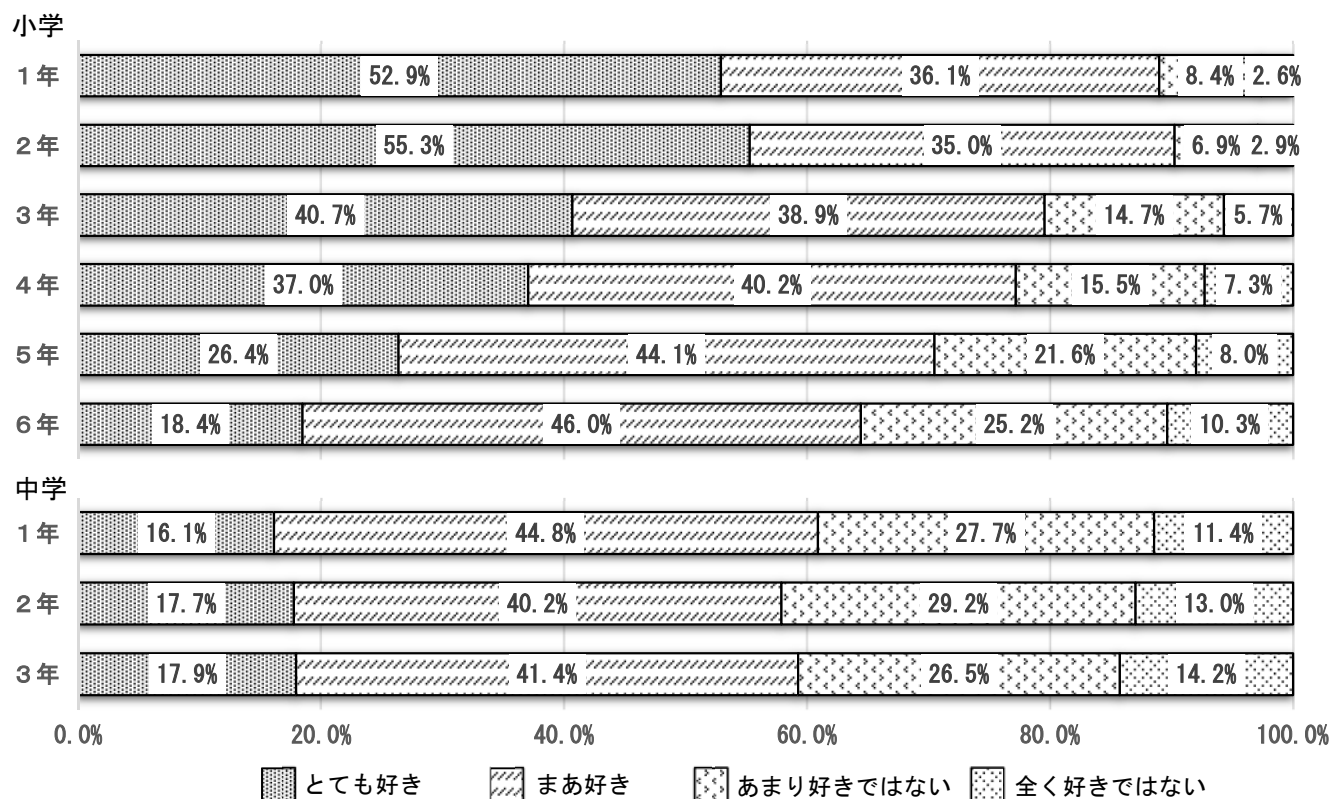


「自分や他の人を大切にしている」の経年変化

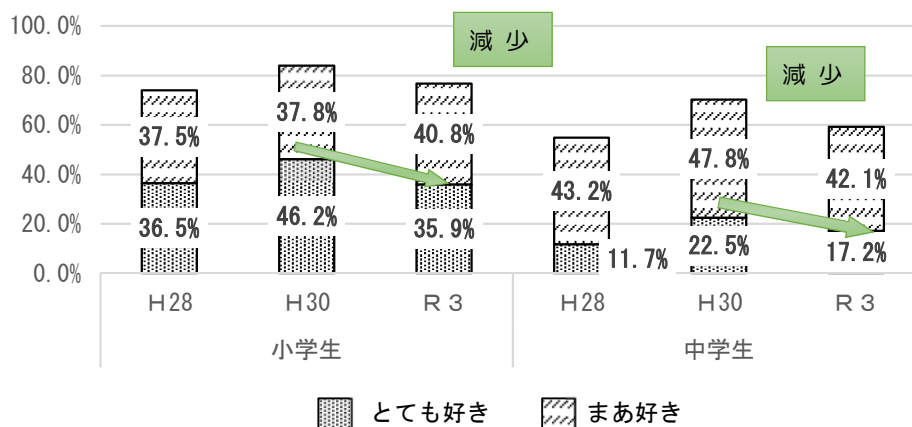


小学校は平成30年度、中学校は平成31年度に道徳が教科化されました。道徳の授業の内容が充実し、時間が確保されるようになりました。道徳科の授業を要として教育活動全体で道徳教育は行われています。そのような取組の中で、子どもたちの自他を大切にしている心が育っていることがわかりました。園・小・中の連携を強め、発達段階に応じた指導、支援を行い、益々の充実を図ることが求められます。

Q. 自分のことが好きですか。



「自分のことが好き」の経年変化



自分のことを好きな子どもの割合は、小学校の学年が上がるにつれ減少しています。また、自分のことを「きれい」と回答した子どもの割合は小学1年生から中学3年生まで少しずつ増加し、中学3年の「あまり好きでない」「きれい」を合わせた数値はおよそ4割程度となります。

子どもの発達段階の特徴として、小学4年あたりから自分のことを客観的に捉えられるようになる一方、身体的・精神的な発達の個人差も大きく見られるようになることから、他人との違いに目が向きやすくなります。子どもたちのそのような成長を、教員や保護者をはじめ身の回りの大人がよく理解し接していく必要があります。

<進学先についての期待と不安>

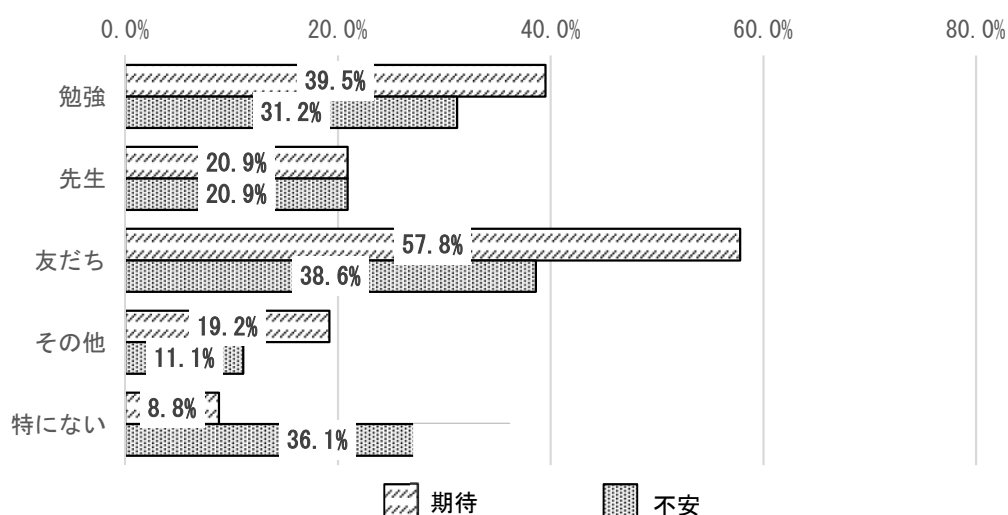
(小学1年生のみ回答)

Q. 幼稚園・こども園・保育園のころ、小学校生活について心配したことは何ですか。

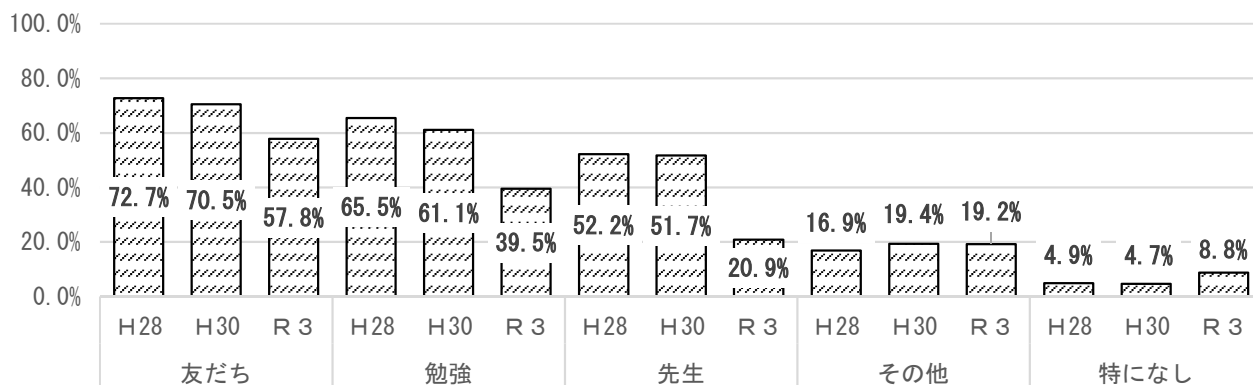
Q. 幼稚園・こども園・保育園のころ、小学校生活について楽しみにしていたことは何ですか。

(複数回答可)

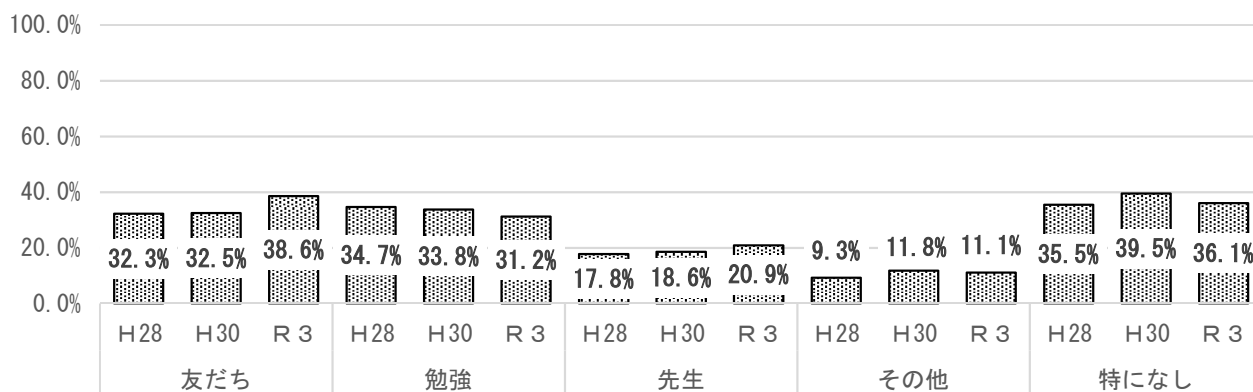
進学先での期待と不安 (小学1年生)



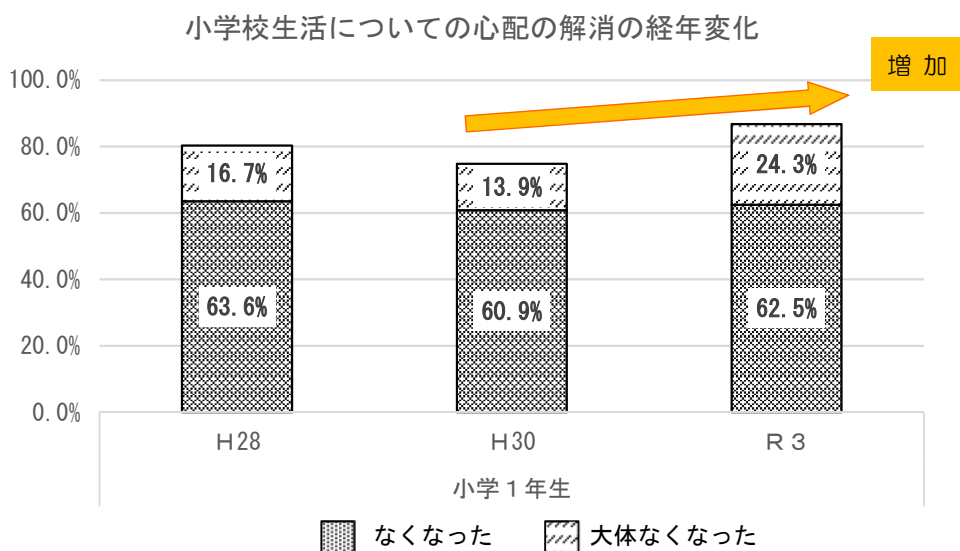
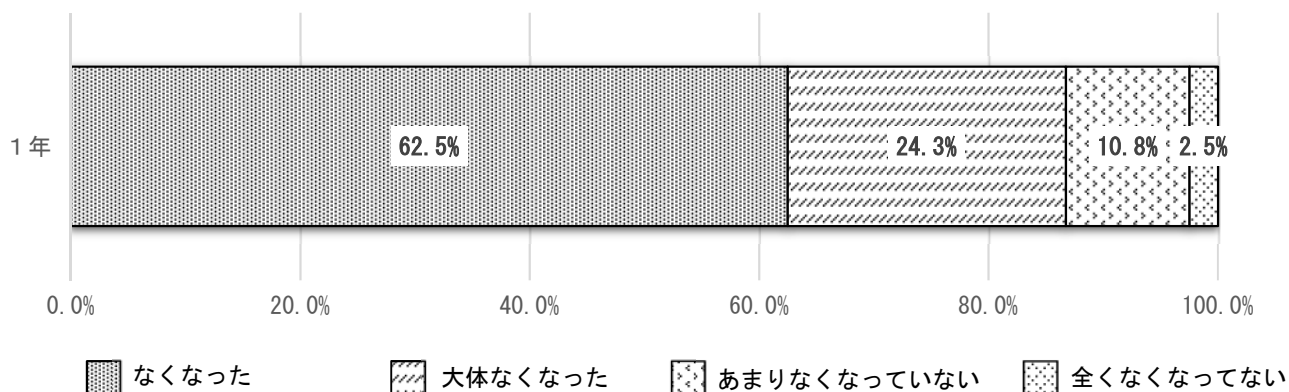
入学前に楽しみに感じていたことの経年変化



入学前に不安に感じていたことの経年変化



Q. 幼稚園・こども園・保育園のころ、小学校生活について心配していたことは、今、なくなりましたか。



学校生活についての期待や不安について、年長のころにどのように思っていたかを小学1年生に調査しました。期待と不安は表裏一体だったようで、友だちのことが期待と不安両者ともに最も割合が高い結果となりました。次いで勉強、先生の順となりました。また、そのような心配が解消されたかの調査では、およそ8割強の子どもたちが解消したと回答しており、多くの1年生が学校生活になじむことができていることがわかりました。

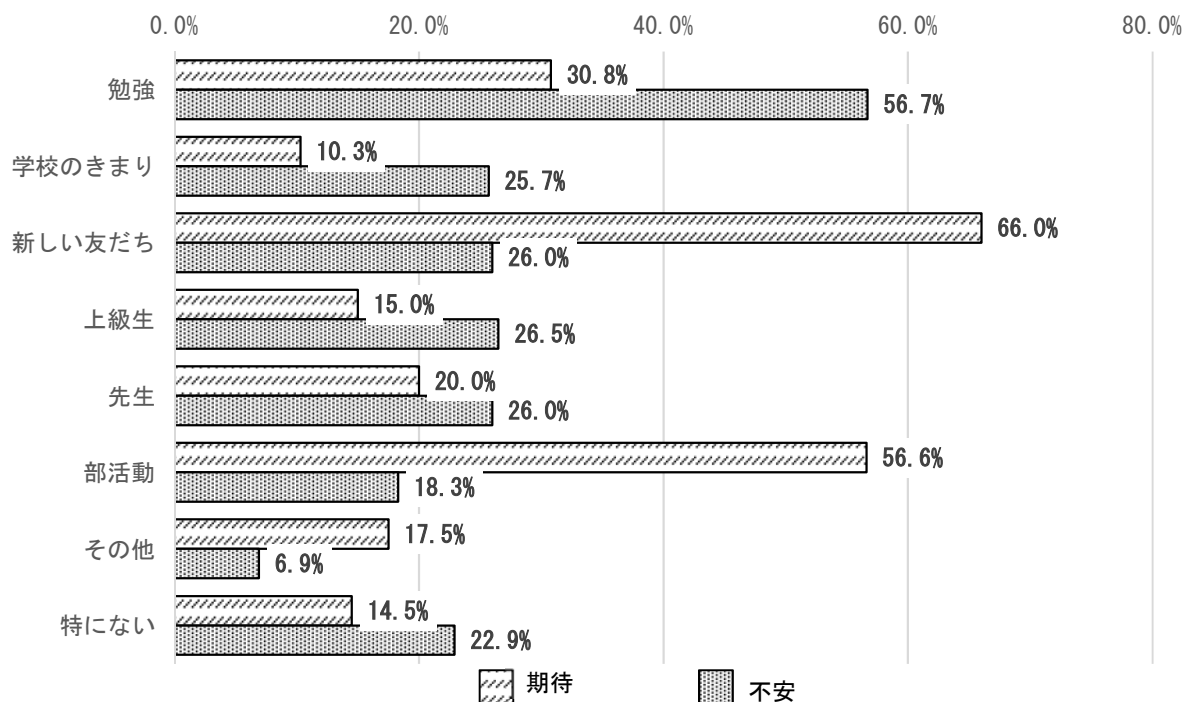
浦安市教育委員会では、園・小連携の一環として「5歳児の学びのカリキュラム・スタートカリキュラム」を策定しており、その計画をもとに、各小学校においても独自のスタートカリキュラムを策定しております。園と小学校との円滑な接続を図り、学びや生活の連続性を意識することで、子どもたちが自信をもって学校生活を送ることを目的とし、推進しています。

(小学6年生のみ回答)

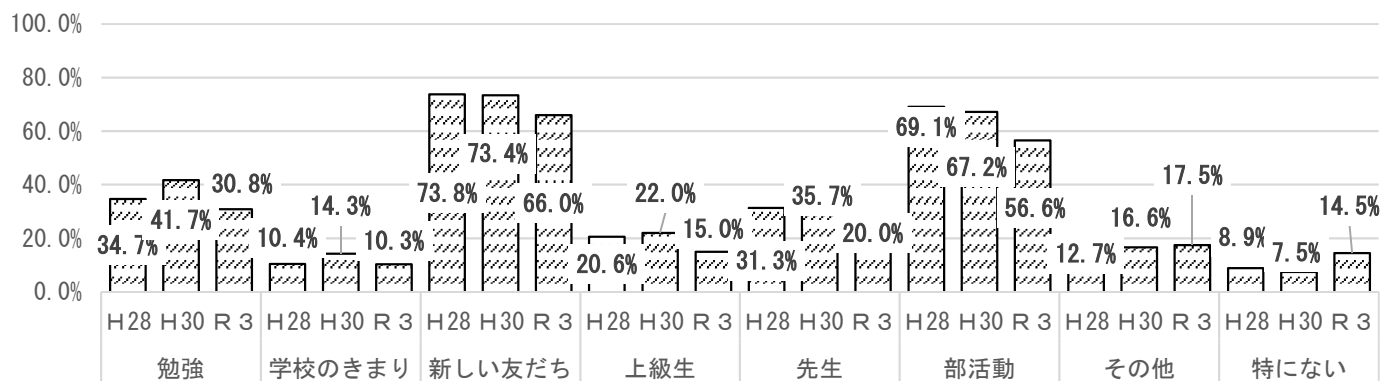
Q. 中学校生活について、期待や楽しみに感じていることは何ですか。

Q. 中学校生活について、不安や心配に感じていることは何ですか。 (複数回答可)

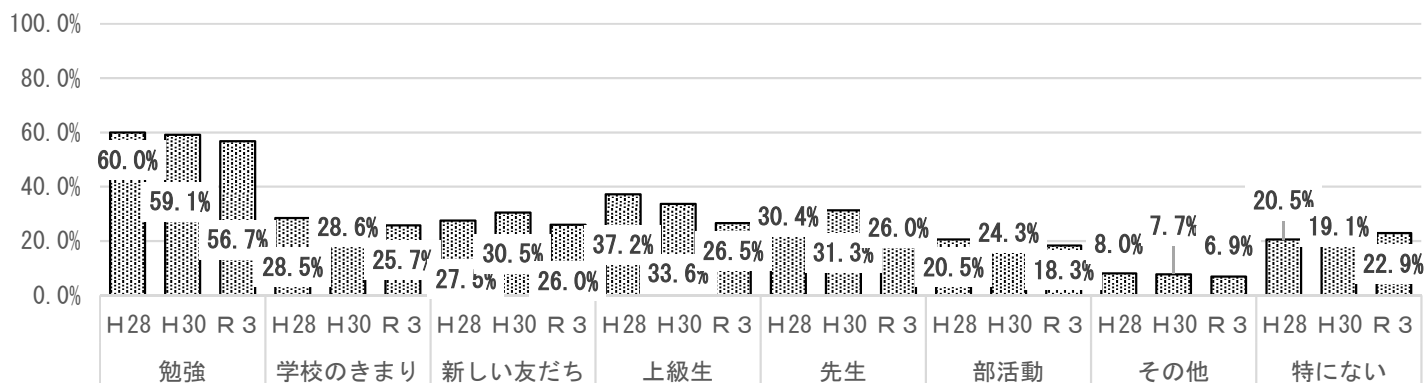
進学先での期待と不安 (小学6年生)



入学前に期待していることの経年変化



入学前に不安に感じていることの経年変化



中学校生活について、小学6年生に期待していることと不安に思っていることを調査しました。期待の面については、友だちに関することが最も高く、次いで部活動となりました。友だちと部活動に関しては、半数以上が期待することとして回答しており、中学校生活への期待感の源となっていることがわかります。一方、不安に思っていることについては、勉強に関することが唯一半数以上を占め、学習に関しては楽観視できないと感じている子どもたちが多いことがわかりました。

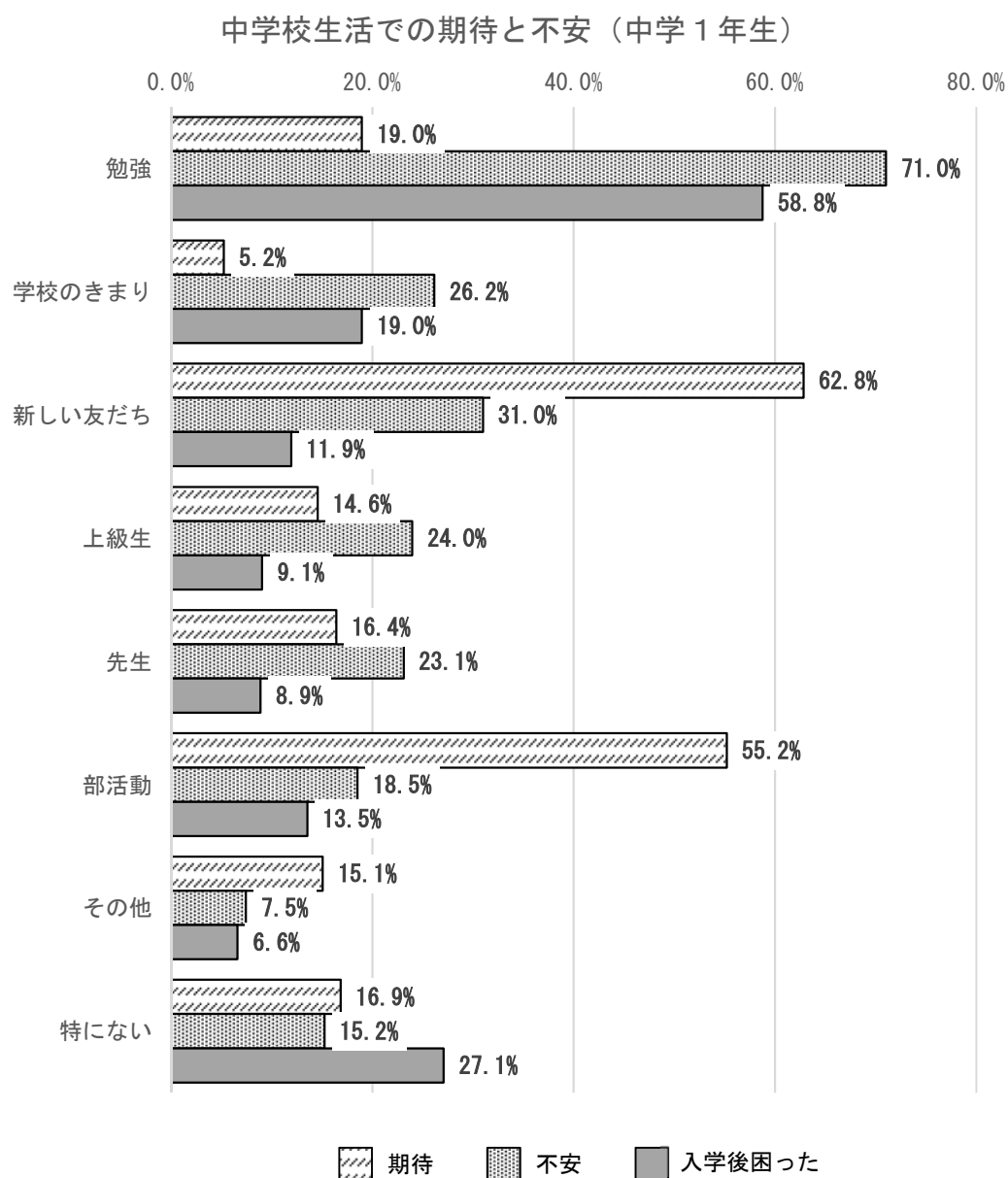
子どもたちが素直に抱いている期待や不安を、周りの大人が理解していることでさらなる成長につなげたり、思わぬトラブルを予防したりすることができるかもしれません。

(中学1年生のみ回答)

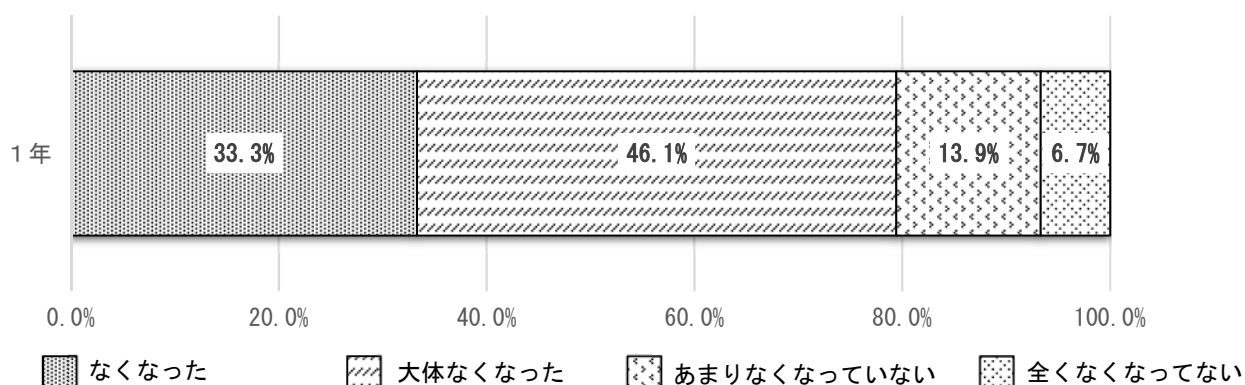
Q. 小学生のころ、中学校生活について期待や楽しみに感じていたことは何ですか。

Q. 小学生のころ、中学校生活について不安や心配に感じていたことは何ですか。

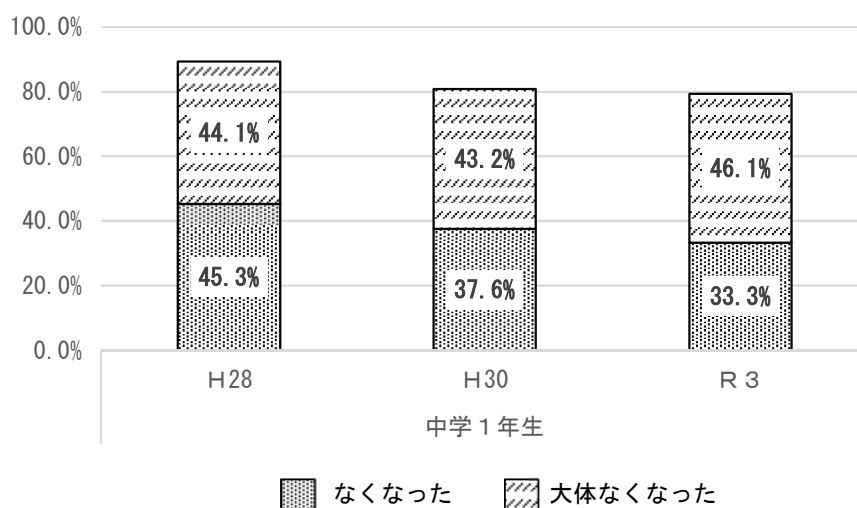
Q. 小学生の時と比べて、中学校に入学して困ったことは何ですか。 (複数回答可)



Q. 小学生のころ、中学校生活について不安や心配に感じていたことは、今、なくなりましたか。



中学校生活についての不安や心配の解消の経年変化



中学1年生に、入学前の期待と不安、そして入学後に困ったことについて調査しました。勉強については、不安を感じる割合が他の項目と比べて極めて高く、入学前の不安がそのまま入学後の困り感につながっている生徒が多いことがわかります。一方、入学前に期待していた友だちや部活動については、入学後に困ることはあまりないこともわかります。また、不安に思っていたことが解消されたかどうかについては、約8割が解消されたと回答していますが、およそ2割の子どもたちがいまだに不安を抱え悩んでいる現状があることもうかがい知ることができます。

小学6年生の段階で、中学校の学習の難しさとその先の進路（高校進学）を想定し不安感を持っているのは明白です。また、中学1年生の半数以上が勉強について入学後も困っていると回答していることから、中学校に入ってから、自発的に行う予習・復習や定期テストなど、小学校のときにはなかった学習習慣に戸惑っている現状もうかがい知れます。いわゆる「中1ギャップ」というものが、回答状況からもはっきりと表れた結果になりました。生徒たちの3年間の中学校生活に悪影響を及ぼさないためにも、学校の教職員をはじめ、保護者や身近な大人たちが、目の前にいる子どもたちの様子をしっかりと観察し、適切なケアをしていく必要があることがわかります。

Ⅲ 基礎集計表

			小学生 n=7,486								中学生 n=3,512			
	設問	選択肢	小学生計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中学生計	1年生	2年生	3年生	
1	学校に行く前に、朝ごはんを食べていますか。	必ず食べる	85.4%	94.2%	93.2%	83.8%	85.4%	83.5%	78.8%	76.3%	77.0%	76.4%	75.5%	
		たいてい食べる	10.7%	4.4%	5.0%	12.1%	11.5%	12.9%	13.4%	14.7%	15.1%	15.2%	14.0%	
		食べないことが多い	2.0%	0.7%	0.8%	2.0%	1.3%	1.8%	4.4%	3.9%	3.2%	4.6%	4.0%	
		ほとんど食べない	1.9%	0.7%	1.0%	2.1%	1.7%	1.8%	3.5%	5.0%	4.7%	3.8%	6.5%	
2	学校に行くのは楽しいですか。	とても楽しい	41.4%	50.2%	55.8%	49.2%	41.8%	32.6%	28.7%	32.0%	31.1%	32.0%	32.8%	
		まあ楽しい	47.8%	40.7%	39.4%	43.4%	48.2%	53.3%	55.0%	54.1%	56.6%	53.9%	51.8%	
		あまり楽しくない	8.4%	7.5%	4.1%	6.5%	8.2%	10.9%	11.0%	10.5%	9.4%	10.9%	11.1%	
		全く楽しくない	2.4%	1.7%	0.7%	0.9%	1.8%	3.2%	5.2%	3.4%	3.0%	3.1%	4.3%	
3	体育の時間や休み時間などに、体を動かすことは好きですか。	とても好き	52.5%	64.5%	63.1%	57.4%	55.4%	44.7%	39.5%	38.2%	39.0%	34.7%	40.7%	
		まあ好き	33.0%	26.9%	28.7%	30.8%	31.7%	38.8%	36.7%	38.2%	36.9%	40.6%	37.0%	
		あまり好きではない	11.8%	7.2%	7.5%	10.1%	10.9%	13.5%	18.0%	17.3%	16.4%	18.9%	16.5%	
		全く好きではない	2.6%	1.4%	0.7%	1.6%	2.0%	3.0%	5.8%	6.4%	7.6%	5.8%	5.7%	
4	1日のうち、どのくらい運動しますか。(学校の体育はのぞきます。)	2時間より多い	17.9%	6.4%	11.1%	20.7%	23.4%	20.5%	18.2%	20.3%	27.3%	25.6%	7.7%	
		1時間以上2時間より少ない	26.4%	28.4%	30.8%	30.0%	28.8%	24.8%	18.4%	23.8%	27.9%	32.5%	10.8%	
		30分以上1時間より少ない	26.8%	36.9%	32.0%	25.0%	23.2%	25.5%	24.1%	18.8%	18.5%	16.7%	21.3%	
		30分より少ない	26.6%	18.9%	17.1%	13.3%	14.7%	15.8%	20.7%	17.0%	11.3%	9.9%	30.0%	
		ほとんどしない	12.3%	9.3%	9.1%	10.9%	9.9%	13.4%	18.6%	20.1%	15.0%	15.3%	30.2%	
5	1週間のうち、どのくらい運動しますか。(学校の体育はのぞきます。)	毎日	24.4%	14.6%	23.3%	30.1%	29.8%	24.8%	19.7%	16.9%	18.9%	20.9%	10.9%	
		4～6日	29.5%	30.2%	27.7%	28.8%	32.9%	30.7%	26.5%	35.5%	43.3%	45.2%	17.7%	
		1～3日	38.2%	50.3%	44.5%	32.6%	31.3%	36.8%	40.8%	28.5%	24.8%	20.8%	40.2%	
		しない	7.9%	5.0%	4.5%	8.5%	6.0%	7.6%	13.0%	19.0%	13.0%	13.1%	31.2%	
6	給食を残さず食べますか。	食べている	49.8%	34.4%	46.1%	44.1%	52.9%	50.8%	62.4%	64.7%	64.8%	66.1%	63.3%	
		ときどき残す	39.8%	52.7%	43.2%	45.1%	37.6%	37.3%	30.0%	28.8%	28.4%	29.1%	29.0%	
		ほとんど残す	10.4%	12.9%	10.7%	10.8%	9.4%	11.9%	7.6%	6.4%	6.9%	4.8%	7.6%	
7	放課後は主に何をしていますか。(平日5日間でもっとも多い過ごし方)	友だちと遊ぶ	35.0%	44.1%	44.4%	34.6%	35.8%	29.3%	29.5%	14.8%	17.5%	18.6%	8.2%	
		習いごと	27.5%	27.6%	28.0%	28.0%	26.4%	29.5%	25.6%	20.8%	22.7%	23.4%	16.3%	
		勉強	17.9%	9.9%	8.3%	19.7%	20.6%	20.5%	21.4%	25.3%	15.6%	14.2%	46.5%	
		(一人で)ゲームや動画を見る	19.6%	18.3%	19.3%	17.7%	17.2%	20.7%	23.5%	39.1%	44.2%	43.7%	29.0%	
8	学校がある日に、家でどのくらい学習していますか。(じゅくの学習はのぞきます。)	4時間以上	6.5%	0.0%	0.1%	3.6%	7.1%	9.1%	13.5%	6.3%	1.9%	1.9%	15.4%	
		3時間程度	5.1%	0.0%	0.1%	5.1%	6.8%	8.6%	6.1%	10.1%	4.4%	4.2%	22.1%	
		2時間程度	9.5%	2.4%	2.4%	8.8%	13.4%	13.1%	11.0%	18.8%	16.9%	15.5%	24.1%	
		1時間程度	23.5%	18.1%	20.7%	23.0%	26.9%	24.8%	24.2%	26.1%	31.5%	27.1%	19.5%	
		30分程度	30.9%	43.9%	45.7%	31.0%	27.2%	24.9%	23.6%	17.5%	22.4%	23.2%	6.8%	
		15分以内	16.1%	28.9%	23.9%	17.9%	12.3%	11.7%	10.1%	6.5%	8.3%	7.7%	3.4%	
9	学習じゅくに通っていますか。	はい	43.4%	19.6%	26.9%	41.6%	49.7%	53.5%	52.8%	68.3%	55.5%	68.6%	81.1%	
		いいえ	56.6%	80.4%	73.1%	58.4%	50.3%	46.5%	47.2%	31.7%	44.5%	31.4%	18.9%	
10	本を読むことは好きですか。	とても好き	39.1%	35.1%	35.9%	45.0%	43.6%	38.3%	34.0%	31.4%	27.1%	34.9%	32.1%	
		まあ好き	40.9%	42.5%	43.7%	40.7%	39.8%	40.7%	39.5%	39.7%	43.4%	36.6%	38.9%	
		あまり好きではない	15.3%	17.9%	17.7%	11.7%	13.2%	14.6%	18.6%	19.8%	21.2%	18.7%	19.5%	
		全く好きではない	4.7%	4.5%	2.7%	2.6%	3.4%	6.4%	7.8%	9.1%	8.3%	9.7%	9.4%	
11	学校の授業の内容がわかりますか。	よくわかる	49.3%	46.5%	44.7%	52.5%	51.9%	52.2%	45.3%	29.7%	27.6%	30.3%	31.2%	
		まあわかる	45.0%	46.5%	49.7%	41.8%	41.9%	43.3%	49.0%	56.7%	58.9%	56.2%	55.0%	
		あまりわからない	4.8%	6.2%	5.1%	4.7%	5.1%	4.1%	4.5%	10.9%	10.8%	11.5%	10.5%	
		ほとんどわからない	0.9%	0.8%	0.4%	1.0%	1.0%	0.5%	1.2%	2.7%	2.7%	2.0%	3.3%	
12	学習することが好きだ。	とてもそう	25.9%	37.3%	32.4%	32.3%	27.0%	19.0%	15.3%	9.3%	8.9%	10.3%	8.8%	
		まあそう	48.9%	45.6%	50.3%	50.4%	51.2%	50.7%	44.4%	38.7%	40.3%	38.1%	37.6%	
		あまりそうではない	19.8%	13.4%	15.0%	14.7%	17.8%	23.4%	29.4%	35.5%	36.3%	34.8%	35.4%	
		全くそうではない	5.4%	3.8%	2.3%	2.6%	4.1%	6.9%	10.9%	16.5%	14.5%	16.9%	18.2%	
13	パソコンやタブレットを使った学習は楽しい。	とてもそう	65.6%	76.9%	79.2%	77.8%	67.9%	54.7%	48.1%	36.5%	37.5%	40.3%	31.6%	
		まあそう	26.6%	18.2%	17.9%	18.8%	25.3%	33.9%	38.3%	45.6%	45.9%	43.3%	47.5%	
		あまりそうではない	6.1%	3.7%	2.5%	2.7%	5.2%	8.6%	11.0%	13.2%	12.4%	12.5%	14.7%	
		全くそうではない	1.6%	1.2%	0.3%	0.7%	1.5%	2.8%	2.5%	4.8%	4.2%	4.0%	6.2%	
14	パソコンやタブレットを使った学習はわかりやすい。	とてもそう	44.8%	51.1%	54.3%	49.9%	46.7%	39.1%	34.4%	25.5%	25.5%	28.5%	22.4%	
		まあそう	43.6%	38.5%	39.9%	40.6%	42.3%	47.7%	49.0%	53.6%	56.6%	50.3%	54.0%	
		あまりそうではない	9.9%	8.8%	5.4%	8.5%	9.0%	11.0%	14.2%	16.2%	13.9%	17.4%	17.5%	
		全くそうではない	1.7%	1.7%	0.4%	0.9%	2.0%	2.2%	2.4%	4.7%	4.1%	3.8%	6.2%	
15	先生が2人以上で教えてくれる授業はわかりやすい。	とてもそう	49.1%	57.8%	58.7%	62.3%	55.8%	37.7%	30.6%	22.4%	23.6%	22.1%	21.4%	
		まあそう	38.8%	34.7%	34.0%	30.4%	34.4%	47.0%	48.0%	54.9%	55.0%	55.8%	53.7%	
		あまりそうではない	9.6%	5.9%	5.5%	6.3%	7.8%	11.4%	17.4%	18.3%	16.9%	18.9%	19.0%	
		全くそうではない	2.5%	1.7%	1.8%	1.0%	2.0%	3.9%	4.0%	4.5%	4.5%	3.1%	5.9%	
16	少人数で行う授業はわかりやすい。	とてもそう	40.2%	41.3%	37.0%	43.9%	38.7%	43.4%	36.5%	33.7%	29.3%	36.5%	35.2%	
		まあそう	44.0%	46.0%	49.4%	41.3%	43.9%	42.8%	43.3%	51.3%	52.2%	50.1%	51.5%	
		あまりそうではない	12.3%	8.4%	9.2%	12.2%	13.2%	12.0%	16.2%	11.7%	14.9%	10.7%	9.6%	
		全くそうではない	3.4%	4.3%	4.4%	2.6%	4.2%	1.9%	4.0%	3.4%	3.6%	2.7%	3.7%	
17	教科によって先生が変わる学習はわかりやすい。	とてもそう	41.1%	38.6%	39.4%	47.2%	46.9%	38.4%	35.2%	42.3%	43.1%	40.4%	43.4%	
		まあそう	43.9%	47.3%	48.0%	40.4%	40.2%	43.4%	46.9%	48.1%	46.3%	50.2%	47.7%	
		あまりそうではない	11.8%	9.3%	9.2%	11.1%	9.7%	14.5%	15.1%	7.7%	8.3%	7.6%	7.2%	
		全くそうではない	3.1%	4.7%	3.4%	1.2%	3.2%	3.8%	2.8%	1.9%	2.3%	1.8%	1.7%	
18	学校外の方(地いきの方やゲストティーチャーなど)が来て行う学習は楽しい。	とてもそう	52.3%	55.9%	56.0%	60.6%	60.2%	47.3%	37.3%	25.0%	25.7%	25.7%	23.5%	
		まあそう	36.7%	34.6%	36.7%	31.1%	31.4%	39.1%	45.9%	50.9%	52.0%	49.5%	51.2%	
		あまりそうではない	8.3%	5.9%	6.0%	7.2%	6.5%	10.1%	12.1%	18.5%	16.3%	19.8%	19.5%	
		全くそうではない	2.8%	3.7%	1.3%	1.2%	2.0%	3.5%	4.7%	5.6%	6.1%	5.0%	5.7%	
19	話し合う活動で、自分の考えを深めたり広げたりできている。	とてもそう	30.0%	31.7%	30.8%	32.8%	32.6%	27.6%	25.9%	31.8%	28.8%	31.3%	35.4%	
		まあそう	47.4%	46.0%	48.3%	45.0%	46.7%	48.9%	48.9%	51.0%	54.0%	49.8%	49.1%	
		あまりそうではない	19.1%	19.1%	18.4%	18.2%	17.5%	20.4%	20.5%	13.7%	12.7%	15.5%	12.8%	
		全くそうではない	3.5%	3.2%	2.5%	3.9%	3.1%	3.2%	4.7%	3.6%	4.5%	3.4%	2.8%	

			小学生 n=7,486							中学生 n=3,512			
	設問	選択肢	小学生計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中学生計	1年生	2年生	3年生
20	学習のふりかえりをする時間は大切である。	とてもそう	50.7%	60.9%	60.2%	60.0%	51.9%	40.9%	38.9%	38.2%	36.1%	38.1%	40.6%
		まあそう	39.1%	33.0%	35.2%	32.8%	38.8%	44.0%	46.1%	47.2%	49.3%	47.0%	45.2%
		あまりそうではない	8.3%	5.3%	4.1%	6.4%	8.0%	12.2%	11.0%	11.3%	11.7%	11.9%	10.3%
		全くそうではない	1.9%	0.7%	0.4%	0.8%	1.3%	3.0%	3.9%	3.3%	3.0%	3.1%	3.9%
21	わからない問題がある時でもあきらめることなく取り組むことができる。	とてもそう	41.3%	49.9%	47.8%	48.0%	42.1%	36.9%	29.4%	28.8%	28.0%	27.3%	31.0%
		まあそう	44.0%	36.0%	39.6%	41.8%	43.7%	46.8%	50.8%	49.2%	48.6%	49.8%	49.1%
		あまりそうではない	12.2%	12.0%	11.3%	8.1%	11.7%	13.6%	16.0%	18.7%	19.6%	19.3%	17.3%
		全くそうではない	2.5%	2.1%	1.2%	2.0%	2.5%	2.7%	3.8%	3.3%	3.8%	3.6%	2.6%
22	学校で友だちと会うのが楽しみだ。	とてもそう	73.9%	75.4%	81.2%	78.0%	77.4%	70.2%	65.0%	63.3%	63.9%	62.8%	63.2%
		まあそう	21.5%	20.1%	16.7%	18.2%	18.0%	24.8%	28.6%	29.6%	29.0%	30.8%	28.8%
		あまりそうではない	3.6%	3.3%	2.0%	2.6%	3.6%	4.1%	4.9%	4.9%	4.9%	4.2%	5.5%
		全くそうではない	1.0%	1.2%	0.1%	1.2%	1.0%	0.9%	1.4%	2.2%	2.1%	2.1%	2.5%
23	友だちが悪いことをしたときに、注意できる。	とてもそう	30.7%	37.4%	37.7%	35.4%	33.8%	26.8%	18.8%	22.2%	20.5%	22.5%	23.7%
		まあそう	46.0%	41.4%	43.5%	44.6%	45.3%	47.1%	51.1%	53.8%	55.5%	53.6%	52.3%
		あまりそうではない	19.2%	15.6%	15.9%	16.1%	16.5%	22.3%	25.6%	19.8%	19.6%	19.8%	19.8%
		全くそうではない	4.2%	5.6%	2.9%	3.9%	4.4%	3.8%	4.5%	4.2%	4.4%	4.0%	4.2%
24	いじめは、いけないことだと思う。	とてもそう	88.2%	92.5%	93.5%	91.5%	90.6%	85.4%	80.1%	82.7%	82.2%	82.3%	83.8%
		まあそう	10.4%	7.2%	6.2%	7.2%	8.1%	13.4%	17.1%	14.4%	14.5%	15.4%	13.4%
		あまりそうではない	0.9%	0.2%	0.1%	0.7%	0.8%	1.1%	2.1%	1.6%	1.7%	1.6%	1.6%
		全くそうではない	0.4%	0.0%	0.2%	0.7%	0.6%	0.1%	0.7%	1.2%	1.6%	0.7%	1.3%
25	いじめを見たらどうしますか。	大人(先生や親)に相談する	41.9%	57.5%	53.6%	42.4%	38.6%	36.7%	33.7%	35.5%	33.8%	35.3%	37.5%
		自分で止めに行く	29.3%	25.1%	25.1%	32.3%	33.7%	31.1%	25.6%	24.5%	26.2%	23.5%	23.7%
		ほかの友だちに言う	9.3%	4.3%	5.4%	6.1%	8.4%	11.9%	16.0%	14.9%	14.2%	15.9%	14.4%
		いじめにあっていない子から話を聞く	12.2%	8.4%	10.4%	14.4%	12.9%	11.7%	13.3%	14.1%	14.6%	14.8%	12.8%
26	だれとでも協力して勉強したり遊んだりできる。	とてもそう	43.1%	52.3%	51.8%	49.0%	44.0%	35.9%	33.2%	34.8%	32.4%	36.4%	35.7%
		まあそう	45.1%	39.5%	41.5%	41.8%	45.6%	49.3%	48.7%	47.0%	48.9%	45.8%	46.2%
		あまりそうではない	10.2%	7.2%	6.2%	8.1%	8.5%	13.0%	15.2%	14.7%	15.6%	14.2%	14.4%
		全くそうではない	1.6%	0.9%	0.4%	1.1%	1.8%	1.8%	2.9%	3.4%	3.0%	3.6%	3.6%
27	家の人は、がんばったときに、ほめてくれる。	とてもそう	63.1%	63.4%	63.7%	71.8%	68.4%	59.5%	53.1%	46.9%	46.2%	50.6%	43.8%
		まあそう	28.7%	32.0%	31.5%	22.1%	22.5%	30.5%	35.4%	38.4%	39.9%	34.4%	41.0%
		あまりそうではない	6.2%	3.6%	4.1%	4.5%	6.6%	7.8%	8.5%	10.5%	9.7%	11.2%	10.5%
		全くそうではない	2.0%	1.1%	0.8%	1.6%	2.6%	2.3%	2.9%	4.2%	4.1%	3.8%	4.7%
28	家の人は、いけないことをしたときには、しめてくれる。	とてもそう	82.7%	86.6%	85.8%	83.4%	84.9%	81.8%	76.7%	70.6%	71.4%	74.0%	66.5%
		まあそう	15.9%	12.8%	13.3%	14.6%	13.5%	16.8%	22.1%	26.7%	26.2%	23.7%	30.2%
		あまりそうではない	1.0%	0.6%	0.7%	1.3%	1.2%	0.9%	0.9%	1.9%	1.9%	1.7%	2.2%
		全くそうではない	0.4%	0.0%	0.2%	0.7%	0.4%	0.5%	0.3%	0.7%	0.4%	0.6%	1.1%
29	家の人のことを尊敬している。	とてもそう	61.6%	57.0%	59.7%	74.9%	73.2%	56.3%	47.1%	46.1%	43.6%	48.2%	46.4%
		まあそう	30.5%	36.4%	34.7%	21.2%	20.4%	34.8%	38.8%	38.4%	39.1%	37.7%	38.3%
		あまりそうではない	5.7%	4.9%	5.0%	3.1%	4.3%	6.7%	9.6%	10.4%	11.9%	9.5%	9.9%
		全くそうではない	2.1%	1.7%	0.7%	0.7%	2.0%	2.2%	4.5%	5.1%	5.4%	4.6%	5.4%
30	自分は家の人から大切にされていると思う。	とてもそう	73.5%	78.8%	79.8%	79.6%	76.3%	68.5%	62.9%	57.8%	55.8%	60.9%	56.6%
		まあそう	22.2%	19.5%	17.8%	17.5%	17.8%	26.2%	31.0%	33.6%	35.5%	30.7%	34.8%
		あまりそうではない	3.1%	0.6%	2.0%	2.1%	4.0%	4.0%	4.6%	5.4%	5.3%	5.3%	5.7%
		全くそうではない	1.2%	1.1%	0.3%	0.7%	1.9%	1.3%	1.4%	3.1%	3.4%	3.1%	2.9%
31	学校のできごとについて、家の人と話をする。	とてもそう	47.4%	48.8%	51.6%	49.8%	49.7%	47.1%	40.0%	40.8%	39.5%	41.4%	41.6%
		まあそう	35.1%	39.4%	36.9%	34.8%	33.3%	34.7%	33.9%	36.1%	37.2%	36.6%	34.5%
		あまりそうではない	13.3%	9.9%	10.3%	11.9%	12.3%	13.7%	18.8%	15.8%	16.5%	14.7%	16.3%
		全くそうではない	4.2%	1.9%	1.2%	3.5%	4.7%	4.5%	7.3%	7.2%	6.8%	7.4%	7.6%
32	なやみごとがあるとき、だれに相談しますか。(複数回答可)	お父さん	39.2%	49.6%	44.4%	49.2%	41.4%	32.2%	25.6%	21.8%	21.4%	21.2%	22.8%
		お母さん	73.1%	87.6%	86.4%	79.5%	72.6%	65.3%	58.7%	50.7%	50.6%	51.3%	50.1%
		兄弟姉妹	19.5%	18.3%	19.0%	22.9%	21.4%	17.8%	17.3%	19.5%	17.4%	19.4%	21.7%
		友だち	50.7%	29.2%	40.2%	49.3%	57.6%	57.2%	57.6%	61.4%	57.2%	63.1%	64.2%
		学校の先生	26.8%	39.4%	39.8%	28.8%	29.0%	20.3%	13.8%	14.8%	14.1%	13.3%	17.2%
		カウンセラー	9.7%	5.3%	5.8%	10.9%	14.0%	10.6%	8.2%	4.2%	4.5%	3.5%	4.8%
		その他の人	10.3%	6.5%	8.3%	11.2%	11.1%	12.3%	9.9%	10.2%	9.1%	9.8%	11.6%
		だれにも相談しない	12.7%	2.8%	3.5%	10.1%	14.1%	18.1%	19.4%	23.4%	24.7%	23.2%	22.2%
33	近所の人にあいさつをしている。	とてもそう	41.2%	37.3%	37.7%	44.6%	45.1%	41.4%	38.5%	37.6%	37.3%	38.1%	37.4%
		まあそう	42.2%	43.0%	45.6%	39.1%	41.3%	43.2%	42.5%	46.1%	45.0%	46.0%	47.4%
		あまりそうではない	12.6%	16.1%	14.6%	11.5%	9.7%	12.1%	13.9%	11.2%	12.3%	10.1%	11.1%
		全くそうではない	3.9%	3.7%	2.1%	4.8%	3.9%	3.3%	5.1%	5.1%	5.4%	5.8%	4.1%
34	近所の方は、いけないことを注意してくれる。	とてもそう	19.1%	13.1%	13.8%	27.5%	25.1%	16.7%	14.5%	13.1%	13.0%	13.6%	12.7%
		まあそう	36.1%	30.1%	32.3%	35.6%	36.9%	39.6%	38.3%	39.5%	41.6%	37.4%	39.4%
		あまりそうではない	27.4%	35.7%	33.9%	22.0%	22.7%	27.2%	28.2%	28.1%	26.6%	28.4%	29.5%
		全くそうではない	17.4%	21.1%	19.9%	14.8%	15.4%	16.5%	19.1%	19.3%	18.9%	20.6%	18.4%
35	地域の活動(学習・スポーツなど)に参加している。	とてもそう	23.1%	20.1%	21.2%	30.1%	25.1%	25.8%	15.0%	14.8%	16.3%	16.4%	11.6%
		まあそう	24.7%	22.1%	22.9%	29.3%	28.0%	23.4%	21.0%	21.6%	24.5%	21.4%	18.8%
		あまりそうではない	26.5%	24.5%	26.4%	22.7%	25.1%	26.2%	32.9%	28.3%	27.5%	28.3%	29.2%
		全くそうではない	25.7%	33.3%	29.6%	18.0%	21.8%	24.6%	31.0%	35.3%	31.7%	33.8%	40.5%
36	地域の活動(お祭り・子ども会・ごみ拾いやそうじなど)に参加している。	とてもそう	27.2%	17.5%	19.5%	34.0%	36.2%	27.1%	22.3%	13.8%	15.6%	14.2%	11.6%
		まあそう	32.2%	27.7%	32.3%	33.0%	31.7%	34.0%	32.5%	32.1%	35.1%	32.7%	28.3%
		あまりそうではない	23.4%	27.9%	25.9%	20.3%	18.1%	25.2%	25.7%	29.0%	27.9%	28.6%	30.5%
		全くそうではない	17.2%	26.9%	22.3%	12.7%	13.9%	13.7%	19.5%	25.1%	21.5%	24.5%	29.5%
37	自分の住んでいる町や地域が好きだ。	とてもそう	68.0%	66.5%	71.4%	75.7%	75.6%	65.1%	54.9%	46.7%	49.4%	48.0%	42.6%
		まあそう	26.2%	29.7%	25.6%	18.8%	19.0%	27.9%	36.6%	43.6%	41.5%	43.1%	46.2%
		あまりそうではない	4.4%	3.0%	2.8%	4.2%	4.1%	5.2%	6.2%	6.8%	6.4%	6.3%	7.6%
		全くそうではない	1.4%	0.8%	0.2%	1.2%	1.4%	1.8%	2.3%	3.0%	2.7%	2.7%	3.6%
38	郷土博物館や公民館、図書館を利用している。	とてもそう	28.5%	33.8%	30.6%	36.1%	34.1%	24.7%	15.6%	14.4%	14.6%	12.2%	16.2%
		まあそう	32.8%	33.6%	36.3%	35.5%	32.8%	31.6%	28.7%	28.6%	27.2%	29.9%	28.6%
		あまりそうではない	25.3%	21.7%	23.8%	21.3%	22.1%	27.9%	32.5%	33.8%	35.3%	35.2%	30.8%
		全くそうではない	13.4%	10.9%	9.3%	7.1%	10.9%	15.7%	23.2%	23.3%	22.9%	22.7%	24.3%

			小学生 n=7,486								中学生 n=3,512			
	設問	選択肢	小学生計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中学生計	1年生	2年生	3年生	
39	自分の携帯電話やスマートフォンを持っていますか。	携帯電話を持っている	6.7%	0.2%	1.0%	5.9%	8.8%	9.7%	9.5%	6.7%	7.6%	7.4%	5.0%	
		スマートフォンを持っている	29.1%	15.4%	29.8%	32.0%	32.3%	32.9%	26.9%	9.1%	11.0%	5.9%	10.4%	
		両方持っている	28.0%	7.2%	13.0%	24.4%	29.3%	34.3%	45.2%	77.4%	73.2%	80.6%	78.3%	
		どちらも持っていない	36.2%	77.2%	56.3%	37.7%	29.6%	23.1%	18.4%	6.8%	8.1%	6.1%	6.3%	
40	家ではネットやメール、携帯電話やスマートフォンの使い方について、ルールが決まっていますか。	はい	74.7%	70.3%	73.3%	74.8%	75.6%	76.1%	75.5%	70.4%	74.5%	70.8%	65.9%	
		いいえ	25.3%	29.7%	26.7%	25.2%	24.4%	23.9%	24.5%	29.6%	25.5%	29.2%	34.1%	
41	自分には、よいところがある。	とてもそう	39.1%	51.6%	52.5%	42.4%	41.0%	31.3%	26.5%	28.5%	26.8%	28.4%	30.5%	
		まあそう	44.6%	40.8%	41.6%	44.9%	41.4%	46.3%	49.7%	44.1%	45.6%	42.2%	44.5%	
		あまりそうではない	12.2%	5.7%	4.9%	9.4%	12.9%	17.3%	17.4%	19.1%	19.5%	20.3%	17.4%	
		全くそうではない	4.1%	1.9%	1.0%	3.3%	4.7%	5.1%	6.4%	8.3%	8.1%	9.1%	7.6%	
42	自分や他の人を大切にしている。	とてもそう	60.6%	69.3%	69.5%	67.6%	63.1%	53.6%	48.4%	49.7%	48.6%	49.5%	51.2%	
		まあそう	35.0%	28.3%	29.1%	28.9%	32.7%	40.7%	44.7%	42.8%	43.5%	43.5%	41.4%	
		あまりそうではない	3.5%	1.9%	1.3%	2.7%	3.4%	4.8%	5.1%	5.4%	5.8%	5.0%	5.6%	
		全くそうではない	0.9%	0.5%	0.0%	0.8%	0.8%	0.9%	1.9%	2.0%	2.1%	2.0%	1.9%	
43	自分のことが好きですか。	とても好き	35.9%	52.9%	55.3%	40.7%	37.0%	26.4%	18.4%	17.2%	16.1%	17.7%	17.9%	
		まあ好き	40.8%	36.1%	35.0%	38.9%	40.2%	44.1%	46.0%	42.1%	44.8%	40.2%	41.4%	
		あまり好きではない	16.6%	8.4%	6.9%	14.7%	15.5%	21.6%	25.2%	27.8%	27.7%	29.2%	26.5%	
		きらい	6.7%	2.6%	2.9%	5.7%	7.3%	8.0%	10.3%	12.9%	11.4%	13.0%	14.2%	
44	交通安全のルールについて、家族で話し合っている。	きちんとしている	36.7%	48.4%	47.4%	39.4%	37.0%	31.9%	25.3%	26.3%	26.5%	27.4%	25.0%	
		まあまあしている	38.2%	38.9%	38.5%	37.2%	36.2%	38.6%	40.0%	38.3%	39.5%	36.9%	38.5%	
		あまりしていない	18.1%	11.2%	12.2%	16.5%	19.0%	21.4%	23.0%	24.2%	23.8%	24.8%	24.0%	
		していない	7.0%	1.4%	1.9%	6.9%	7.8%	8.1%	11.7%	11.2%	10.2%	10.8%	12.5%	
45	地震や火災が起こった時の安全な行動について、家族で話し合っている。	きちんとしている	29.1%	26.7%	26.9%	36.4%	30.4%	27.5%	25.1%	21.7%	22.9%	20.3%	22.0%	
		まあまあしている	35.7%	38.8%	40.4%	34.0%	34.3%	35.1%	34.5%	37.2%	35.3%	36.5%	39.7%	
		あまりしていない	25.2%	27.2%	27.6%	20.1%	24.5%	25.2%	28.0%	29.2%	28.4%	30.6%	28.8%	
		していない	10.0%	7.2%	5.1%	9.6%	10.8%	12.2%	12.3%	11.9%	13.5%	12.5%	9.6%	
46	学校が休校(学級閉鎖)になることについて不安を感じる。	とてもそう	31.5%	30.1%	32.1%	45.0%	39.8%	24.1%	18.5%	16.1%	18.4%	12.8%	17.0%	
		まあそう	32.1%	32.0%	33.6%	33.6%	31.9%	34.1%	27.9%	27.7%	30.0%	25.2%	28.0%	
		あまりそうではない	20.4%	23.0%	20.9%	13.7%	15.5%	23.3%	26.7%	29.4%	28.9%	31.8%	27.4%	
		全くそうではない	16.0%	15.0%	13.4%	7.6%	12.8%	18.5%	26.9%	26.9%	22.8%	30.3%	27.6%	
47	新しい生活様式を続けていて心配なことは何ですか。(複数回答可)	体力が落ちる	42.6%	26.3%	30.5%	40.8%	45.5%	51.0%	50.0%	52.3%	48.1%	50.4%	58.6%	
		視力が悪くなる	28.8%	13.6%	17.8%	30.9%	31.2%	36.9%	32.0%	32.0%	30.4%	31.7%	33.9%	
		勉強がしづらくなる	21.1%	18.5%	20.6%	22.1%	22.5%	20.3%	21.2%	26.3%	28.5%	23.5%	27.0%	
		友だちや先生などのようすがわかりにくい	22.5%	28.6%	28.0%	20.4%	21.8%	21.2%	19.5%	21.1%	20.1%	19.9%	23.3%	
		友だちとたくさん遊べない	47.9%	56.3%	58.4%	40.2%	48.0%	48.6%	42.9%	50.0%	49.2%	49.9%	50.9%	
		遠くに出かけることができない	59.8%	62.6%	66.0%	50.3%	63.3%	59.8%	59.9%	60.9%	59.3%	60.8%	62.6%	
48	元の生活にもどったときに、一番やりたいことは何ですか。	友だちと思いきり遊ぶ	45.2%	40.5%	44.1%	48.2%	45.4%	44.0%	46.7%	58.3%	54.7%	59.0%	61.3%	
		学校の行事	11.4%	8.6%	8.2%	7.7%	10.8%	14.8%	15.6%	17.8%	16.7%	16.9%	19.8%	
		友だちと話しながらか給食を食べる	32.5%	36.4%	37.7%	30.8%	32.1%	32.6%	29.0%	14.0%	17.9%	13.6%	10.3%	
		他の人(他の学年の人、地域の人など)との交流	4.0%	4.1%	2.8%	5.5%	5.4%	3.2%	2.9%	4.1%	3.5%	4.9%	3.8%	
49	幼稚園・こども園・保育園のころ、小学校生活について楽しみにしていたことは何ですか。(複数回答可)	制限なく体育や音楽などの学習を行う	6.8%	10.3%	7.3%	7.7%	6.2%	5.3%	5.8%	5.9%	7.3%	5.6%	4.8%	
		勉強	31.2%	31.2%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		先生	20.9%	20.9%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		友だち	38.6%	38.6%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50	幼稚園・こども園・保育園のころ、小学校生活について楽しみにしていたことは何ですか。(複数回答可)	その他	11.1%	11.1%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		特にない	36.1%	36.1%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		勉強	39.5%	39.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		先生	20.9%	20.9%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
51	幼稚園・こども園・保育園のころ、小学校生活について心配していたことは、今、なくなりましたか。	友だち	57.8%	57.8%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		その他	19.2%	19.2%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		特にない	8.8%	8.8%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		なくなった	62.5%	62.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
49	中学校生活について、期待や楽しみに感じていることは何ですか。(複数回答可)	大体なくなった	24.3%	24.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		あまりなくなっていない	10.8%	10.8%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		全くなくなっていない	2.5%	2.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		勉強	30.8%	-	-	-	-	-	-	30.8%	-	-	-	-
		学校のきまり	10.3%	-	-	-	-	-	-	10.3%	-	-	-	-
		新しい友だち	66.0%	-	-	-	-	-	-	66.0%	-	-	-	-
		上級生	15.0%	-	-	-	-	-	-	15.0%	-	-	-	-
		先生	20.0%	-	-	-	-	-	-	20.0%	-	-	-	-
50	中学校生活について、不安や心配に感じていることは何ですか。(複数回答可)	部活動	56.6%	-	-	-	-	-	-	56.6%	-	-	-	
		その他	17.5%	-	-	-	-	-	-	17.5%	-	-	-	-
		特にない	14.5%	-	-	-	-	-	-	14.5%	-	-	-	-
		勉強	56.7%	-	-	-	-	-	-	56.7%	-	-	-	-
		学校のきまり	25.7%	-	-	-	-	-	-	25.7%	-	-	-	-
		新しい友だち	26.0%	-	-	-	-	-	-	26.0%	-	-	-	-
		上級生	26.5%	-	-	-	-	-	-	26.5%	-	-	-	-
		先生	26.0%	-	-	-	-	-	-	26.0%	-	-	-	-
49	小学生のころ、中学校生活について期待や楽しみに感じていたことは何ですか。(複数回答可)	部活動	18.3%	-	-	-	-	-	-	18.3%	-	-	-	
		その他	6.9%	-	-	-	-	-	-	6.9%	-	-	-	-
		特にない	22.9%	-	-	-	-	-	-	22.9%	-	-	-	-
		勉強	-	-	-	-	-	-	-	-	19.0%	19.0%	-	-
		学校のきまり	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2%	5.2%	-	-
		新しい友だち	-	-	-	-	-	-	-	-	62.8%	62.8%	-	-
		上級生	-	-	-	-	-	-	-	-	14.6%	14.6%	-	-
		先生	-	-	-	-	-	-	-	-	16.4%	16.4%	-	-

		小学生 n=7,486							中学生 n=3,512			
設問	選択肢	小学生計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中学生計	1年生	2年生	3年生
50 小学生のころ、中学校生活について不安や心配に感じていたことは何ですか。(複数回答可)	勉強	-	-	-	-	-	-	-	71.0%	71.0%	-	-
	学校のきまり	-	-	-	-	-	-	-	26.2%	26.2%	-	-
	新しい友だち	-	-	-	-	-	-	-	31.0%	31.0%	-	-
	上級生	-	-	-	-	-	-	-	24.0%	24.0%	-	-
	先生	-	-	-	-	-	-	-	23.1%	23.1%	-	-
	部活動	-	-	-	-	-	-	-	18.5%	18.5%	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	7.5%	7.5%	-	-
	特にない	-	-	-	-	-	-	-	15.2%	15.2%	-	-
51 小学生の時と比べて、中学校に入学して困ったことは何ですか。(複数回答可)	勉強	-	-	-	-	-	-	-	58.8%	58.8%	-	-
	学校のきまり	-	-	-	-	-	-	-	19.0%	19.0%	-	-
	新しい友だち	-	-	-	-	-	-	-	11.9%	11.9%	-	-
	上級生	-	-	-	-	-	-	-	9.1%	9.1%	-	-
	先生	-	-	-	-	-	-	-	8.9%	8.9%	-	-
	部活動	-	-	-	-	-	-	-	13.5%	13.5%	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	6.6%	6.6%	-	-
	特にない	-	-	-	-	-	-	-	27.1%	27.1%	-	-
52 小学生のころ、中学校生活について不安や心配に感じていたことは、今、なくなりましたか。	なくなった	-	-	-	-	-	-	-	33.3%	33.3%	-	-
	大体なくなった	-	-	-	-	-	-	-	46.1%	46.1%	-	-
	あまりなくなっていない	-	-	-	-	-	-	-	13.9%	13.9%	-	-
	全くなくなっていない	-	-	-	-	-	-	-	6.7%	6.7%	-	-

令和3年度浦安市小・中学生生活実態調査報告書の活用にあたって

1 報告書の見方

- ・「Ⅱ 調査結果」は、調査項目ごとの結果が学年ごとにグラフで表されています。また、同一の調査項目で複数回調査を実施しているものは、経年変化を表すグラフも掲載しています。
- ・結果の考察については、それぞれの結果や経年比較からわかる特徴や傾向、それらの結果が表れた要因等について、グラフ下の に記載しています。
- ・内容については、あくまでも一般的な事実に基づいたものです。
- ・「Ⅱ 調査結果」には、すべての調査項目の結果や考察を掲載しているわけではありません。顕著な結果が表れているものや、前回調査と比較したり経年比較したりして傾向が見られたものを掲載しています。
- ・前回までの調査対象が、各学校各学年抽出1～2学級の児童・生徒を対象にしていたのに対し、今回は市立小中学校に通う全児童生徒を対象にしています。その関係で、結果の表れ方などについては多少の差異がある可能性があります。

2 調査結果からわかる全体的な傾向

- ① 前回までの調査結果と比較して、増加・良好傾向にあるものが多く、減少・悪化傾向にあるものが少ない。
- ② 新型コロナウイルス感染症の対応等で、児童・生徒の生活や学習に対して悪影響が及んでいるものが相当数あると思われたが、影響があったものは一部であった。
- ③ 総じて学習や家庭での生活については増加・良好傾向にあるものが多いのに対して、地域との関わりについては減少・悪化傾向にあるものが多かった。

3 報告書の活用について

【分析について】

- ・報告書の結果と自校の結果を比較し、自校の児童・生徒の特徴や傾向をつかむ。
- ・学力学習状況調査や学校評価アンケート、生活実態調査の類似調査項目の結果を比較し、特徴や傾向をつかむ。また、結果の表れ方に違いがあった場合は、その要因について吟味する。

【活用について】

- ・自校の状況の要因を明らかにし、学校運営・教育課程編成の一助とする。
- ・児童・生徒の学習、生活両面の充実と業務の効率化を図るために、達成されているものとされていないものを明らかにし、未達のものに対して注力する目標を立て手立てを講じる。
- ・自校の結果や傾向の共通理解や分析、新たな目標や手立ての設定などを、職員研修や校内研究の一部として取り上げる。

- ・園小中連携教育の一環として、中学校区での情報交換・共通理解を積極的に行う。（「園・小・中連携の日」や「中学校区園長・校長連絡会」等で活用する。）
- ・学校評議員会議や関係者評価委員会、合同会議（浦安型コミュニティ・スクール）の場で議論するテーマとして取り上げる。